

芸術表現学科専門教育科目

絵画Ⅰ	28	ビジネス文書	62
絵画Ⅱ	29	ビジネスコミュニケーション	63
陶芸	30	簿記基礎理論	64
染織	31	簿記演習	65
デッサンⅠ	32	マーケティング	66
デッサンⅡ	33	フィナンシャルプランニング	67
基礎デザインⅠ（色彩構成）	34	ビジネス実践演習	68
基礎デザインⅡ（平面構成）	35	情報リテラシーⅠ	69
基礎デザインⅢ（平面構成）	36	情報リテラシーⅡ	70
基礎デザインⅣ（立体構成）	37	情報リテラシーⅢ	71
色彩論	38	地域課題解決演習Ⅰ（PBL）	72
広告論	39	地域課題解決演習Ⅱ（PBL）	73
DTPデザイン論	40	音楽基礎理論	74
グラフィックⅠ	41	映像音楽論	75
グラフィックⅡ	42	ピアノⅠ	76
グラフィックⅢ	43	ピアノⅡ	77
イラストレーションⅠ	44	ピアノⅢ	78
イラストレーションⅡ	45	ピアノⅣ	79
画像編集	46	電子オルガンⅠ	80
DTPデザイン演習	47	電子オルガンⅡ	81
パッケージデザイン	48	電子オルガンⅢ	82
ポートフォリオ制作	49	電子オルガンⅣ	83
Webデザイン入門	50	吹奏楽Ⅰ	84
WebデザインⅠ	51	吹奏楽Ⅱ	85
WebデザインⅡ	52	吹奏楽Ⅲ	86
メディア表現演習Ⅰ	53	吹奏楽Ⅳ	87
メディア表現演習Ⅱ	54	合唱Ⅰ	88
メディア表現演習Ⅲ	55	合唱Ⅱ	89
服飾デザイン	56	合唱Ⅲ	90
芸術表現入門	57	合唱Ⅳ	91
社会人基礎	58	サウンドデザイン	92
キャリアデザイン	59	特別演習	93
インターンシップⅠ	60	卒業研究	94
インターンシップⅡ	61		

学修成果（8つの力）

本学は、学生が卒業までに獲得することが期待される知識、技術、態度などの能力を「学修成果」として、次のように表現しています。

(1)態度・志向性	①勤労観	働く意義を理解し、主体性をもって物事に取り組むことができる。
	②主体性	
(2)汎用的能力	③教養	社会人にふさわしい教養やコミュニケーション能力を身につけている。
	④コミュニケーション能力	
(3)専門的知識・技能	⑤専門分野の知識・技能	デザイン・ビジネス・音楽分野の知識・技能を身につけ、新しい価値を創造できる。
	⑥創造力	
(4)総合的な学習経験と創造的思考力	⑦課題解決力	課題を発見して解決する力や、広い視野で変化に適応する力を身につけている。
	⑧変化への適応力	

I. 卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

以下に示す目標とする学修成果（学士力）を身につけ、所定の在学期間を満たし、基準となる単位を修得した者に対して、卒業を認定し、「短期大学士」の学位を授与します。

【芸術表現学科】のディプロマ・ポリシー

- (1) 働く意義を理解し、主体性をもって物事に取り組むことができる。
- (2) 社会人にふさわしい教養やコミュニケーション能力を身につけている。
- (3) デザイン・ビジネス・音楽分野の知識・技能を身につけ、新しい価値を創造できる。
- (4) 課題を発見して解決する力や、広い視野で変化に適応する力を身につけている。

科目名	絵画 I (1単位)	演習	芸術表現学科	1年 後期	担当者	佐々木 範子(実務経験) (単独)										
ナンバリングコード	JA-S111-000	授業科目の 取扱い	面接授業科目													
卒業要件	選択															
授業のテーマ	絵画、油彩画、作品制作、下描き、色調、画材															
授業概要	テーマに基づいた絵画作品(油彩画)を制作する。制作を通して自己分析を促し、表現力を高める。完成までの過程や技能と知識を学習する。															
達成目標	1. 油彩画について基本的な画材の使い方と知識を習得する。 2. 絵画制作の過程を体験理解する。 3. 自己の経験に基づいたテーマの設定、モチーフの選択ができる。 4. 制作を通して考え、発想し、自己の表現を発展させることができる。 5. 自己の作品について発表することができる。															
学修成果との関係	①	・	②	○	③	◎	④	○	⑤	◎	⑥	◎	⑦	・	⑧	・
履修条件・注意事項																
授業計画						目標	方法									
	1. 授業の目標、計画、制作過程、画材の使用方法を理解。					1,2	面接									
	2. 画材使用方法、テーマ、モチーフについて理解。					1,2,4	面接									
	3. 作品制作テーマとモチーフの選択					2,3,4	面接									
	4. 作品制作のための彩色実習					1,2,4	面接									
	5. 作品制作のための彩色実習					1,2,4	面接									
	6. 作品下絵(画面構成)					1,2,4	面接									
	7. キャンバスに下描き(画面構成)					1,2,4	面接									
	8. キャンバスに下描き(画面構成)、作品彩色					1,2,4	面接									
	9. 作品彩色					1,2,4	面接									
	10. 作品彩色					1,2,4	面接									
	11. 作品彩色					1,2,4	面接									
	12. 作品彩色					1,2,4	面接									
	13. 作品彩色(色調確認、整理)					1,2,4	面接									
	14. 作品彩色、仕上げ					1,2,4	面接									
15. 完成作品の発表					5	面接										
アクティブ・ラーニング	プレゼンテーション															
成績評価基準	評価の方法：①授業態度、時間外学習提出物(30%) ②提出作品(50%) ③完成作品の発表(20%) 評価の基準：①関心・意欲、態度、を評定 ②技能・表現：目標達成度(目標1,2,3,4)を評定 ③思考・判断：目標達成度(目標5)を評定															
フィードバックの方法	各回目標達成のため、個人の必要に応じて、補足説明や助言をする。															
時間外の学習について	予習：次の授業のための準備(各回45分程度) 復習：授業内容を振り返り、プリントに記録。作品完成時に提出。(各回45分程度)															
教材にかかわる情報	テキスト：特になし。 参考書：特になし 参考資料：プリントなど。															
実務経験について	画家、美術講師経験を生かして、絵画の知識や制作について分かりやすく指導します。															
担当者からのメッセージ等	絵画制作の体験を通して成長できるよう、主体的に取り組みましょう。 Email: T0041@yamaguchi-jca.ac.jp (佐々木)															

科目名	絵画Ⅱ (1単位)	演習	芸術表現学科	2年 前期	担当者	佐々木 範子(実務経験) (単独)												
ナンバリングコード	JA-S211-000	授業科目の 取扱い	面接授業科目															
卒業要件	選択																	
授業のテーマ	絵画、油彩画、アクリル画、画材、キャンパス、画面構成																	
授業概要	テーマに基づいた絵画作品を制作する。(油彩画、アクリル画より選択)制作を通して自己分析を促し、表現力を高める。完成までの過程や技能と知識を学習する。																	
達成目標	1. 油彩画について基本的な画材の使い方と知識を習得する。 2. 絵画制作の過程を体験理解する。 3. 自己の経験に基づいたテーマの設定、モチーフの選択ができる。 4. 制作を通して考え、発想し、自己の表現を発展させることができる。 5. 自己の作品についての発表と、他者の作品を主体的に鑑賞することができる。																	
学修成果との関係	①	・	②	○	③	◎	④	○	⑤	◎	⑥	◎	⑦	・	⑧	・		
履修条件・注意事項																		
授業計画																	目標	方法
	1. 授業の目標、計画、制作過程、画材の使用法を理解。																1,2	面接
	2. 画材使用方法、テーマ、モチーフについて理解。																1,2,4	面接
	3. 作品制作テーマとモチーフの選択																2,3,4	面接
	4. 作品制作のための彩色実習																1,2,4	面接
	5. 作品制作のための彩色実習																1,2,4	面接
	6. 作品下絵(画面構成)																1,2,4	面接
	7. キャンパスに下描き(画面構成)																1,2,4	面接
	8. キャンパスに下描き(画面構成)、作品彩色																1,2,4	面接
	9. 作品彩色																1,2,4	面接
	10. 作品彩色																1,2,4	面接
	11. 作品彩色																1,2,4	面接
	12. 作品彩色																1,2,4	面接
	13. 作品彩色(色調確認、整理)																1,2,4	面接
	14. 作品彩色、仕上げ																1,2,4	面接
15. 完成作品の発表、鑑賞																5	面接	
アクティブ・ラーニング	プレゼンテーション																	
成績評価基準	評価の方法：①授業態度、時間外学習提出物(30%) ②提出作品(50%) ③完成作品の発表(20%) 評価の基準：①関心・意欲、態度、を評定 ②技能・表現：目標達成度(目標1,2,3,4)を評定 ③思考・判断：目標達成度(目標5)を評定																	
フィードバックの方法	各回目標達成のため、個人の必要に応じて、補足説明や助言をする。																	
時間外の学習について	予習：次の授業のための準備(各回45分程度) 復習：授業内容を振り返り、プリントに記録。作品完成時に提出。(各回45分程度)																	
教材にかかわる情報	テキスト：特になし。 参考書：特になし 参考資料：プリントなど。																	
実務経験について	画家、美術講師経験を生かして、絵画の知識や制作について分かりやすく指導します。																	
担当者からのメッセージ等	絵画制作の体験を通して成長できるよう、主体的に取り組みましょう。 Email: T0041@yamaguchi-jca.ac.jp (佐々木)																	

科目名	陶芸 (1単位)	演習	芸術表現学科	1年 後期	担当者	上田 敦之(実務経験) (単独)										
ナンバリングコード	JA-S112-000															
卒業要件	選択	授業科目の 取扱い	面接授業科目													
授業のテーマ	陶芸、焼き物、工芸美術、器づくり、技法、創造、窯作業、教養、主体性															
授業概要	陶芸の歴史、種類、産地などの概略を理解するとともに、制作工程や種々の技法などについて習得する。玉作り、紐作り、板作りなどの技法を用いて日常的に使用する器を制作し、粘土の持つ特性を知ると同時に陶芸の魅力を見つける。窯作業の一連の流れを身につける。															
達成目標	1. 焼き物の簡単な歴史、種類、代表的な産地を理解する。															
	2. 基本的な技法(土練り、玉作り、板作り、紐作り)を習得する。															
	3. 粘土の持つ特性を理解する。															
	4. 窯作業の一連の流れを理解する。															
学修成果との関係	①	・	②	○	③	○	④	・	⑤	◎	⑥	◎	⑦	・	⑧	・
履修条件・注意事項	土を扱うという性格上、常に汚れても良い服装で臨むこと。作品が乾きすぎると作業がしづらくなるので、毎回授業に参加すること。															
授業計画															目標	方法
	1.	焼き物の基本的概略の説明										1	面接			
	2.	土練り、基礎的な技法の実演・説明										2,3	面接			
	3.	作品制作1:玉作りによる作品の制作(茶わん)										2,3	面接			
	4.	作品の仕上げ										2,3	面接			
	5.	作品制作2:紐づくりによる作品の制作(鉢)										2,3	面接			
	6.	作品の仕上げ										2,3	面接			
	7.	作品制作3:紐作りによる作品の制作(花入)										2,3	面接			
	8.	作品の仕上げと加飾										2,3	面接			
	9.	作品制作4:板作りによる作品の制作(皿)										2,3	面接			
	10.	皿の仕上げと加飾										2,3	面接			
	11.	作品制作5:板作りによる作品の制作(カップ)										2,3	面接			
	12.	カップの仕上げと加飾										2,3	面接			
	13.	┌											面接			
	14.	窯作業:窯詰め・素焼き・釉薬かけ・本焼き										4	面接			
15.	└ 窯出し、作品提出、講評										3,4	面接				
	◎定期試験															
アクティブ・ラーニング	ディスカッション															
成績評価基準	評価の方法:①授業態度・授業への参加度(30%)②提出作品6~7個程度(70%) 評価の基準:①関心・意欲・態度:授業中の作品制作に集中できている。積極的に作品案を考えている。 ②技能・表現:教えた技術が再現できる。作品の完成度、創造性。															
フィードバックの方法	作品制作時に問題点を個々に実技を交えながらコメントし、次回以降の制作に活かす。															
時間外の学習について	予習:陶芸技法書などを次回授業までに読んでおくこと(各回45分程度) 復習:制作に必要な技法、道具の再確認をしておくこと(各回45分程度)															
教材にかかわる情報	テキスト:陶芸道場 手びねり&装飾の巻 杉山佳隆著 参考書:特になし 参考資料:特になし															
実務経験について	窯元・作家活動経験:作品作りの考え方や、さまざまな技法について話をします。															
担当者からのメッセージ等	物作りの楽しさを感じてみてください。 担当者の連絡先は授業内で周知します。															

科目名	染織 (1単位)	演習	芸術表現学科	2年 後期	担当者	大道 竜士 (実務経験) (単独)										
ナンバリングコード	JA-S212-000	授業科目の 取扱い	面接授業科目													
卒業要件	選択															
授業のテーマ	染織、染色、天然塗料、モノづくり、型染、型紙、型染糊、絞り染															
授業概要	天然染料を使用した染色の歴史や技法について学ぶ。染色作品を制作して基本的な染色技術を身につけ、天然染料の魅力を発見する。															
達成目標	1. 染色の知識を身につける															
	2. 基本的な染色技法を身につける															
	3. モノづくりの楽しさを知る															
	4. 染色作品を制作する															
学修成果との関係	①	・	②	○	③	○	④	・	⑤	◎	⑥	◎	⑦	・	⑧	○
履修条件・注意事項																
授業計画											目標	方法				
	1. 染色について (染色技法、歴史など)										1	面接				
	2. 型染について (型紙の図案を考える)										1,2,3,4	面接				
	3. 型紙作成 (デザインを決める、下絵を写す)										1,2,3,4	面接				
	4. 型紙作成 (型紙を彫る)、糊づくり										1,2,3,4	面接				
	5. 型染糊置き										1,2,3,4	面接				
	6. 染色作業										1,2,3,4	面接				
	7. 染色作業										1,2,3,4	面接				
	8. 絞り染について (絞り染めの技法、歴史など) (目標1) 図案作成 (図案を考える)										1,2,3,4	面接				
	9. 図案作成 (下絵を写す)										1,2,3,4	面接				
	10. 絞り作業 (道具の使い方について)										1,2,3,4	面接				
	11. 絞り作業										1,2,3,4	面接				
	12. 絞り作業										1,2,3,4	面接				
	13. 染色作業										1,2,3,4	面接				
	14. 染色作業 (仕上げ)										1,2,3,4	面接				
	15. 作品の仕上げ、講評										1,2,3,4	面接				
◎定期試験																
アクティブ・ラーニング	ディスカッション、グループワーク															
成績評価基準	評価の方法：①授業態度・授業への参加度 (40%) ②提出作品 (60%) 評価の基準：①関心・意欲、態度：作品制作に集中できている。積極的に作品案を考えている。 ②技能・表現：教えた技術の再現ができる。作品の完成度、創造性。															
フィードバックの方法	各回での技術の習得度合をコメントし、次回以降の作品制作に活かす。															
時間外の学習について	予習：授業時の教材の準備 (各回45分程度) 復習：制作の目標の確認 (各回45分程度)															
教材にかかわる情報	テキスト：特になし 参考書：特になし 参考資料：技法書など随時配布する。															
実務経験について	染色作家としての経験をもとに天然染料について指導します。															
担当者からのメッセージ等	染色は日常生活とも関りが深いです。この授業を通して創作の視野を広げることができればよいと思います。 担当教員の連絡先・E-mail アドレスは、授業内で周知します。															

科目名	デッサンI (1単位)	演習	芸術表現学科	1年 前期	担当者	渡山 賢二(実務経験) (単独)										
ナンバリングコード	JA-SI21-000	授業科目の 取扱い	面接授業科目													
卒業要件	選択															
授業のテーマ	鉛筆デッサン、基礎描写、デザイン基礎力、スケッチ、観察、描写、空間、石膏デッサン															
授業概要	デッサン実技を行い、光・陰影・形による表現から観察と描写について理解・修得をめざす。															
達成目標	1. 画材に関する技術、知識の修得															
	2. 光・陰影・形の理解															
	3. 質感・空間(遠近)表現の修得															
	4. 画面構成や全体から細部までの表現方法を修得															
	5. 観察・描写の技術の修得															
学修成果との関係	①	・	②	○	③	・	④	・	⑤	◎	⑥	◎	⑦	・	⑧	○
履修条件・注意事項																
授業計画											目標	方法				
	1. 授業説明・道具の説明										1,2	面接				
	2. デッサン(1) [スキルチェック]										1,2	面接				
	3. デッサン(1) [スキルチェック]、講評										1,2,5	面接				
	4. デッサン(2) [モチーフ:幾何形体]										1,2	面接				
	5. デッサン(2) [モチーフ:幾何形体]、講評										1,2,5	面接				
	6. 課題① [モチーフ:基本形態]										1,2,3	面接				
	7. 課題① [モチーフ:基本形態]、講評										1,2,3,5	面接				
	8. 課題② [モチーフ:基本形態]										1,2,3	面接				
	9. 課題② [モチーフ:基本形態]、講評										1,2,3,5	面接				
	10. 課題③ [応用]										1,2,3,4	面接				
	11. 課題③ [応用]										1,2,3,4	面接				
	12. 課題③ [応用] 講評										1,2,3,4,5	面接				
	13. 課題④ [応用]										1,2,3,4	面接				
	14. 課題④ [応用]										1,2,3,4	面接				
	15. 課題④ [応用]、講評										1,2,3,4,5	面接				
◎定期試験																
アクティブ・ラーニング	ディスカッション															
成績評価基準	評価方法:①課題提出(45%)②授業姿勢(30%)③試験(25%) 評価基準:①観察力・描写力を評価※提出必須 ②授業への取組、意欲、理解度を評価 ③技術、理解度、修得度を評価															
フィードバックの方法	実技中、作品の講評時にフィードバックを行う。															
時間外の学習について	予習:スケッチを行う。(90分程度) 復習:デッサンの知識や技術の修得についてまとめる。(90分程度)															
教材にかかわる情報	テキスト:特になし 参考書:特になし 参考資料等:適宜資料配布															
実務経験について	デザイナー実務経験:デザインをする上でデッサンの重要性を経験を交えて説明します。															
担当者からのメッセージ等	観察力と描写力はデザインに大きく関わります。その観察力と描写力を身につける方法としてのデッサンがあります。デッサンの基礎や描写技術を習得し、デザイン力を高めてください。 課題についての質問や報告はTeams、メールにて(学籍番号・名前記載) E-Mail: ktoyama@yamaguchi-jca.ac.jp (渡山)															

科目名	デッサンⅡ (1単位)	演習	芸術表現学科	1年 後期	担当者	渡山 賢二(実務経験) (単独)										
ナンバリングコード	JA-S122-000	授業科目の 取扱い	面接授業科目													
卒業要件	選択															
授業のテーマ	鉛筆デッサン、基礎描写、デザイン基礎力、スケッチ、観察、描写、空間、石膏デッサン															
授業概要	デッサン実技を行い、光・陰影・形による表現から観察と描写について理解・修得をめざす。															
達成目標	1. 画材に関する技術、知識の修得															
	2. 光・陰影・形の理解															
	3. 質感・空間(遠近)表現の修得															
	4. 画面構成や全体から細部までの表現方法を修得															
	5. 観察・描写の技術の修得															
学修成果との関係	①	・	②	○	③	・	④	・	⑤	◎	⑥	◎	⑦	・	⑧	○
履修条件・注意事項	デッサンⅠを履修していることが望ましい。(必須ではない)															
授業計画															目標	方法
	1. 授業説明・道具の説明														1,2	面接
	2. デッサン(1) (スキルチェック)														1,2	面接
	3. デッサン(1) (スキルチェック)、講評														1,2,5	面接
	4. デッサン(2) [モチーフ:幾何形体]														1,2	面接
	5. デッサン(2) [モチーフ:幾何形体]、講評														1,2,5	面接
	6. 課題① [モチーフ:手]														1,2,3	面接
	7. 課題① [モチーフ:手]、講評														1,2,3,5	面接
	8. 課題② [応用]														1,2,3	面接
	9. 課題② [応用]、講評														1,2,3,5	面接
	10. 課題③ [応用]														1,2,3,4	面接
	11. 課題③ [応用]														1,2,3,4	面接
	12. 課題③ [応用]、講評														1,2,3,4,5	面接
	13. 課題④ [応用]														1,2,3,4	面接
	14. 課題④ [応用]														1,2,3,4	面接
	15. 課題④ [応用]、講評														1,2,3,4,5	面接
◎定期試験																
アクティブ・ラーニング	ディスカッション															
成績評価基準	評価方法:①課題提出(45%)②授業姿勢(30%)③試験(25%) 評価基準:①観察力・描写力を評価※提出必須 ②授業への取組、意欲、理解度を評価 ③技術、理解度、修得度を評価															
フィードバックの方法	実技中、作品の講評時にフィードバックを行う。															
時間外の学習について	予習:スケッチを行う。(90分程度) 復習:デッサンの知識や技術の修得についてまとめる。(90分程度)															
教材にかかわる情報	テキスト:特になし 参考書:特になし 参考資料等:適宜資料配布															
実務経験について	デザイナー実務経験:デザインをする上でデッサンの重要性を経験を交えて説明します。															
担当者からのメッセージ等	観察力と描写力はデザインに大きく関わります。その観察力と描写力を身につける方法としてのデッサンがあります。デッサンの基礎や描写技術を習得し、デザイン力を高めてください。 課題についての質問や報告はTeams、メールにて(学籍番号・名前記載) E-Mail:ktoyama@yamaguchi-jca.ac.jp(渡山)															

科目名	基礎デザイン I (色彩構成) (1単位)	演習	芸術表現学科	1年 前期	担当者	長田 和美 (単独)													
ナンバリングコード	JA-S123-000	授業科目の 取扱い	面接授業科目																
卒業要件	選択																		
授業のテーマ	基礎デザイン、色彩構成、配色																		
授業概要	実習(色彩構成)を通して、デザインの基礎となる色の弁別能力、配色技法を修得する。																		
達成目標	1. アートとデザインの違いを理解する。																		
	2. 課題を通して、色の弁別能力を高め、配色技法に対する理解を深める。																		
	3. 自分の制作物を客観的に評価することができる。																		
	4. 条件を厳守し、制限時間内に課題を制作する。																		
学修成果との関係	①	・	②	○	③	・	④	・	⑤	◎	⑥	◎	⑦	・	⑧	○			
履修条件・注意事項	「色彩論」を同時履修することが望ましい。																		
授業計画																	目標	方法	
	1. 基礎デザインを学ぶ意義、デザインとアートの違いとは?																	1	面接
	2. 彩色方法																	2,3,4	面接
	3. 色彩構成<課題1> 課題の理解、下書き																	2,3,4	面接
	4. // 彩色①																	2,3,4	面接
	5. // 彩色②																	2,3,4	面接
	6. // 彩色③																	2,3,4	面接
	7. // 振り返り																	2,3,4	面接
	8. 色彩構成<課題2> 課題の理解、下書き																	2,3,4	面接
	9. // 彩色①																	2,3,4	面接
	10. // 彩色②																	2,3,4	面接
	11. // 振り返り																	2,3,4	面接
	12. 色彩構成<課題3> 課題の理解、下書き																	2,3,4	面接
	13. // 彩色①																	2,3,4	面接
	14. // 彩色②																	2,3,4	面接
15. // 振り返り																	2,3,4	面接	
アクティブ・ラーニング	ペアワーク、グループワーク																		
成績評価基準	評価の方法: ①授業内レポート(20%) ②デザイン分析・錯視作図(10%) ③色彩構成(70%) 評価の基準: ①授業内レポートを通して、関心・意欲を測定 ②デザイン分析や錯視の作図を通して、思考・判断、技能・表現を測定 ③色彩構成を通して、技能・表現を測定																		
フィードバックの方法	課題の評価を口頭でフィードバック。課題毎に振り返りを実施。																		
時間外の学習について	予習: デザインサーベイ、計画立案(配色・時間配分) 各回30分程度 復習: 振り返り(良かった点と反省点を整理し、対策を考案) 各回15分程度																		
教材にかかわる情報	テキスト: なし 参考書: なし 参考資料: なし																		
実務経験について																			
担当者からのメッセージ等	デザインカの修得には、スポーツや音楽と同様、訓練を継続することが大切です。 連絡先: knagata@yamaguchi-jca.ac.jp (長田)																		

科目名	基礎デザインⅡ (平面構成) (1単位)	演習	芸術表現学科	1年 後期	担当者	長田 和美 (単独)											
ナンバリングコード	JA-S124-000	授業科目の 取扱い	面接授業科目														
卒業要件	選択																
授業のテーマ	基礎デザイン、平面構成、幾何学形態、配色、色彩																
授業概要	デザイン実習(幾何学形態を用いた平面構成)を通して、デザイナーに必要な美的感性(センス)と発想力を養う。																
達成目標	1. コンポジション・ルールを理解する。 2. コンポジション・ルールに従って、平面構成(幾何学形態)ができる。 3. 自分の制作物を客観的に評価することができる。 4. 条件を厳守し、制限時間内に課題を制作する。																
学修成果との関係	①	・	②	○	③	・	④	・	⑤	◎	⑥	◎	⑦	・	⑧	○	
履修条件・注意事項	「色彩論」、「基礎デザインⅠ(色彩構成)」を履修すること。																
授業計画																目標	方法
	1. 平面構成を学ぶ意義															1	面接
	2. コンポジション・ルールとは															2,3,4	面接
	3. 平面構成<課題1> エスキス、配色計画															2,3,4	面接
	4. // 配色・作業計画															2,3,4	面接
	5. // 彩色①															2,3,4	面接
	6. // 彩色②															2,3,4	面接
	7. // 振り返り															2,3,4	面接
	8. 平面構成<課題2> 課題理解、エスキス															2,3,4	面接
	9. // 彩色①															2,3,4	面接
	10. // 彩色②															2,3,4	面接
	11. // 振り返り															2,3,4	面接
	12. 平面構成<課題3> 課題理解、エスキス															2,3,4	面接
	13. // 彩色①															2,3,4	面接
	14. // 彩色②															2,3,4	面接
15. // 振り返り															2,3,4	面接	
アクティブ・ラーニング	ペアワーク、グループワーク																
成績評価基準	評価の方法:①授業内レポート(20%)②デザイン分析・錯視作図(10%)③色彩構成(70%) 評価の基準:①授業内レポートを通して、関心・意欲を測定 ②デザイン分析や錯視の作図を通して、思考・判断、技能・表現を測定 ③色彩構成を通して、技能・表現を測定																
フィードバックの方法	課題の評価を口頭でフィードバック。課題毎に振り返りを実施。																
時間外の学習について	予習:デザインサーベイ、計画立案(配色・時間配分) 各回30分程度 復習:振り返り(良かった点と反省点を整理し、対策を考案) 各回15分程度																
教材にかかわる情報	テキスト:木下メソッド・コンポジションレッスン 平面コンポジション、大学教育出版 参考書:なし 参考資料:なし																
実務経験について																	
担当者からのメッセージ等	デザインカの修得には、スポーツや音楽と同様、訓練を継続することが大切です。 連絡先:knagata@yamaguchi-jca.ac.jp(長田)																

科目名	基礎デザインⅢ (平面構成) (1単位)	演習	芸術表現学科	2年 前期	担当者	長田 和美 (単独)												
ナンバリングコード	JA-S221-000	授業科目の 取扱い	面接授業科目															
卒業要件	選択																	
授業のテーマ	基礎デザイン、平面構成、オーガニック形態、配色、色彩																	
授業概要	デザイン実習(オーガニック形態を用いた平面構成)を通して、デザイナーに必要な美的感性(センス)と発想力を養う。																	
達成目標	1. コンポジション・ルールを理解する。 2. コンポジション・ルールに従って、平面構成(オーガニック形態)ができる。 3. 自分の制作物を客観的に評価することができる。 4. 条件を厳守し、制限時間内に課題を制作する。																	
学修成果との関係	①	・	②	○	③	・	④	・	⑤	◎	⑥	◎	⑦	・	⑧	○		
履修条件・注意事項	「色彩論」、「基礎デザインⅠ(色彩構成)」、「基礎デザインⅡ(平面構成)」を履修すること																	
授業計画																	目標	方法
	1.																1	面接
	2.																1,2,3,4	面接
	3.																1,2,3,4	面接
	4.																1,2,3,4	面接
	5.																1,2,3,4	面接
	6.																1,2,3,4	面接
	7.																1,2,3,4	面接
	8.																1,2,3,4	面接
	9.																1,2,3,4	面接
	10.																1,2,3,4	面接
	11.																1,2,3,4	面接
	12.																1,2,3,4	面接
	13.																1,2,3,4	面接
	14.																1,2,3,4	面接
15.																1,2,3,4	面接	
アクティブ・ラーニング	ペアワーク、グループワーク																	
成績評価基準	評価の方法:①授業内レポート(20%)②デザイン分析・錯視作図(10%)③色彩構成(70%) 評価の基準:①授業内レポートを通して、関心・意欲を測定 ②デザイン分析や錯視の作図を通して、思考・判断、技能・表現を測定 ③色彩構成を通して、技能・表現を測定																	
フィードバックの方法	課題の評価を口頭でフィードバック。課題毎に振り返りを実施。																	
時間外の学習について	予習:デザインサーベイ、計画立案(配色・時間配分) 各回30分程度 復習:振り返り(良かった点と反省点を整理し、対策を考案) 各回15分程度																	
教材にかかわる情報	テキスト:木下メソッド・コンポジションレッスン 平面コンポジション、大学教育出版 参考書:なし 参考資料:なし																	
実務経験について																		
担当者からのメッセージ等	デザイン力の修得には、スポーツや音楽と同様、訓練を継続することが大切です。 連絡先:knagata@yamaguchi-jca.ac.jp(長田)																	

科目名	基礎デザインⅣ (立体構成) (1単位)		演習	芸術表現学科	2年 後期	担当者	渡山 賢二 (実務経験) (単独)									
ナンバリングコード	JA-S222-000		授業科目の 取扱い	面接授業科目												
卒業要件	選択															
授業のテーマ	立体構成、空間構成、発想力、アイデア、デザイン基礎力															
授業概要	立体構成の概要、紙・道具の扱い方を説明する。前半では基本形体の立体制作を行い、後半では自由課題の立体制作を行う。最後の課題で各自プレゼンを行う。															
達成目標	1. 素材の・道具の知識・技術の修得															
	2. 発想力 (アイデア)・美的感性の修得															
	3. アイデア・エスキースの立体表現化、計画力の修得															
	4. 立体構成に関する理解															
学修成果との関係	①	・	②	○	③	・	④	・	⑤	◎	⑥	◎	⑦	・	⑧	○
履修条件・注意事項	持参:鉛筆、消しゴム、カッター、定規 (30cm以上)、スチールのり (またはボンド)、コンパス、スケッチブック (必須)、メモ用紙															
授業計画											目標	方法				
	1. 授業概要の説明										1	面接				
	2. 課題① アイデア・エスキース										1,2	面接				
	3. 課題①										1,2,3	面接				
	4. 課題① 講評										1,2,3,4	面接				
	5. 課題② アイデア・エスキース										1,2,3	面接				
	6. 課題② 講評										1,2,3,4	面接				
	7. 課題③ アイデア・エスキース										1,2,3	面接				
	8. 課題③ 講評										1,2,3,4	面接				
	9. 課題④ アイデア・エスキース										1,2	面接				
	10. 課題④										1,2,3	面接				
	11. 課題④ プレゼンテーション・講評										1,2,3,4	面接				
	12. 課題⑤ アイデア・エスキース										1,2,3	面接				
	13. 課題⑤										1,2,3	面接				
	14. 課題⑤										1,2,3	面接				
15. 課題⑤ プレゼンテーション・講評										1,2,3,4	面接					
アクティブ・ラーニング	プレゼンテーション															
成績評価基準	評価の方法:①課題制作 (70%) ②授業への取り組みと理解 (30%) 評価の基準:①理解度、作品完成度を評価 ②意欲、態度、関心を評価															
フィードバックの方法	作品の講評を口頭でフィードバックを行う。															
時間外の学習について	予習:特になし 復習:講評や授業内での指摘事項などまとめる (各回90分程度)															
教材にかかわる情報	テキスト:特になし 参考書:特になし 参考資料等:適宜資料配布															
実務経験について	デザイナー経験:立体構成に関する知識・技術を身につけることで、モノの見方や考え方が広がり、デザイン業務に役立ちます。															
担当者からのメッセージ等	紙という身近な素材で立体造形物を制作し、立体構成を学び、デザイン表現に活用してください。 課題についての質問や報告はTeams、メールにて。(学籍番号・名前記載) E-Mail: ktoyama@yamaguchi-jca.ac.jp (渡山)															

科目名	色彩論 (2単位)	講義	芸術表現学科	1年 前期	担当者	長田 和美 (単独)										
ナンバリングコード	JA-SI25-000	授業科目の 取扱い	面接授業科目													
卒業要件	選択															
授業のテーマ	色彩、配色、ユニバーサルデザイン、色覚特性、色彩検定															
授業概要	色彩について体系的に学び、色彩の基礎、色の心理効果、色彩文化を理解する。また、配色技法を理解・修得し、ファッションやインテリア、グラフィック等のデザインに応用する力を養う。															
達成目標	1.色の表示・分類方法、配色技法を理解し、活用できる。															
	2.色の視覚効果や心理効果、色に関する歴史や文化を理解し、活用できる。															
	3.色覚特性、ユニバーサルデザインについて理解し、活用できる。															
	4.カラーカード課題を通して、色の識別能力を身につける。															
	5.色に関する知識やスキルをデザインやビジネスに応用できる。															
学修成果との関係	①	・	②	○	③	・	④	・	⑤	◎	⑥	◎	⑦	・	⑧	○
履修条件・注意事項	基礎デザインⅠ（色彩構成）を同時履修することが望ましい。															
授業計画											目標	方法				
	1.色の三属性（色相・明度・彩度）										1,4	面接				
	2.表色系										1,4	面接				
	3.PCCS色相環とトーン										1,4	面接				
	4.配色技法①										1	面接				
	5.配色技法②										1	面接				
	6.配色技法③										1	面接				
	7.眼のしくみ										2	面接				
	8.照明と色の見え方										2	面接				
	9.混色										2	面接				
	10.色の心理的効果										2	面接				
	11.色に関する文化（日本と世界）										2	面接				
	12.色覚異常とユニバーサルデザイン										3	面接				
	13.デザインと色彩										5	面接				
	14.ビジネスと色彩										5	面接				
	15.パーソナルカラー										5	面接				
◎定期試験																
アクティブ・ラーニング	ペアワーク、グループワーク															
成績評価基準	評価の方法：①カラーカード演習（20%）②小テスト（40%）③定期試験（40%） 評価の基準：①カラーカード演習を通して、色の弁別に対する技能・表現を測定 ②小テストを通して、知識・理解を測定 ③定期試験を通して、知識・理解、思考・判断を測定															
フィードバックの方法	次回授業で小テストを返却し、解説する。															
時間外の学習について	予習：テキストを熟読し、疑問点を明らかにする。（各回90分程度） 復習：教科書（授業で扱った範囲）を読んで理解を深める。色彩検定の過去問を解く。（各回90分程度）															
教材にかかわる情報	テキスト：AFT色彩検定 公式テキスト3級編、PCCSハーモニックカード201ポケットケース入り 参考書：AFT色彩検定 公式テキスト2級編、1級編、UC級 参考資料：なし															
実務経験について																
担当者からのメッセージ等	連絡先：knagata@yamaguchi-jca.ac.jp（長田）															

科目名	広告論 (2単位)	演習	芸術表現学科	1年 後期	担当者	山下 明仁(実務経験) (単独)										
ナンバリングコード	JA-S128-000	授業科目の 取扱い	面接授業科目													
卒業要件	選択															
授業のテーマ	広告論、伝わる表現、伝わるデザイン、表現技術、オリジナル作品、作品制作、広告大賞															
授業概要	<p>広告はもちろん、社会で必要とされる表現にはクリアしなければならない「基準」が存在します。その基準を意識化することなく制作しても伝わる表現にはなりません。まずは基準を把握する。それだけで制作物のクオリティが上がり、自分だけのオリジナルな作品が作れるようになります。そのことを実際にポスターを制作しながら学んでいきます。</p>															
達成目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 表現における評価基準に達している。 2. どうやって基準をクリアしていくかを理解できる。 3. アイデアの切り口と、差別化をできている。 4. 伝えるべき本質を可視化できる。 5. 自分だけのオリジナルな作品を作ることができる。 															
学修成果との関係	①	・	②	○	③	・	④	・	⑤	◎	⑥	◎	⑦	・	⑧	○
履修条件・注意事項	画像編集、グラフィックⅠ・Ⅱ、基礎描写Ⅰ・Ⅱ、基礎デザインⅠ・Ⅱを履修すること。															
授業計画											目標	方法				
	1. 「表現」とは何か。(あらゆる表現の基本となるもの)										1	面接				
	2. 「好きなものを作る」では伝わらない、作れない、続かない。										1	面接				
	3. 評価されるポスターとは。(実際の広告で確認しよう)										1,2	面接				
	4. 評価基準。(たった3つしかない)										1,2	面接				
	5. アイデアの出し方。(最初はベタでもいい)										1,2,3	面接				
	6. 切り口の見つけ方。(オリジナルな作品とは)										1,2,3	面接				
	7. オリジナルな、自分だけの作品にするために。										1,2,3	面接				
	8. 切り口の見つけ方02 (さらにオリジナルに)										1,2,3,4	面接				
	9. メッセージの「本質」とは。										1,2,3,4	面接				
	10. メッセージが届かない理由。										1,2,3,4	面接				
	11. 切り口の見つけ方03 (さらにオリジナルに)										1,2,3,4,5	面接				
	12. じっさいにポスターを制作しましょう。										1,2,3,4,5	面接				
	13. 制作物のプロセスを知ろう。										1,2,3,4,5	面接				
	14. 制作物の講評。										1,2,3,4,5	面接				
15. 制作物の仕上げ。広告大賞にエントリーしよう										1,2,3,4,5	面接					
アクティブ・ラーニング	グループワーク、プレゼンテーション															
成績評価基準	<p>評価の方法：①課題制作 (70%) ②課題の完成度により技能・表現を測定。理論の理解 (30%)</p> <p>評価の基準：①課題の完成度により技能・表現を測定：学んだ技能表現をもって完成度の高い作品に仕上がっている。</p> <p>②課題による表現の実習により、理論の理解度を測定：表現実習で学んだ理論が理解できている。</p>															
フィードバックの方法	講義でそれぞれの制作課題の講評により行う。															
時間外の学習について	<p>予習：好きなグラフィック広告、看板など、面白いと感じたものを自分なりに分析してみる。(各回90分)</p> <p>復習：評価基準を意識しながら課題を制作しているか、確認。(各回90分)</p>															
教材にかかわる情報	<p>テキスト：プリント配布</p> <p>参考書：具体的事例、グラフィック・映像など。</p> <p>参考資料等：プリント配布</p>															
実務経験について	<p>現役のCMプランナー・広告デザイナーです (ACC賞、山口県広告大賞など受賞歴あり)。現在、仕事で使っている方法、「実践」で使える技術を伝授します。</p> <p>コンテンツ制作会社を設立：広告はもちろんコンテンツの制作において重要となるアイデアの生み出し方。そのアイデアを効果的にアウトプットするまでの方法論を実務経験を交えながらお伝えします。</p>															
担当者からのメッセージ等	授業担当者の連絡先： yamashita@studio-hen.com (山下 明仁)															

科目名	DTP デザイン論 (2単位)		講義	芸術表現学科	2年 前期	担当者	前田 和也(実務経験) (単独)									
ナンバリングコード	JA-S223-000		授業科目の 取扱い	面接授業科目												
卒業要件	選択															
授業のテーマ	DTP、デザイン、印刷技術、Illustrator、Photoshop、Indesign、DTP 検定															
授業概要	ポスターやパンフレット等の印刷物の制作は、現在ではデザインから印刷までをトータルにコンピューター技術を活用する DTP (Desktop Publishing) により制作されている。授業では DTP を支えている広範囲の技術について学ぶ。印刷物の企画、紙と色、画像入力と出力、インキ、製本、ページネーション、編集、DTP のハードウェアとソフトウェア、著作権、印刷データの入稿と管理などを学習する。															
達成目標	1.印刷技術についての知識修得 2.コンピューター環境についての知識修得 3.DTP で必要な素材の制作技術の修得															
学修成果との関係	①	・	②	○	③	・	④	・	⑤	◎	⑥	◎	⑦	・	⑧	○
履修条件・注意事項																
授業計画															目標	方法
	1. DTP とは・身の回りの印刷物について														1,2,3	面接
	2. 印刷物作成のワークフロー														1,2	面接
	3. DTP のシステム構成・制作環境について														2	面接
	4. 企画と編集作業														1,2	面接
	5. 色と紙の基本知識														1,2	面接
	6. スケジュール管理、進行														1,2	面接
	7. 著作権など法律関係														1	面接
	8. 編集デザイン														1,2	面接
	9. 画像と写真編集														1,2,3	面接
	10. 紙面レイアウト														2	面接
	11. レイアウトワーク課題(卒業制作概要集)														3	面接
	12. 校正														1,3	面接
	13. 入稿と印刷														1,2	面接
	14. クロスメディアへの展開														2	面接
	15. 模擬試験問題														1,2	面接
◎定期試験																
アクティブ・ラーニング																
成績評価基準	評価の方法:①定期試験(60%)②授業中の課題(30%)③授業中の取組姿勢(10%) 評価の基準:①知識・理解:教科書に載っている知識を扱った問題に回答できる ②授業時の演習課題:思考・判断・表現技術を測定 ③関心・意欲の測定															
フィードバックの方法	演習課題については、授業内でフィードバックをおこなう。試験については、希望するものについて回答用紙の返却や回答の配布を行う。															
時間外の学習について	予習:身の回りの印刷物に関心を持ち、気になったものは収集してスクラップするなどが望ましい(120分程度) 復習:授業で進めたテキストの部分を再度読んでおく。演習課題については、提出期限までに完成させること(60分程度)															
教材にかかわる情報	テキスト:印刷メディアディレクション [改訂版] / (株)ポーンデジタル 参考書:特になし 参考資料: DTP 検定ディレクション問題集 2017年改訂問題対応															
実務経験について	デザイナー経験:実務でおこる事故のエピソードなど具体的な実例を交えテキストを進めます。															
担当者からのメッセージ等	課題についての質問や報告はメールにて。E-Mail: t0014@yamaguchi-jca.ac.jp (前田)															

科目名	グラフィック I (1 単位)	演習	芸術表現学科	1 年 前期	担当者	渡山 賢二 (実務経験) (単独)												
ナンバリングコード	JA-S127-000	授業科目の 取扱い	面接授業科目															
卒業要件	選択																	
授業のテーマ	グラフィックデザイン、DTP、イラスト、Adobe Illustrator、Photoshop Illustrator、クリエイター能力認定試験																	
授業概要	デザイナーが使用する代表的なソフトウェアについて理解し、基本的な操作方法を修得する。																	
達成目標	1. ソフトウェア Adobe Illustrator の基本操作技術の修得 2. グラフィックデザインに必要な基礎知識を修得する 3. 課題発見力の修得と状況に応じた知識の活用 4. グラフィックデザインの表現力、技術の修得																	
学修成果との関係	①	・	②	○	③	・	④	・	⑤	◎	⑥	◎	⑦	・	⑧	○		
履修条件・注意事項	「画像編集」を同時履修することが望ましい。																	
授業計画																	目標	方法
	1. Illustrator の基本操作																1	面接
	2. オブジェクトの基本操作 1																1,2	面接
	3. オブジェクトの基本操作 2																1,2	面接
	4. 課題①																1,2,3	面接
	5. パスの描画と編集、前回課題の講評																1,2	面接
	6. カラー設定																1,2	面接
	7. オブジェクトの編集 1																1,2	面接
	8. オブジェクトの編集 2																1,2	面接
	9. 課題②																1,2,3	面接
	10. テキストの入力と編集、前回課題の講評																1,2	面接
	11. その他よく使われる機能																1,2	面接
	12. Illustrator と Photoshop																1,2,3	面接
	13. 課題③																3,4	面接
	14. 課題③																3,4	面接
15. 課題③、講評																3,4	面接	
アクティブ・ラーニング	ディスカッション																	
成績評価基準	評価の方法：①課題提出 (70%) ②授業の取組姿勢 (30%) 評価の基準：①思考・判断・表現技術を評価 ②授業への取組、意欲、理解度を評価																	
フィードバックの方法	課題提出後、授業または Teams・メールにてフィードバックを行う。																	
時間外の学習について	予習：Pinterest (画像共有サービス) を使用した画像収集を行い、制作物・制作方法に関心を持つこと (30 分程度) 復習：授業内で説明した機能や技術についてまとめる (60 分程度)																	
教材にかかわる情報	テキスト：知識ゼロからきちんと学べる Illustrator しっかり入門 第2版/SB クリエイティブ株式会社 Illustrator®クリエイター能力認定試験問題集/ウイネット 参考書：特になし 参考資料：適宜授業にて配布																	
実務経験について	デザイナー実務経験：デザイン業務での Illustrator の実践的な使い方を実務経験を交えて説明します。																	
担当者からのメッセージ等	Adobe Illustrator の実用的な使用方法を身につけ、活用することで今後活躍されることを期待しています。 課題についての質問や報告は Teams、メールにて (学籍番号・名前記載) E-Mail : ktoyama@yamaguchi-jca.ac.jp (渡山)																	

科目名	グラフィックⅡ (1単位)		演習	芸術表現学科	1年 後期	担当者	中澤 恵 (実務経験)									
ナンバリングコード	JA-S131-000		授業科目の 取扱い	面接授業科目												
卒業要件	選択															
授業のテーマ	イラストレーター、フォトショップ、グラフィックデザインの基礎知識、プロセス、編集力															
授業概要	制作課題を通じてデザイン制作プロセスを養い、ソフトウェアの基本操作技術を習熟する。															
達成目標	1. デザイン制作のプロセスを理解する。															
	2. デザイン制作におけるコンセプトの重要性を理解する。															
	3. ソフトウェアの操作技術を習熟する。															
	4. デザインの表現力、技術を習得する。															
学修成果との関係	①	・	②	○	③	・	④	・	⑤	◎	⑥	◎	⑦	・	⑧	○
履修条件・注意事項	画像編集Ⅰを同時履修することが望ましい。															
授業計画											目標	方法				
	1. デザインの紹介、収集、小物制作										1,4	面接				
	2. デザインのルール・コンセプトの重要性										1,2	面接				
	3. フォント・文字組について										2,4	面接				
	4. 配色と印象										2,4	面接				
	5. フライヤー制作(1) ラフ案										3,4	面接				
	6. フライヤー制作(2)										3,4	面接				
	7. プレゼンテーション										3,4	面接				
	8. ロゴデザインについて										1,2,3	面接				
	9. ロゴ制作(1) ラフ案										2,4	面接				
	10. ロゴ制作(2)・ガイドライン・その他										3,4	面接				
	11. ロゴ制作(3)・ガイドライン・その他 講評、ブラッシュアップ										3,4	面接				
	12. 広告制作(1) ラフ案										2,4	面接				
	13. 広告制作(2)										3,4	面接				
	14. 広告制作(3) ブラッシュアップ										3,4	面接				
15. プレゼンテーション										3,4	面接					
アクティブ・ラーニング	プレゼンテーション															
成績評価基準	評価の方法：①授業中への取組姿勢(30%) ②課題作品(60%) ③完成度(10%) 評価の基準：①関心・意欲の測定 ②思考・判断・表現技法を測定 ③意識の高さを測定															
フィードバックの方法	課題ごとの講評、プレゼンテーションでは受講者と作品共有しながらフィードバックする。															
時間外の学習について	予習：日々生活に溢れているデザインに常に注目し、気になったデザイン・情報についてファイリングするように。 (各回45分程度) 復習：制作課題は提出期限までに完成させること。(各回45分程度)															
教材にかかわる情報	テキスト：トレースで&模写で学ぶデザインのドリル、プリント配布 参考書：特になし 参考資料：授業中に配布															
実務経験について	地元印刷会社退職後、フリーデザイナーとして活動しています。(山口県デザイン展受賞歴あり) これまでの経験を活かして実践的なデザイン、伝えるべきことがカタチにできる技術をお伝えします。															
担当者からのメッセージ等	担当者の連絡先・E-mail t0044@yamaguchi-jca.ac.jp (中澤)															

科目名	グラフィックⅢ (1単位)	演習	芸術表現学科	2年 後期	担当者	中澤 恵 (実務経験)												
ナンバリングコード	JA-S225-000	授業科目の 取扱い	面接授業科目															
卒業要件	選択																	
授業のテーマ	グラフィックデザイン 実践力 応用 スキルアップ																	
授業概要	デザインスキルのアップ、オーダーへの提案（発想力・伝える力）をカタチにできる応用力を磨く。																	
達成目標	1. グラフィックデザイン制作のプロセスを理解できる。																	
	2. デザインコンセプトに沿った作品を制作できる。																	
	3. ソフトウェアの操作技術をスキルアップできる。																	
	4. デザイン制作でのコミュニケーションとプレゼンテーション技術を習得する。																	
学修成果との関係	①	◎	②	○	③	・	④	・	⑤	◎	⑥	◎	⑦	・	⑧	○		
履修条件・注意事項	画像編集Ⅰ、グラフィックを単位修得していることが望ましい。																	
授業計画																	目標	方法
	1. グラフィックデザインの仕事																1	面接
	2. グラフィックデザインの流行と変わらないもの																1	面接
	3. 課題① (1) ラフ案																2,3	面接
	4. 課題① (2)																2,3	面接
	5. 課題① (3) プレゼンテーション																2,3,4	面接
	6. 課題② (1) ラフ案																2,3	面接
	7. 課題② (2)																2,3	面接
	8. 課題② (3) 講評 ブラッシュアップ																2,3	面接
	9. 課題③ (1) ラフ案																2,3	面接
	10. 課題③ (2)																2,3	面接
	11. 課題②③ プレゼンテーション																2,3,4	面接
	12. 課題④ (1) ラフ案																2,3	面接
	13. 課題④ (2)																2,3	面接
	14. 課題④ (4) ブラッシュアップ																2,3	面接
15. 課題④ (5) プレゼンテーション																2,3,4	面接	
アクティブ・ラーニング	プレゼンテーション																	
成績評価基準	評価の方法：①授業中への取組姿勢 (30%) ②課題作品 (60%) ③完成度 (10%) 評価の基準：①関心・意欲の測定 ②思考・判断・表現技法を測定 ③意識の高さを測定																	
フィードバックの方法	課題ごとの講評、プレゼンテーションでは受講者と作品共有しながらフィードバックする。																	
時間外の学習について	予習：日々生活に溢れているデザインに常に注目し、気になったデザイン・情報についてファイリングすること。 (各回45分程度) 復習：制作課題は提出期限までに完成させること。(各回45分程度)																	
教材にかかわる情報	テキスト：プリント配布 参考書：特になし 参考資料：授業中に配布																	
実務経験について	地元印刷会社退職後、フリーデザイナーとして活動しています。(山口県デザイン展受賞歴あり) これまでの経験を活かして実践的なデザイン、伝えるべきことがカタチにできる技術をお伝えします。																	
担当者からのメッセージ等	担当者の連絡先・E-mail t0044@yamaguchi-jca.ac.jp (中澤)																	

科目名	イラストレーションⅠ (1単位)	演習	芸術表現学科	1年 後期	担当 者	種田 和宏(実務経験) (単独)										
ナンバリングコード	JA-S129-000	授業科目の 取扱い	面接授業科目													
卒業要件	選択															
授業のテーマ	イラストレーション、デジタルイラスト、イラスト制作、Photoshop、キャラクター、図形イラスト、背景イラスト、 技能 意欲 表現 創造 制作															
授業概要	様々な題材をモチーフにイラスト作成することでデジタルならではの基本的なテクニック、メリットを学びます。															
達成目標	1. パソコン、タブレット、ソフトウェアを使ったデジタルイラスト制作の基礎知識を習得する。 2. ソフトウェアの機能を活かしたデジタルイラスト制作基礎技術を習得する。															
学修成果との関係	①	・	②	○	③	・	④	・	⑤	◎	⑥	◎	⑦	・	⑧	○
履修条件・注意事項																
授業計画										目標	方法					
	1. デジタルイラストについて									1	面接					
	2. Photoshopを使用した線画の練習、簡単な図形イラストの制作1-1									1	面接					
	3. Photoshopを使用した簡単な図形イラストの制作1-2									1,2	面接					
	4. Photoshopを使用した簡単な図形イラストの制作1-3提出									1,2	面接					
	5. Photoshopを使用したイラストの制作2-1									1,2	面接					
	6. Photoshopを使用したイラストの制作2-2									1,2	面接					
	7. Photoshopを使用したイラストの制作2-3提出									1,2	面接					
	8. Photoshopを使用したキャラクターイラストの制作3-1									1,2	面接					
	9. Photoshopを使用したキャラクターイラストの制作3-2									1,2	面接					
	10. Photoshopを使用したキャラクターイラストの制作3-3									1,2	面接					
	11. Photoshopを使用したキャラクターイラストの制作3-4提出									1,2	面接					
	12. Photoshopを使用した背景イラストの制作4-1									1,2	面接					
	13. Photoshopを使用した背景イラストの制作4-2									1,2	面接					
	14. Photoshopを使用した背景イラストの制作4-3									1,2	面接					
15. Photoshopを使用した背景イラストの制作4-4提出									1,2	面接						
アクティブ・ラーニング	ディスカッション															
成績評価基準	評価の方法：①授業中の取り組みの姿勢(30%) ②提出作品(70%) 評価の基準：①意欲、関心を総合的に測定：興味・関心をもって、意欲的に授業に参加できる。 ②完成度の高さを測定：課題の目的、授業で学んだ技法を理解し、それを活用して再現できている。															
フィードバックの方法	課題提出後、授業内で受講生の作品を共有し講評する時間を設けます。 希望者には提出作品の返却時に評価、改善点等のコメントを添付します。															
時間外の学習について	予習：課題に必要な素材、資料集めを行う。(各回45分～) 復習：次回までに作品制作を進める。(各回45分～)															
教材にかかわる情報	テキスト：授業の中でPDF、プリント等配布します。 参考書・参考資料：講義内容に応じて必要な場合はその都度紹介します。															
実務経験について	漫画家アシスタント、ゲーム制作の経験をもとに実践的な技術について話をします。															
担当者からのメッセージ等	Photoshopを使用して実演を交えながら一緒にデジタルイラスト制作を学んでいきます。 分からないことがあったら気軽に質問して下さいね。 授業担当者の連絡先：T0042@yamaguchi-jca.ac.jp(種田)															

科目名	イラストレーションⅡ (1単位)	演習	芸術表現学科	2年 前期	担当 者	種田 和宏(実務経験) (単独)										
ナンバリングコード	JA-S230-000	授業科目の 取扱い	面接授業科目													
卒業要件	選択															
授業のテーマ	イラストレーション、デジタルイラスト、イラスト制作、Photoshop、キャラクター、図形イラスト、背景イラスト、 技能、意欲、表現、創造、制作、研究															
授業概要	様々な題材をモチーフにイラスト作成することでデジタルならではのテクニック、メリットを学びます。															
達成目標	1. パソコン、タブレット、ソフトウェアを使ったデジタルイラスト制作の基礎、応用知識を習得する。 2. アプリケーションの機能を活かしたデジタルイラスト制作基礎、応用技術を習得する。															
学修成果との関係	①	・	②	○	③	・	④	・	⑤	◎	⑥	◎	⑦	・	⑧	○
履修条件・注意事項																
授業計画						目標	方法									
	1. Photoshopを使用したデフォルメキャラクターイラストの制作1-1					1,2	面接									
	2. Photoshopを使用したデフォルメキャラクターイラストの制作1-2					1,2	面接									
	3. Photoshopを使用したデフォルメキャラクターイラストの制作1-3					1,2	面接									
	4. Photoshopを使用したデフォルメキャラクターイラストの制作1-4 提出					1,2	面接									
	5. Photoshopを使用した背景付きキャラクターイラストの制作2-1					1,2	面接									
	6. Photoshopを使用した背景付きキャラクターイラストの制作2-2					1,2	面接									
	7. Photoshopを使用した背景付きキャラクターイラストの制作2-3					1,2	面接									
	8. Photoshopを使用した背景付きキャラクターイラストの制作2-4					1,2	面接									
	9. Photoshopを使用した背景付きキャラクターイラストの制作2-5 提出					1,2	面接									
	10. Photoshopを使用した好きな題材でイラストの制作3-1					1,2	面接									
	11. Photoshopを使用した好きな題材でイラストの制作3-2					1,2	面接									
	12. Photoshopを使用した好きな題材でイラストの制作3-3					1,2	面接									
	13. Photoshopを使用した好きな題材でイラストの制作3-4					1,2	面接									
	14. Photoshopを使用した好きな題材でイラストの制作3-5					1,2	面接									
15. Photoshopを使用した好きな題材でイラストの制作3-6 提出					1,2	面接										
アクティブ・ラーニング	ディスカッション															
成績評価基準	評価の方法：①授業中の取り組みの姿勢(30%) ②提出作品(70%) 評価の基準：①意欲、関心を総合的に測定：興味・関心をもって、意欲的に授業に参加できる。 ②完成度の高さを測定：課題の目的、授業で学んだ技法を理解し、それを活用して再現できている。															
フィードバックの方法	課題提出後、授業内で受講生の作品を共有し講評する時間を設けます。 希望者には提出作品の返却時に評価、改善点等のコメントを添付します。															
時間外の学習について	予習：課題に必要な素材、資料集めを行う。(各回45分～) 復習：次回までに作品制作を進める。(各回45分～)															
教材にかかわる情報	テキスト：授業の中でPDF、プリント等配布します。 参考書・参考資料：講義内容に応じて必要な場合はその都度紹介します。															
実務経験について	漫画家アシスタント、ゲーム制作の経験をもとに実践的な技術について話をします。															
担当者からのメッセージ等	Photoshopを使用して実演を交えながら一緒にデジタルイラスト制作を学んでいきます。 分からないことがあったら気軽に質問して下さいね。 授業担当者の連絡先： T0042@yamaguchi-jca.ac.jp (種田)															

科目名	画像編集 (1単位)	演習	芸術表現学科	1年 前期	担当者	前田 和也(実務経験) (単独)										
ナンバリングコード	JA-S126-000	授業科目の 取扱い	面接授業科目													
卒業要件	選択															
授業のテーマ	Photoshop, ソフトウェア操作, 画像編集, 写真, グラフィックデザイン, 認定試験															
授業概要	画像処理の最も代表的なソフトウェアである Adobe Photoshop は、DTP、CAD、Web デザインなどにおいても必須のソフトウェアである。授業では、Adobe Photoshop の基礎を学習する。															
達成目標	1. デジタル画像における画像の理解 2. 画像処理のソフトウェア Adobe Photoshop の操作方法の修得 3. 画像処理手法の修得															
学修成果との関係	①	・	②	○	③	・	④	・	⑤	◎	⑥	◎	⑦	・	⑧	○
履修条件・注意事項																
授業計画											目標	方法				
	1. ガイダンス、コンピュータの使い方、画像処理ソフトウェアを用いた画像の入出力										1	面接				
	2. Photoshop のファイルの作成、保存、画面の基本操作										2	面接				
	3. レイヤーの操作と色調補正										2,3	面接				
	4. 選択範囲の作成										2,3	面接				
	5. 色の設定とペイントの操作										2,3	面接				
	6. レイヤーマスクを使う										2,3	面接				
	7. 文字、パス、シェイプ										2,3	面接				
	8. 画像の修正										2,3	面接				
	9. フィルターとレイヤースタイル										2,3	面接				
	10. 課題制作 ①										3	面接				
	11. 課題制作 ②										3	面接				
	12. 課題制作 ③										3	面接				
	13. 課題制作 ④										3	面接				
	14. 課題制作 ⑤										3	面接				
15. 課題制作 ⑥										3	面接					
アクティブ・ラーニング																
成績評価基準	評価の方法：①授業で制作する課題 (75%) ②授業中の取組姿勢 (25%) 評価の基準：①思考・判断・表現技術を測定 ②関心・意欲の測定															
フィードバックの方法	課題内容について個別に評価し、習熟度などを教員・受講生で共有する。															
時間外の学習について	予習：テキストを読んで大まかな流れを把握しておくこと (30分程度) 復習：授業で進めたところは次回授業までに進めておくこと (60分程度)															
教材にかかわる情報	テキスト： 世界一わかりやすい Illustrator & Photoshop 操作とデザインの教科書 [改訂3版] / 技術評論社 Photoshop® クリエイター能力認定試験問題集 / ウィネット 参考書：特になし 参考資料：特になし															
実務経験について	デザイナー経験：業務では欠かせない Photoshop の実践的な使い方のテクニックやデータの作成方法のコツを交えて話をします。															
担当者からのメッセージ等	課題についての質問や報告はメールにて。E-Mail : t0014@yamaguchi-jca.ac.jp (前田)															

科目名	DTP デザイン演習 (1単位)		演習	芸術表現学科	2年 後期	担当者	前田 和也(実務経験) (単独)										
ナンバリングコード	JA-S224-000		授業科目の 取扱い	面接授業科目													
卒業要件	選択																
授業のテーマ	DTP, グラフィックデザイン, デザイン, 印刷技術, Illustrator, Photoshop, Indesign, ソフトウェア操作																
授業概要	DTP (DeskTopPublishing) 技術は、印刷分野では必修の技術となっており、従ってグラフィックデザイン、エディトリアルデザインを学ぶ上でも重要な技能である。授業では実際にパソコンとDTPソフトウェア(Adobe Illustrator、Photoshop、Indesign)を使用しながらDTP技能を学ぶ。 DTP各論で学習した印刷の基本ルール(段組みや版面、文字組、図版の扱い方)に従い、さらにデザイン要素を加え、見やすい、美しい印刷物を実現していくかを実践的に学習する。																
達成目標	1. 印刷物データ制作におけるルールの理解 2. 印刷物データ作成技術の修得 3. ソフトウェア操作技術の修得 4. グラフィックデザインの表現力、技術の修得																
学修成果との関係	①	・	②	○	③	・	④	・	⑤	◎	⑥	◎	⑦	・	⑧	○	
履修条件・注意事項	DTP各論履修が望ましい																
授業計画																目標	方法
	1. 1色印刷(1)(カードの制作) 解説～データ制作															1,2,3	面接
	2. 1色印刷(2)(カードの制作) データ入稿の方法															2,3	面接
	3. 2色印刷(1) 解説～チュートリアル (Illustrator データ変換)															1,2	面接
	4. 2色印刷(2) チュートリアル (Photoshop データ変換)															3,4	面接
	5. 2色印刷(3)(ポストカードの制作) 解説～データ制作															3,4	面接
	6. 2色印刷(4)(ポストカードの制作) データ制作～入稿															1,2,3,4	面接
	7. パッケージの制作(1) 解説～データ制作															1,2	面接
	8. パッケージの制作(2) データ制作															3,4	面接
	9. パッケージの制作(3) データ制作～入稿															3,4	面接
	10. Indesignでページ物の制作(1) 解説～チュートリアル															1,2,3	面接
	11. Indesignでページ物の制作(2) チュートリアル															2,3	面接
	12. Indesignでページ物の制作(1)(書籍の計画) 解説～データ制作															2,3,4	面接
	13. Illustratorでのページ物の制作(卒業制作概要集入稿データ作成)															1,2,3	面接
	14. Indesignでページ物の制作(3)(書籍の計画) 解説～データ制作															2,3,4	面接
15. Indesignでページ物の制作(4)(書籍の計画) データ制作～完成(出力)															3,4	面接	
アクティブ・ラーニング																	
成績評価基準	評価の方法: ①授業中の課題(80%) ②授業中の取組姿勢(20%) 評価の基準: ①授業時の演習課題: 思考・判断・表現技術を測定 ②意欲の測定																
フィードバックの方法	課題が提出されたのち、授業にて受講者と作品を共有しながらフィードバックする																
時間外の学習について	予習: 身の回りの印刷物に関心を持ち、気になったものは収集してスクラップするなど(30分程度) 復習: 制作課題は提出期限までに完成させること(60分程度)																
教材にかかわる情報	テキスト: 印刷メディアディレクション [改訂版] / ワークスコーポレーション 参考書: 入稿データのつくりかた CMYK4色印刷・特色2色印刷・名刺・ハガキ・同人誌・グッズ類 / エムディエヌコーポレーション 参考資料: 特になし																
実務経験について	デザイナー経験: 実務でおこなった事故のエピソードなど具体的な実例を交えてテキストを進めます。																
担当者からのメッセージ等	課題についての質問や報告はメールにて。 E-Mail: t0014@yamaguchi-jca.ac.jp (前田)																

科目名	パッケージデザイン (1単位)		演習	芸術表現学科	2年 後期	担当者	平川 和明(実務経験) (単独)										
ナンバリングコード	JA-S230-000		授業科目の 取扱い	面接授業科目													
卒業要件	選択																
授業のテーマ	デザイン、パッケージデザイン、コミュニケーションデザイン																
授業概要	パッケージデザインの役割と重要性を理解し、多面的視点から生活と環境を踏まえた新たなデザインを発想する力を養う。商品研究として任意のパッケージについて調査・分析することで、パッケージデザインに求められる諸要素を考察する。また課題制作を通してデザインのプロセスを理解しパッケージデザインを完成させ、その成果を発表する。																
達成目標	1. パッケージデザインの役割と重要性を理解する。 2. どのように思考、判断して個々の作品制作に至ったかを説明できる。 3. 日常生活でデザインに問題意識を持ち、作品制作に活かすことができる。 4. デザインのプロセスを理解し、主体的に制作活動に取り組むことができる。 5. 多面的な視点から発想ができる。																
学修成果との関係	①	・	②	○	③	・	④	○	⑤	◎	⑥	◎	⑦	◎	⑧	○	
履修条件・注意事項																	
授業計画															目標	方法	
	1. ガイダンス														1	面接	
	2. パッケージデザインとは														1	面接	
	3. チームビルディング														2,5	面接	
	4. アイデアの発想法①ブレインライティング法														2,5	面接	
	5. アイデアの発想法②A+B=C法														2,5	面接	
	6. パッケージ研究①課題説明、調査・分析														1	面接	
	7. パッケージ研究②調査・分析について発表														1	面接	
	8. パッケージデザイン①課題説明プリスターパックについて														1,3,5	面接	
	9. パッケージデザイン②発表、講評														1,2,3,5	面接	
	10. 商品開発①課題説明、商品研究・分析														1,3,4,5	面接	
	11. 商品開発②構想(商品アイデア)														1,3,4,5	面接	
	12. 商品開発③実制作(プロダクト分野)														1,3,4,5	面接	
	13. 商品開発④実制作(グラフィック分野)														1,3,4,5	面接	
	14. 商品開発⑤プレゼン資料作成														1,2,3,4,5	面接	
15. 総括 発表、講評														1,2,3,5	面接		
アクティブ・ラーニング	プレゼンテーション、グループワーク、実習・フィールドワーク																
成績評価基準	評価の方法：①授業態度(30%) ②課題作品(50%) ③発表(20%) 評価の基準：①関心・意欲：授業に取り組む意欲を授業態度から測定 ②技能・表現：アイデア発想力や技能を作品の完成度により測定 ③知識・理解：プレゼンテーションの内容でパッケージデザインの理解度を測定。																
フィードバックの方法	作品の講評、プリント資料の配布																
時間外の学習について	予習：授業内容に沿ってその都度指示。各回45分程度 復習：授業内容に沿ってその都度指示。各回45分程度																
教材にかかわる情報	テキスト：特になし 参考書：「プロダクトデザインの基礎」日本インダストリアルデザイナー協会編 発行・発売：ワークスコーポレーション 「パッケージデザインの入り口」小玉文 発行 エムディエヌコーポレーション 参考資料：適宜配布																
実務経験について	家具デザイン・インテリア商品開発の経験：今日的なパッケージデザインの役割と重要性について講義をおこない、商品開発におけるアイデアの発想法や実践的なデザイン技術を伝えます。																
担当者からのメッセージ等	材料費等は実費となります。 担当教員の連絡先・メールアドレス hira@yamaguchi-u.ac.jp (平川)																

科目名	ポートフォリオ制作 (1単位)	演習	芸術表現学科	2年 前期	担当者	中澤 恵(実務経験) (単独)												
ナンバリングコード	JA-S227-000	授業科目の 取扱い	面接授業科目															
卒業要件	選択																	
授業のテーマ	グラフィックデザイン デザインコンセプトの理解 情報収集 分析 編集力 ポートフォリオ 卒展・卒演ポスター																	
授業概要	広告デザインは、オーダーへの的確な対応ができる力が必要です。そのために課題の理解、コンセプトの明確化、表現したいものをカタチにできるプロセスを養えるよう広告制作に組む。更に作品をポートフォリオ活用できるように完成度を求める意識を上げる。																	
達成目標	1. 広告制作のプロセスを理解できる。 2. 広告制作におけるデザインコンセプトの重要性を理解できる。 3. DTPにおける広告制作技術を習熟できる。 4. ポートフォリオの作品として意識し、プレゼンテーション技術を習得できる。																	
学修成果との関係	①	◎	②	○	③	・	④	・	⑤	◎	⑥	◎	⑦	・	⑧	○		
履修条件・注意事項	画像編集、グラフィックIを単位修得していることが望ましい。																	
授業計画																	目標	方法
	1. 広告デザインの紹介																1	面接
	2. 広告デザインの収集・調査発表																1,4	面接
	3. デザインコンセプト(1)重要性・イメージの具現化・ラフ案																2,4	面接
	4. デザインコンセプト(2)表現の違い・ポートフォリオの意義																4	面接
	5. 自己分析と企業分析																4	面接
	6. 広告制作(1)																3	面接
	7. 広告制作(2)講評																3	面接
	8. 課題制作(1)グループワーク																2,3,4	面接
	9. 課題制作(2)チェック																3,4	面接
	10. 課題制作(3)チェック																3,4	面接
	11. プレゼンテーション																4	面接
	12. 卒展・卒演ポスター制作(1)チェック																2,3	面接
	13. 卒展・卒演ポスター制作(2)チェック																3	面接
	14. 卒展・卒演ポスター制作(3)チェック・ブラッシュアップ																3	面接
15. プレゼンテーション																4	面接	
アクティブ・ラーニング	グループワーク、プレゼンテーション																	
成績評価基準	評価の方法：①授業中への取組姿勢(30%) ②課題作品(60%) ③完成度(10%) 評価の基準：①関心・意欲の測定 ②思考・判断・表現技法を測定 ③意識の高さを測定																	
フィードバックの方法	課題ごとの講評、プレゼンテーションでは受講者と作品共有しながらフィードバックする。																	
時間外の学習について	予習：日常生活に溢れているデザインに常に注目し、気になったデザイン・情報についてファイリングするように。(各回45分程度) 復習：制作課題は提出期限までに完成させること。(各回45分程度)																	
教材にかかわる情報	テキスト：トレース&模写で学ぶデザインのドリル#2、プリント配布 参考書：特になし 参考資料：授業中に配布																	
実務経験について	地元印刷会社退職後。フリーデザイナーとして活動しています。(山口県デザイン展受賞歴あり) これまでの経験を活かして実践的なデザイン、伝えるべきことがカタチにできる技術をお伝えします。																	
担当者からのメッセージ等	E-mail：t0044@yamaguchi-jca.ac.jp(中澤)																	

科目名	Web デザイン入門 (1 単位)	演習	芸術表現学科	1 年 前期	担当 者	澄重 成記 (実務経験) (単独)												
ナンバリングコード	JA-S132-000	授業科目の 取扱い	面接授業科目															
卒業要件	選択																	
授業のテーマ	Web デザイン、サイト制作、HTML、CSS、Dreamweaver、Illustrator、Photoshop、xd																	
授業概要	Web サイト制作に必要な基礎的な知識・技術を学び、グラフィックツールを使った Web デザイン制作、HTML&CSS を使った簡単なサイト制作を行います。																	
達成目標	1. インターネットや Web の技術についての基礎知識の習得																	
	2. Web サイトの各部分の役割の理解とデザインの制作ができる																	
	3. Web サイト制作の流れを理解できる																	
	4. HTML、CSS の書式、文法の理解																	
	5. 制作物についてプレゼンテーションが出来る																	
学修成果との関係	①	・	②	○	③	・	④	・	⑤	◎	⑥	◎	⑦	・	⑧	○		
履修条件・注意事項	履修条件：「グラフィック I」、「画像編集」を同時履修すること。																	
授業計画																	目標	方法
	1. ガイダンス																1	面接
	2. Web 技術の歴史と仕組み																1	面接
	3. Web デザインの基礎知識、制作環境																1, 2, 3	面接
	4. HTML、CSS の基礎																2, 3, 4	面接
	5. HTML、CSS の基礎																2, 3, 4	面接
	6. HTML、CSS の基礎																2, 3, 4	面接
	7. HTML、CSS の基礎																2, 3, 4	面接
	8. HTML、CSS の基礎																2, 3, 4	面接
	9. グラフィックツールを用いた Web デザイン制作																2, 3	面接
	10. グラフィックツールを用いた Web デザイン制作																2, 3	面接
	11. Web サイトの分類と調査																3, 4	面接
	12. Web サイトの制作																3, 4	面接
	13. Web サイトの制作																3, 4	面接
	14. Web サイトの制作																3, 4	面接
15. Web サイトのプレゼンテーション																5	面接	
アクティブ・ラーニング	プレゼンテーション																	
成績評価基準	評価の方法：①授業中の課題 (80%) ②授業態度 (20%) 評価の基準：①思考、判断、表現技術を測定 ②関心、意欲の測定																	
フィードバックの方法	課題毎に口頭でフィードバックを行う。																	
時間外の学習について	予習：テキストを読んで大まかな流れを把握しておくこと。(各回45分) 復習：授業内容について復習を行い、理解を深める。(各回45分)																	
教材にかかわる情報	テキスト：1冊ですべて身につく HTML&CSS と Web デザイン入門講座、Mana (著)、SB クリエイティブ 参考書：Web デザイン良質見本帳、久保田京子 (著)、SB クリエイティブ Web デザイン基礎入門、栗谷幸助、他 (著)、エムディエヌコーポレーション 参考資料等：特になし																	
実務経験について	企業での Web サイト制作の経験をもとに、Web に関する知識・技術をお話しし、演習中心の指導を行います。																	
担当者からのメッセージ等	予習、復習は必ず行うこと。不明点がある場合は、次の授業までに解決しておくこと。 Email：ssumishige@yamaguchi-jca.ac.jp (澄重 成記)																	

科目名	Web デザイン I (1 単位)		演習	芸術表現学科	1 年 後期	担当 者	澄重 成記 (実務経験) (単独)											
ナンバリングコード	JA-SI33-000		授業科目の 取 扱 い	面接授業科目														
卒業要件	選択																	
授業のテーマ	Web デザイン、サイト制作、HTML、CSS、Dreamweaver、Web クリエイター能力認定試験スタンダード																	
授業概要	「Web デザイン入門」で学んだことについて、さらに理解を深め、Web サイト制作ソフトの Dreamweaver を使って、Web サイトが制作できる技術を習得する。また Web クリエイター能力認定試験スタンダードが合格できることを目指す。																	
達成目標	1. Web についての基礎知識の習得																	
	2. HTML 文章の書式、文法の理解																	
	3. CSS 書式、文法の理解																	
	4. Dreamweaver 操作技術の習得																	
学修成果との関係	①	・	②	○	③	・	④	・	⑤	◎	⑥	◎	⑦	・	⑧	○		
履修条件・注意事項	履修条件；「Web デザイン入門」、「グラフィック I」、「画像編集」を履修していること。さらに「グラフィック II」を同時履修すること。																	
授業計画																	目標	方法
	1. ガイダンス																1	面接
	2. HTML の基礎																2	面接
	3. CSS の基礎																3	面接
	4. 各ページの作成 (共通部分 HTML)																1, 3	面接
	5. 各ページの作成 (共通部分 CSS)																2	面接
	6. 各ページの作成																2, 3, 4	面接
	7. 各ページの作成																2, 3, 4	面接
	8. テーブルとそのスタイル (HTML)																2, 4	面接
	9. テーブルとそのスタイル (CSS)																3, 4	面接
	10. フォーム (HTML)																2, 4	面接
	11. フォーム (CSS)																3, 4	面接
	12. Web ページの公開 (FTP とアップロード)																2, 3, 4	面接
	13. 練習課題 (Web クリエイター能力認定試験例題)																2, 3	面接
	14. 練習課題 (Web クリエイター能力認定試験例題)																2, 3	面接
15. 練習課題 (Web クリエイター能力認定試験例題)																2, 3	面接	
アクティブ・ラーニング																		
成績評価基準	評価の方法：①授業中の課題 (80%) ②授業態度 (20%) 評価の基準：①思考、判断、表現技術を測定 ②関心、意欲の測定																	
フィードバックの方法	課題毎に口頭でフィードバックを行う。																	
時間外の学習について	予習：テキストを読んで大まかな流れを把握しておくこと。(各回45分) 復習：授業内容について復習を行い、理解を深める。(各回45分)																	
教材にかかわる情報	テキスト：Web クリエイター能力認定試験スタンダード公式テキスト/FOM 出版 Web クリエイター能力認定試験 (HTML5 対応版) スタンダード問題集/サーティファイ 参考書：特になし 参考資料等：特になし																	
実務経験について	企業での Web サイト制作の経験をもとに、Web に関する知識・技術をお話しし、演習中心の指導を行います。																	
担当者からのメッセージ等	Web クリエイター能力認定試験スタンダードに合格できる能力を身に付けるため、テキストに沿って授業を進めます。 Email：ssumishige@yamaguchi-jca.ac.jp (澄重 成記)																	

科目名	Web デザイン II (1 単位)		演習	芸術表現学科	2 年 前期	担当 者	澄重 成記 (実務経験) (単独)									
ナンバリングコード	JA-S229-000		授業科目の 取 扱 い	面接授業科目												
卒業要件	選択															
授業のテーマ	Web デザイン、サイト制作、HTML、CSS、javascript、Dreamweaver、WordPress															
授業概要	「Web デザイン I」より専門的な知識を学習する。現在 Web サイト制作の現場では、HTML、CSS だけでなく、Javascript、jQuery などの技術を組み合わせて制作する。授業では、HTML、CSS の復習の後に、javascript、jQuery について学ぶ。さらに CMS (コンテンツ管理システム) を使った Web サイトの構築方法についても学習する。															
達成目標	1. HTML、CSS などの基礎知識の習得。															
	2. javascript、jQuery を Web ページに組み込むことができる。															
	3. WordPress を適切に利用することができる。															
	4. WordPress を使った Web サイトを作成することができる。															
学修成果との関係	①	・	②	○	③	・	④	・	⑤	◎	⑥	◎	⑦	・	⑧	○
履修条件・注意事項	履修条件；「Web デザイン I」、「グラフィック II」、「画像編集」を履修していること。															
授業計画							目標	方法								
	1. ガイダンス、HTML&CSS 復習						1	面接								
	2. Web ページに javascript で動きをつける 1						2	面接								
	3. Web ページに javascript で動きをつける 2						2	面接								
	4. Web ページに javascript で動きをつける 3						2	面接								
	5. Web ページに jQuery を組み込む 1						2	面接								
	6. Web ページに jQuery を組み込む 2						2	面接								
	7. CMS (WordPress) について						3	面接								
	8. WordPress : Web サイト構築 1 (投稿ページ、固定ページの作成)						3	面接								
	9. WordPress : Web サイト構築 2 (テーマの導入、編集)						3	面接								
	10. WordPress : Web サイト構築 3 (プラグインの導入)						3	面接								
	11. WordPress : Web サイト構築 4 (フォームの作成)						3	面接								
	12. WordPress : Web サイト構築 5 (まとめ)						3	面接								
	13. ポートフォリオサイトを作成 1						4	面接								
	14. ポートフォリオサイトを作成 2						4	面接								
15. ポートフォリオサイトを作成 3						4	面接									
アクティブ・ラーニング																
成績評価基準	評価の方法：①授業中の課題 (80%) ②授業態度 (20%) 評価の基準：①思考、判断、表現技術を測定。 ②関心、意欲の測定															
フィードバックの方法	課題毎に口頭でフィードバックを行う。															
時間外の学習について	予習：事前に配布資料がある場合は予習を行い、授業に備える。(各回 45 分) 復習：授業内容について復習を行い、理解を深める。(各回 45 分)															
教材にかかわる情報	テキスト：特になし 参考書：特になし 参考資料等：特になし															
実務経験について	企業での Web サイト制作の経験をもとに、Web に関する知識・技術をお話しし、演習中心の指導を行います。															
担当者からのメッセージ等	「Web デザイン入門」「Web デザイン I」で学習したことより、高度な技術を学ぶため、難易度は高くなります。 復習は必ず行い、不明点は解決して、次の授業に臨んでください。 Email : ssumishige@yamaguchi-jca.ac.jp (澄重 成記)															

科目名	メディア表現演習 I (1単位)	演習	芸術表現学科	1年 前期	担当者	澄重 成記 (単独)												
ナンバリングコード	JA-S134-000	授業科目の 取扱い	面接授業科目															
卒業要件	選択																	
授業のテーマ	CG アニメーション、モデリング、Blender																	
授業概要	3DCG ソフト Blender を使って、モデリング及びアニメーションの作り方について学ぶ。また授業内の課題を通して、CG アニメーションを作る上で必要な素材を理解し、著作権、肖像権を守って利用することができる。																	
達成目標	1. 3DCG の基礎知識の習得																	
	2. 3DCG ソフトを用いて、モデリングができる																	
	3. 3DCG ソフトを用いて、アニメーションが作成できる																	
	4. 必要な素材を、著作権、肖像権を理解して収集できる																	
	5. 作品についてプレゼンテーションが出来る																	
学修成果との関係	①	・	②	○	③	・	④	・	⑤	◎	⑥	◎	⑦	・	⑧	○		
履修条件・注意事項																		
授業計画																	目標	方法
	1. ガイダンス (作品やCG ソフト等の説明)																1	面接
	2. Blender 基本操作																1	面接
	3. モデリング1																2	面接
	4. モデリング2																2	面接
	5. モデリング3																2	面接
	6. マテリアル設定																2	面接
	7. テクスチャ設定																2	面接
	8. カメラ、照明設定																2	面接
	9. 素材の集め方、著作権、肖像権について																4	面接
	10. アニメーション作成1																2,3	面接
	11. アニメーション作成2																2,3	面接
	12. アニメーション作成3																2,3	面接
	13. 作品制作1																2,3,4	面接
	14. 作品制作2																2,3,4	面接
15. 作品のプレゼンテーション																5	面接	
アクティブ・ラーニング	プレゼンテーション																	
成績評価基準	評価の方法：①授業中の課題 (80%) ②授業態度 (20%) 評価の基準：①思考、判断、表現技術を測定。 ②関心、意欲の測定																	
フィードバックの方法	課題毎に口頭でフィードバックを行う。																	
時間外の学習について	予習：テキストを読んで大まかな流れを把握しておくこと。(各回45分) 復習：授業内容について復習を行い、理解を深める。(各回45分)																	
教材にかかわる情報	テキスト：Blender3.X 対応 -ゼロから始める 3D 制作-、伊丹シゲユキ著、秀和システム 参考書：特になし 参考資料等：特になし																	
実務経験について																		
担当者からのメッセージ等	アニメーション作品が作成できる技術が身に付くよう、演習中心の授業を行います。 Email：ssumishige@yamaguchi-jca.ac.jp (澄重 成記)																	

科目名	メディア表現演習Ⅱ (1単位)	演習	芸術表現学科	1年 後期	担当者	矢野 節 (実務経験) 澄重成記 (複数)										
ナンバリングコード	JA-S135-000	授業科目の 取扱い	面接授業科目													
卒業要件	選択															
授業のテーマ	メディアアート、情報技術、映像制作、プロジェクションマッピング、3Dホログラム、インタラクティブ、表現手法、作品制作、演出機材、舞台演出、舞台設営、メディア、表現演習、創造性、協働性															
授業概要	学生が主体となって、デザインやテキスト、音楽などを用いた創造性豊かなメディアアート作品を協働して制作し、発表を行う。															
達成目標	1.メディアについて理解できる。															
	2.作品制作に必要なソフトウェア (Adobe After Effects 等) の操作方法を修得する。															
	3.本学科で学んだことを活かして、主体的にコンテンツ制作をすることができる。															
	4.演出機材の操作方法を修得する。															
	5.グループワークを通して、コミュニケーション能力や変化への適応力を高める。															
学修成果との関係	①	・	②	○	③	・	④	○	⑤	◎	⑥	◎	⑦	・	⑧	○
履修条件・注意事項																
授業計画						目標	方法									
	1. ガイダンス、演出機材の修得					1,4	面接									
	2. 制作する作品について、具体的な内容を検討					1,3,5	面接									
	3. 表現手法、及び構成について、検討					1,3,5	面接									
	4. 役割分担、制作スケジュールの決定					1,5	面接									
	5. 必要なソフトウェアの操作方法修得					2	面接									
	6. 演出機材の操作方法修得					4	面接									
	7. 作品制作①					2,3,4	面接									
	8. 作品制作②					2,3,4	面接									
	9. 作品制作③					2,3,4	面接									
	10. 会場設営、準備計画の立案					1,2,3,4,5	面接									
	11. 中間発表					5	面接									
	12. 作品の修正					1,2,3,4	面接									
	13. 会場設営、準備					1,2,3,4	面接									
	14. 発表または展示のリハーサル					1,2,3,4,5	面接									
15. 発表または展示の本番の演出					1,2,3,4,5	面接										
◎定期試験 (報告会および振り返りを定期試験相当とする)					1,2,3,4,5	面接										
アクティブ・ラーニング	ディスカッション、グループワーク															
成績評価基準	評価の方法：①授業態度 (40%) ②グループ活動 (30%) ③授業内での制作作品 (30%) 評価の基準：①関心・意欲・態度を測定：興味・関心を持って積極的かつ意欲的に参加できる。 ②グループ活動における貢献度：グループワークにおいて他者と協働して活動できる。 ③専門分野における知識・技能を測定：学んだ知識・技能を活かして表現することができる。															
フィードバックの方法	各回の成果物について、口頭によるフィードバックを行う。															
時間外の学習について	予習：次回の授業の準備、作品制作 (各回30分) 復習：各回で学んだことへの理解を深め、応用できるように練習する (各回30分)															
教材にかかわる情報	テキスト：特になし 参考書：特になし 参考資料等：特になし															
実務経験について	舞踊や演劇、ミュージカル、コンサートなどの舞台監督や舞台美術などの経験を活かして、舞台をはじめとしたメディア全般について話をします。(矢野)															
担当者からのメッセージ等	協働して1つの作品を作り上げていくことの難しさ、楽しさを体験してもらいたと思います。 授業担当者の連絡先：ssumishige@yamaguchi-jca.ac.jp (澄重)、T0009@yamaguchi-jca.ac.jp (矢野)															

科目名	メディア表現演習Ⅲ (1単位)	演習	芸術表現学科	2年 前期	担当者	山下 明仁 (実務経験) (単独)										
ナンバリングコード	JA-S226-000	授業科目の 取扱い	面接授業科目													
卒業要件	選択															
授業のテーマ	メディア表現、広告、アイデア、映像、映像編集、演出、CM制作、表現技術、情報媒体、心に届く表現															
授業概要	映像・グラフィック・ウェブ…情報媒体は時代とともに進化する。それぞれの媒体について知ることは大切だが、何より重要なのは「あらゆる情報媒体で通用する表現」を身につけること。情報媒体がどれほど変化しようと、情報の受け手は「人間」である。その「人」の心に届く表現の技術を習得する。															
達成目標	1. 表現とは何かを理解できる。 2. 表現の基本的な技術を知っている。 3. 基本技術を文章（コピー）で使える。 4. 基本技術を平面（グラフィック）で使える。 5. 基本技術を映像（動画）で使える。															
学修成果との関係	①	・	②	○	③	・	④	・	⑤	◎	⑥	◎	⑦	・	⑧	○
履修条件・注意事項	画像編集、グラフィックⅠ・Ⅱ、広告デザインⅠ、基礎描写Ⅰ・Ⅱ、基礎デザインⅠ～Ⅲを履修すること。															
授業計画						目標	方法									
	1. 「表現」とは。（あらゆる仕事に必要とされるもの）					1,2	面接									
	2. 「広告」における表現。（さまざまな媒体と表現。表現の未来について）					1,2	面接									
	3. 全ての表現に共通するテクニック「圧縮」と「変更」。					1,2	面接									
	4. アイデアの出し方（基本篇）。					1,2	面接									
	5. 広告は変化を描く。広告の未来。					1,2,3	面接									
	6. 課題（広告コピー）の講評。					1,2,3	面接									
	7. 技術から見る「二次元」の表現。					1,2,3,4	面接									
	8. 技術から見る「映像」の表現。					1,2,3,4,5	面接									
	9. 課題（グラフィック）の講評。					1,2,3,4	面接									
	10. その広告を「自分ごと」にする方法。					1,2,3,4,5	面接									
	11. 映像と編集（情報と感情を操作する）					1,2,3,5	面接									
	12. 演出（伝わるように伝える）					1,2,3,5	面接									
	13. CMをつくる。					1,2,3,5	面接									
	14. 自作CMをプレゼンテーションしよう。					1,2,3,5	面接									
15. インターネットと、これからの表現について。					1,2,3,4,5	面接										
アクティブ・ラーニング	グループワーク、プレゼンテーション															
成績評価基準	評価の方法：①課題制作（70%）②理論の理解（30%） 評価の基準：①課題の完成度により技能・表現を測定：学んだ技能表現をもって完成度の高い作品に仕上がっている。 ②課題による表現の実習により、理論の理解度を測定：表現実習で学んだ理論が理解できている。															
フィードバックの方法	講義でそれぞれの制作課題の講評により行う。															
時間外の学習について	予習：好きなCM、映画、グラフィック広告、看板など、面白いと感じたものを自己分析してみる。（各回90分） 復習：制作した課題をブラッシュアップする。（各回90分）															
教材にかかわる情報	テキスト：プリント配布 参考書：具体的事例、グラフィック・映像（動画や映画など）。 参考資料：プリント配布															
実務経験について	現役のCMプランナー・広告デザイナーです（ACC賞、山口県広告大賞など受賞歴あり）。現在、仕事で使っている方法、「実戦」で使える技術を伝授します。コンテンツ制作会社を設立：広告はもちろんコンテンツの制作において重要となるアイデアの生み出し方。そのアイデアを効果的にアウトプットするまでの方法論を実務経験を交えながらお伝えします。															
担当者からのメッセージ等	授業担当者の連絡先：yamashita@studio-hen.com（山下 明仁）															

科目名	服飾デザイン (1単位)	演習	芸術表現学科	1年 後期	担当 者	片山 涼子(実務経験) (単独)												
ナンバリングコード	JA-S136-000	授業科目の 取扱い	面接授業科目															
卒業要件	選択																	
授業のテーマ	服飾デザイン、コンセプト、デザイン、ファッションコーディネート、デザイン画、製作、創造力、伝達表現、汎用的能力、被服構成、縫製技術、製作実習、ファッション、知識・技能、プレゼンテーション、衣装表現																	
授業概要	ファッションのコーディネートやデザインを自身で考え、選び、プレゼンテーションする。 服についての知識や服が出来ていく行程を把握するとともに、日常生活で活かせる縫製技術を習得する。																	
達成目標	1. 被服に関する総合的な知識や技能を習得する。 2. ファッションデザイン画の描き方を習得し、伝達する能力を身につける。 3. グループ協議での協調性やリーダーシップを身につける。 4. コンセプトを元にデザインを考えることで創造力を養う。 5. プレゼンテーション能力を身につける。																	
学修成果との関係	①	・	②	○	③	・	④	○	⑤	◎	⑥	◎	⑦	・	⑧	・		
履修条件・注意事項	実習に必要な道具・材料等は、基本的に各自で用意をお願いします。																	
授業計画																	目標	方法
	1. 授業の概要について。デザイン画の描き方。																1,2	面接
	2. コンセプトに基づいたコーディネートの検討。グループ協議。																3	面接
	3. コーディネートのグループ協議及びプレゼン準備。																3	面接
	4. コーディネートのプレゼンテーション。																3,5	面接
	5. 被服のジャンル、形、部位、素材の名称や、製作行程等の知識の習得。																1	面接
	6. ミシンやアイロン等道具の使い方の習得。																1	面接
	7. ボタン付けや裾上げ等、日常生活で活かせる縫製技術の習得。																1	面接
	8. 修得した縫製技術を応用した服飾小物の製作。パターン製作。																1	面接
	9. 修得した縫製技術を応用した服飾小物の製作。裁断・縫製。																1	面接
	10. 製作及び完成した服飾小物を用いたファッション広告シミュレーション。																4	面接
	11. テーマに基づいたオリジナルデザインの考察。																4	面接
	12. オリジナルデザインの表現。																2,4	面接
	13. オリジナルデザインのプレゼンテーション。																5	面接
	14. 様々な情報から着想を得て衣装をデザインする。舞台衣装、CM衣装等。																2,4	面接
15. 衣装デザインの表現。																2,4	面接	
アクティブ・ラーニング	グループワーク、製作実習、プレゼンテーション																	
成績評価基準	評価の方法：①授業態度50%、②プレゼンテーション50%の割合で評価。 評価の基準：①思考・判断、関心・意欲：検討する際に積極的に発言できる。 ②知識・理解、表現：根拠のある自身の考えを伝える能力が養えている。																	
フィードバックの方法	デザイン画に対し、より良くなる描き方を教える。 プレゼンテーションに対し、他学生も一緒にどう感じたか感想を述べ評価する。																	
時間外の学習について	予習・復習：プレゼンテーションに必要な被服の選択(30分程度) デザインの考察(30分程度) 商品CMに関心を持って視聴する(のべ30分程度) ファッション広告に関心を持ってリサーチする(のべ30分程度)																	
教材にかかわる情報	テキスト：特になし 参考書：特になし 参考資料：適宜配布																	
実務経験について	服飾デザイナー及びクリエイター経験：ファッションを通しての表現について実践的な技術を交えて話をします。																	
担当者からのメッセージ等	着物リメイク服を中心とするオーダーメイドのアトリエ兼ショップを15年以上経営しています。 デザインの伝え方や服づくりの仕方など プロのやり方を教えま 授業担当者の連絡先：a_piece_ryoko_katayama@yahoo.co.jp(片山)																	

科目名	芸術表現入門 (2単位)	講義	芸術表現学科	1年 前期	担当者	藤村慎一郎(実務経験) 小野 隆洋(実務経験) 南野 郁夫(実務経験) 長田 和美(実務経験) 澄重 成記(実務経験) (オムニバス)												
ナンバリングコード	JA-S161-000	授業科目の 取扱い	面接授業科目															
卒業要件	必修																	
授業のテーマ	芸術表現学科、学びの特徴、カリキュラム理解、大学生活、施設利用、事務手続き																	
授業概要	芸術表現学科の学びの特長を理解し、計画的に検定取得や就職活動に取り組む主体的な姿勢を培う。 高校との違いを理解し、大学生に求められるレポートの書き方や資料の収集方法、プレゼンテーションの仕方を修得する。																	
達成目標	1. 大学での学びを理解し、主体的な学習態度を身につける。																	
	2. 大学生活を有意義に送るためのスキルを身につける。																	
	3. 情報の収集と活用能力を身につける。																	
	4. 大学で学ぶ意義を理解し、地域社会の発展に寄与しようとする意欲を高める。																	
学修成果との関係	①	・	②	○	③	・	④	◎	⑤	◎	⑥	○	⑦	○	⑧	○		
履修条件・注意事項	状況により、遠隔授業を併用することもある。																	
授業計画																	目標	方法
	1. 建学の精神、教育理念、教育目的、学修成果、3つのポリシー													1	面接			
	2. 芸術表現学科の学びの特長(1) 卒業要件、履修登録、成績評価、GPA													1	面接			
	3. 大学生活・施設利用・学内の事務手続き、チューター制度、欠席連絡													2	面接			
	4. 芸術表現学科の学びの特長(2) 授業と検定の関係、各種検定													1	面接			
	5. 特別演習、図書館利用、メールの書き方													2	面接			
	6. カリキュラムの理解(1): デザイン													1,2	面接			
	7. カリキュラムの理解(2): ビジネス&音楽													1,2	面接			
	8. レポートの書き方(1)													3	面接			
	9. レポートの書き方(2)													3	面接			
	10. プレゼンテーション①													3	面接			
	11. プレゼンテーション②													3	面接			
	12. 段取り力、手帳の活用方法													1,2	面接			
	13. マナー講座、社会人基礎力、コミュニケーションのスキル													1,4	面接			
	14. 大学の学びを仕事に繋げる													1,4	面接			
15. 卒業研究とは													1	面接				
アクティブ・ラーニング	プレゼンテーション、グループディスカッション																	
成績評価基準	評価の方法: ①授業内レポート、グループ内での発言(50%) ②課題レポート(50%) 評価の基準: ①関心・意欲を測定 ②思考・判断、技能・表現を測定																	
フィードバックの方法	講義中での発言やレポート等に対して、適宜コメントをする。																	
時間外の学習について	予習: 配布資料の理解(各回90分程度) 復習: 課題レポート(各回90分程度)																	
教材にかかわる情報	テキスト: 最新ビジネスマナーと今さら聞けない仕事の超基本、石川和男、朝日新聞出版 参考書: 特になし 参考資料: 必要な資料を随時配布																	
実務経験について	教職経験・企業経験を活かして、社会人感覚と実践力を育成する授業を行います。																	
担当者からのメッセージ等	芸術表現学科での学びを仕事に繋げるイメージを育み、主体的に学んでいきましょう。 藤村: sfujimura@yamaguchi-jca.ac.jp, 小野: tono@yamaguchi-jca.ac.jp																	

科目名	社会人基礎 (2単位)	講義	芸術表現学科	1年 前期	担当 者	尾崎 敬子 (単独)										
ナンバリングコード	JA-S162-000	授業科目の 取扱い	面接授業科目													
卒業要件	選択															
授業テーマ	社会人基礎力、自己理解、自己実現、就職、仕事															
授業概要	社会人基礎力について理解を深め、向上しようとする意欲と姿勢を培い、自立した社会人に必要な知識やスキルを習得する。自己の適性を踏まえた職業選択を可能にするため、自己分析を通して自己理解を深め、就職活動に備える。															
到達目標	1.社会人基礎力について理解し、自立した社会人となるための知識やスキルを習得する。 2.グループワークによりチームで働く力を身につけるとともに、社会人に求められるコミュニケーション能力を高める。 3.自己理解を深め、自己の適性を見極めて、円滑に就職活動に取り組むことができる。															
学修成果との関係	①	◎	②	○	③	・	④	◎	⑤	・	⑥	○	⑦	○	⑧	・
履修条件・注意事項																
授業計画							目標	方法								
	1. 社会人基礎力とは～自己評価をしてみよう						1,3	面接								
	2. 仕事と社会人基礎力						1,3	面接								
	3. 社会人基礎力を高めるために(前に踏み出す力)						1	面接								
	4. 社会人基礎力を高めるために(考え抜く力)						1	面接								
	5. 社会人基礎力を高めるために(チームで働く力Ⅰ)						1,2	面接								
	6. 社会人基礎力を高めるために(チームで働く力Ⅱ)						1,2	面接								
	7. 社会人基礎力を高めるために(ストレスコントロール力Ⅰ)						1	面接								
	8. 社会人基礎力を高めるために(ストレスコントロール力Ⅱ)						1	面接								
	9. 自立した社会人になるために～消費者の権利						1	面接								
	10. 自立した社会人になるために～労働者の権利						1	面接								
	11. 自己分析Ⅰ						3	面接								
	12. 自己分析Ⅱ						3	面接								
	13. 就職活動に向けてⅠ～求人票の見方						3	面接								
	14. 就職活動に向けてⅡ～応募書類の書き方						3	面接								
	15. 就職活動に向けてⅢ～面接に臨む心構え						3	面接								
定期試験																
アクティブ・ラーニング	ロールプレイ、グループワーク、ディスカッション															
成績評価基準	評価の方法：①定期試験(50%)②課題・授業レポート(30%)③授業態度・授業への参加度(20%)により、総合的に評価する。 評価の基準：①知識・理解:授業で取り上げた知識を扱った問題に解答できる。 ②思考・判断及び関心・意欲:課題や授業ごとの内容について、的確に判断し、要点をまとめることができる。 ③態度、技能・表現:ロールプレイやグループワーク等で積極的に活動できる。															
フィードバックの方法	授業ごとに提出するレポートの疑問点や感想等について、回答やコメントを添えて返却します。															
時間外の学習について	予習:事前に授業内容について確認し、自分なりの考えを準備しておく。(各回90分程度) 復習:毎回、授業内容や活動記録をレポートにまとめ、感想等を添えて提出する。(各回90分程度)															
教材にかかわる情報	テキスト:『就職ガイドブック』(キャリア支援センター) 参考書:特に指定しないが、図書館やキャリア支援センターに配架の関連書籍を活用 参考資料:適宜資料を配付															
実務経験について																
担当者からのメッセージ等	卒業時点で、自信をもって社会人としてスタートできるよう、互いに高め合っていきましょう。 Email:ozaki@yamaguchi-jca.ac.jp(尾崎)															

科目名	キャリアデザイン (2単位)	講義	芸術表現学科	1年 後期	担当者	藤村 慎一郎(実務経験) (単独)										
ナンバリングコード	JA-SI63-000	授業目的の 取扱い	面接授業科目													
卒業要件	選択															
授業のテーマ	自分史、自己理解、企業が求める人材、キャリアデザイン、マネープラン、就職活動、エントリーシート、履歴書															
授業概要	自己分析にもとづいて、自分のよさ(自己理解)を生かす生き方を考える。 職種や企業について多角的に学び、自分に相応しい職業を選択する力を身につける。 自分らしい生き方を追求し、自らのキャリアデザインを作成する。 社会人としての求められるマナーやコミュニケーション能力を身につける。															
到達目標	1.自己理解を深め、自らの適性を生かした働き方を考える。 2.職種や企業について多角的に考え、就職活動へのモチベーションを高める。 3.企業や業界に関する情報を収集・分析して、自らの進路選択に生かす。 4.豊かな人生を送るためのキャリアデザインを描く。 5.キャリアデザインを実現するために必要な社会人基礎力を身に付ける。															
学修成果との関係	①	◎	②	○	③		④	◎	⑤	◎	⑥	○	⑦		⑧	○
履修条件・注意事項	状況次第で遠隔授業を併用することもある。															
授業計画															目標	方法
	1. キャリアデザインとは														1,4	面接
	2. 「働く」ということ 講話①県労働政策課														2,3	面接
	3. 自分史の作成														1	面接
	4. 自己理解Ⅰ セルフブランディング														1	面接
	5. 自己理解Ⅱ ディスカッション														1,2	面接
	6. 企業分析Ⅰ 講話②ハローワーク														1,2,3	面接
	7. 企業分析Ⅱ キャリア支援センター長講義														1,2,3	面接
	8. 企業が求める人材とはⅠ 講話③企業人事担当者														2,3,5	面接
	9. 企業が求める人材とはⅡ 講話④卒業生														2,3,5	面接
	10. 企業が求める人材とはⅢ ディスカッション														2,3,5	面接
	11. 企業が求める人材とはⅣ プレゼンテーション														2,3,5	面接
	12. キャリアデザイン・マネープラン作成														1,2,3,4	面接
	13. 先輩からのエール 在校生による就活体験談														1,2,3,4	面接
	14. エントリーシート・履歴書の作成														1,2,3,4,5	面接
15. 面接での自己アピールのプレゼンテーション 全体のまとめ														1,2,3,4,5	面接	
アクティブ・ラーニング	課題解決学習、ディスカッション、グループワーク、プレゼンテーション															
成績評価基準	評価の方法:①授業態度(20%) ②レポート(20%) ③課題(20%) ④ポートフォリオ(20%) ⑤プレゼンテーション(20%) 評価の基準:①知識・理解・思考・判断 ②関心・意欲 ③思考・表現力 ④理解・思考・表現力 ⑤知識・理解・思考・判断・表現力															
フィードバックの方法	授業での発言やグループワーク等に対して、適宜アドバイスを行う。 授業内レポート・課題・ポートフォリオ・プレゼンテーション原稿にコメントをつけて返却する。 授業アンケートをもとに適宜改善に努める。															
時間外の学習について	予習:授業テーマに関して、書籍やインターネットで情報収集を行う。(各回90分) 復習:課題やレポートのポートフォリオを作成する。(各回90分)															
教材にかかわる情報	テキスト:就職ガイドブック、ビジネス系検定試験例題、プリント配付またはスクリーン投影 参考書:特に指定しないが、図書館や就職支援室に配架の関連書籍を活用 参考資料:就職状況に関する各種資料及びデータ															
実務経験について	高等学校教員経験:高校生の進路指導経験を生かしたキャリア教育を展開します。															
担当者からのメッセージ等	未来に向けて自分を見つめ直し、自分らしい将来像をデザインしましょう。 担当教員の連絡先メールアドレス:藤村: sfujimura@yamaguchi-jca.ac.jp															

科目名	インターンシップⅠ (2単位)	実習	芸術表現学科	1年 前後期	担当者	南野 郁夫(実務経験) (単独)										
ナンバリングコード	JA-S172-000	授業科目の 取扱い	面接授業科目													
卒業要件	選択															
授業テーマ	インターンシップ、就業体験、勤労観、職業観、社会人マナー、企業分析、キャリア形成															
授業概要	インターンシップ(就業体験)を通じて、社会に出て働く意義を理解し、社会常識、社会人マナーはもとより職場で求められる実践的能力、コミュニケーション能力を習得する。まず社会人としての基礎を学び、つぎに夏季休業中には就業体験実習を経験する。事前の研修および就業体験実習、事後の報告書作成、プレゼンテーション等の一連の演習・実習を通して、社会の一員としての心構えやマナー、勤労観・職業観を身につける。その結果、自己のキャリア形成について主体的に取り組む意欲と態度が身につく。															
到達目標	1. 社会人としての基礎的な心構えやマナー、勤労観・職業観を身に付けることができる。 2. 山口県内の企業分析から様々な業界、業種、職種について知ることができる。 3. 就業体験の希望先を選択し進路目標を明確化できる。 4. 就業体験を通じて自分自身の適性を再確認し将来の方向性を導き出すことができる。 5. 報告書の作成とプレゼンテーションにより社会人に必要な表現力を身に付けることができる。															
学修成果との関係	①	◎	②	○	③	・	④	○	⑤	◎	⑥	○	⑦	・	⑧	○
履修条件・注意事項	状況次第で遠隔授業もある。 受入れ先は、必ず大学を通して決定すること。夏季休業中を中心に1週間程度の職場実習を行う。															
授業計画						目標	方法									
	【インターンシップの一年を通じた流れ】 ※夏季休業中の実習実施を含む30回分を実施															
	1. インターンシップとは?					1	面接									
	2. 山口県の企業研究Ⅰ ～グループワーク					1,2	面接									
	3. 山口県の企業研究Ⅱ ～グループワーク					1,2	面接									
	4. 山口県の企業研究Ⅲ ～各グループのプレゼン					1,2,5	面接									
	5. 山口県インターンシップ推進協議会HP参照してインターンシップ希望事業所を探す					1,2,3	面接									
	6. インターンシップ申込書類作成					1,2,3	面接									
	7、8. マナー指導および受け入れ事業所との打ち合わせなどインターンシップ事前指導					1,2,3	面接									
	9～24. 夏休み期間中、一週間程度のインターンシップ実施、体験レポート、プレゼン原稿作成					1,2,3,4,5	面接									
	25. 実習日誌のまとめおよび終了後実習先への「礼状」作成・送付					2,3	面接									
	26,27. 報告書作成					2,3,4,5	面接									
	28,29. プレゼンテーション資料作成					2,3,4,5	面接									
30. インターンシップ発表会					3,4,5	面接										
アクティブ・ラーニング	実習・フィールドワーク、グループディスカッション、プレゼンテーション															
成績評価基準	評価の方法：①事前の準備(20%)②受入れ先の評価(40%)③実習日誌(10%)④報告書(15%)⑤発表(15%) 評価の基準：①関心・意欲： 実習先の業務内容調査、必要能力把握、ビジネスマナー習得ができています。 ②思考・判断、関心・意欲、態度、知識・理解： 受け入れ先から高く評価されている。 ③関心・意欲、知識・理解： 実習日誌が良く書けている。 ④知識・理解、思考・判断、技能・表現： 実習成果が良くまとまっている。 ⑤知識・理解、技能・表現： 分かり易いプレゼンテーションができています。															
フィードバックの方法	実習日誌による振り返りおよび実習体験報告会での質疑応答、担当教員からの講評によりフィードバックを行う。															
時間外の学習について	予習：インターネットで産業や職業、会社についての調査およびビジネスマナーの自学自習(各回90分) 復習：報告書、実習日誌の作成(各回90分)															
教材にかかわる情報	テキスト：特になし 参考書：山口県インターンシップ推進協議会「インターンシップ体験レポート」「やまぐちインターンシップ実例レポート」 参考資料：必要に応じて適宜プリントを配布する。															
実務経験について	30年間の企業経験を活かし、社会人としての基礎的な心構えを指導します。															
担当者からのメッセージ等	インターンシップを通して、働くことのやりがい、魅力を見つけようと意識してみましょ。上手く魅力が見つければ、社会に出て働くことが楽しみになり、自分自身にも自信が持てることでしょう。失敗を恐れずチャレンジしましょう。 Email: T0033_gakugei@y_gakugei.ac.jp (南野)															

科目名	インターンシップⅡ (2単位)	実習	芸術表現学科	1年後期 2年前期	担当者	南野 郁夫(実務経験) (単独)										
ナンバリングコード	JA-S267-000	授業科目の 取扱い	面接授業科目													
卒業要件	選択															
授業テーマ	インターンシップ、就業体験、勤労観、職業観、社会人マナー、企業分析、キャリア形成															
授業概要	インターンシップ(就業体験)を通じて、社会に出て働く意義を理解し、社会常識、社会人マナーはもとより職場で求められる実践的能力、コミュニケーション能力を習得する。まず社会人としての基礎を学び、つぎに春季休業中には就業体験実習を経験する。事前の研修および就業体験実習、事後の報告書作成、プレゼンテーション等の一連の演習・実習を通して、社会の一員としての心構えやマナー、勤労観・職業観を身につける。その結果、自己のキャリア形成について主体的に取り組む意欲と態度が身につく。															
到達目標	1. 社会人としての基礎的な心構えやマナー、勤労観・職業観を身に付けることができる。 2. 山口県内の企業分析から様々な業界、業種、職種について知ることができる。 3. 就業体験の希望先を選択し進路目標を明確化できる。 4. 就業体験を通じて自分自身の適性を再確認し将来の方向性を導き出すことができる。 5. 報告書の作成とプレゼンテーションにより社会人に必要な表現力を身に付けることができる。															
学修成果との関係	①	◎	②	○	③	・	④	○	⑤	◎	⑥	○	⑦	・	⑧	○
履修条件・注意事項	状況次第で遠隔授業もある。 受入れ先は、必ず大学を通して決定すること。春季休業中を中心に1週間程度の職場実習を行う。															
授業計画						目標	方法									
	【インターンシップの一年を通じた流れ】 ※春季休業中の実習実施を含む30回分を実施															
	1. インターンシップとは?						1	面接								
	2. 山口県の企業研究Ⅰ ～グループワーク						1,2	面接								
	3. 山口県の企業研究Ⅱ ～グループワーク						1,2	面接								
	4. 山口県の企業研究Ⅲ ～各グループのプレゼン						1,2,5	面接								
	5. 山口県インターンシップ推進協議会HP参照してインターンシップ希望事業所を探す						1,2,3	面接								
	6. インターンシップ申込書類作成						1,2,3	面接								
	7、8. マナー指導および受け入れ事業所との打ち合わせなどインターンシップ事前指導						1,2,3	面接								
	9～24. 春休み期間中、一週間程度のインターンシップ実施、体験レポート、プレゼン原稿作成						1,2,3,4,5	面接								
	25. 実習日誌のまとめおよび終了後実習先への「礼状」作成・送付						2,3	面接								
	26,27. 報告書作成						2,3,4,5	面接								
	28,29. プレゼンテーション資料作成						2,3,4,5	面接								
	30. インターンシップ発表会						3,4,5	面接								
アクティブ・ラーニング	実習・フィールドワーク、グループディスカッション、プレゼンテーション															
成績評価基準	評価の方法：①事前の準備(20%) ②受入れ先の評価(40%) ③実習日誌(10%) ④報告書(15%) ⑤発表(15%) 評価の基準：①関心・意欲： 実習先の業務内容調査、必要能力把握、ビジネスマナー習得ができています。 ②思考・判断、関心・意欲、態度、知識・理解： 受け入れ先から高く評価されている。 ③関心・意欲、知識・理解： 実習日誌が良く書けている。 ④知識・理解、思考・判断、技能・表現： 実習成果が良くまとまっている。 ⑤知識・理解、技能・表現： 分かり易いプレゼンテーションができています。															
フィードバックの方法	実習日誌による振り返りおよび実習体験報告会での質疑応答、担当教員からの講評によりフィードバックを行う。															
時間外の学習について	予習：インターネットで産業や職業、会社についての調査およびビジネスマナーの自学自習(各回90分) 復習：報告書、実習日誌の作成(各回90分)															
教材にかかわる情報	テキスト：特になし 参考書：山口県インターンシップ推進協議会「インターンシップ体験レポート」「やまぐちインターンシップ実例レポート」 参考資料：必要に応じて適宜プリントを配布する。															
実務経験について	30年間の企業経験を活かし、社会人としての基礎的な心構えを指導します。															
担当者からのメッセージ等	インターンシップを通して、働くことのやりがい、魅力を見つけようと意識していきましょう。上手く魅力が見つければ、社会に出て働くことが楽しみになり、自分自身にも自信が持てることでしょう。失敗を恐れずチャレンジしましょう。 Email: T0033_gakugei@y_gakugei.ac.jp (南野)															

科目名	ビジネス文書 (2単位)		講義	芸術表現学科	1年 前期	担当者	久保田 京子(実務経験) (単独)									
ナンバリングコード	JA-SI66-000		授業科目の 取扱い	面接授業科目												
卒業要件	選択															
授業のテーマ	ビジネス文書基礎、文書作成技術、実践ビジネス文書、ビジネス文書検定															
授業概要	ビジネス文書の基礎を身につけ、職業生活に必要な各種文書の定型を習得するとともに、ビジネス文書検定等に対応する力をつけ、社会人としてのスキルアップを図る。															
達成目標	1. ビジネス文書作成に必要な基礎知識(慣用表現、敬語、用語)を身につけることができる。 2. 一般文書及びビジネス文書を作成することができる。 3. ビジネス文書検定に対応する力をつけ、めざす級の検定にチャレンジできる。															
学修成果との関係	①	◎	②	○	③	○	④	○	⑤	◎	⑥	○	⑦	・	⑧	○
履修条件・注意事項																
授業計画											目標	方法				
	1. ビジネス文書と各種検定、就職活動について										1.2.3	面接				
	2. ビジネス文書の基礎(1) 文の構成、仮名遣い、慣用句等										1.2.3	面接				
	3. ビジネス文書の基礎(2) わかりやすい文、要約、レポート										1.2	面接				
	4. ビジネス文書に用いる敬語表現										1.2.3	面接				
	5. 就職活動に必要な文書(1) 手紙形式										1.2	面接				
	6. 就職活動に必要な文書(2) 礼状、送付状										1.2	面接				
	7. 電子メールのルールとメモの取り方										1.2	面接				
	8. 社内文書の基本と社外文書の形式										1.2.3	面接				
	9. 社交文書の基本										1.2.3	面接				
	10. ビジネス文書の書き方実践(1) 通知文、案内文										1.2.3	面接				
	11. ビジネス文書の書き方実践(2) 依頼文、照会文										1.2.3	面接				
	12. ビジネス文書の書き方実践(3) 復命書、報告書										1.2.3	面接				
	13. ビジネス文書作成演習(1)										1.2.3	面接				
	14. ビジネス文書作成演習(2)										1.2.3	面接				
15. ビジネス文書作成演習(3) とまとめ										1.2.3	面接					
アクティブ・ラーニング	ディスカッション、グループワーク、プレゼンテーション、ロールプレイ															
成績評価基準	評価の方法:①授業プリント・レポート(30%)②授業態度・参加度(30%)③復習小テスト(30%)④発表(10%)により、総合的に評価する。 評価の基準:①・③知識・理解、技能・表現、思考・判断:文書作成の基礎が身につけ、習得した知識の活用ができる。また検定問題等に積極的に取り組むことができる。 ②・④関心・意欲、態度:ディスカッション・発表等において、主体的に活動ができています。															
フィードバックの方法	毎時間の提出授業プリントは添削指導し、各自の良さを伝える。小テストの実施により各自の課題を共有し、次授業に生かす。															
時間外の学習について	予習:テキスト課題、授業プリントの事前調べ学習(各回90分程度) 復習:授業プリントをファイルに整理し(ポートフォリオ)、復習課題の実施(各回90分程度)															
教材にかかわる情報	テキスト:「ビジネス文書実務 改訂版」石井典子・三村善美 著 早稲田教育出版 参考書:「ビジネス文書検定 実問題集 3級」実務技能検定協会 早稲田教育出版 参考資料等:毎時、授業プリント配布															
実務経験について	教職経験(高校・国語)、行政職経験:文書作成や文章表現について、職場や社会で活用できるよう実践的に指導を行います。															
担当者からのメッセージ等	ビジネス現場に必要な各種文書の形式と表現を身につけ就職への意識を高めるとともに、各種検定受験への力を養いましょう。授業プリントや演習レポートはポートフォリオとして振り返りに活用し、検定や就職活動にも役立てましょう。担当者の連絡先・メールアドレス T0001@yamaguchi-jca.ac.jp (久保田)															

科目名	ビジネスコミュニケーション (1単位)	演習	芸術表現学科	1年 後期	担当者	小林 洋子(実務経験) (単独)										
ナンバリングコード	JA-SI65-000	授業科目の 取扱い	面接授業科目													
卒業要件	選択															
授業のテーマ	ビジネスマナー習得、ビジネス実務マナー検定対応、コミュニケーション力強化、話し方・プレゼンテーション力育成															
授業概要	ビジネスで必要となる様々なコミュニケーションスキルについて講義と実践を通して学びます。															
達成目標	1. 社会人としての基本的なビジネスマナーを習得する。 2. 対人コミュニケーションにおける適切な表現ができるようになる。 3. わかりやすく伝えるために、話を構成する力を身につける。 4. 他者を尊重し、自分の意見を伝えられるようになる。 5. チームとして行動するためのコミュニケーションスキルを習得する。															
学修成果との関係	①	・	②	○	③	・	④	◎	⑤	◎	⑥	○	⑦	・	⑧	○
履修条件・注意事項																
授業計画						目標	方法									
	1. 社会人に求められるビジネスマナーとコミュニケーション(ビジネス実務マナー検定対応)					1,2	面接									
	2. 第一印象の重要性、お辞儀の種類、身だしなみ(ビジネス実務マナー検定対応)					1,2	面接									
	3. 社会人としての心構えと基礎知識(ビジネス実務マナー検定対応)					1,2	面接									
	4. 敬語の使い方、報告・連絡・相談の目的と使い分け(ビジネス実務マナー検定対応)					1,2,5	面接									
	5. 慶事・弔事に関するマナー、賀寿の種類(ビジネス実務マナー検定対応)					1,2	面接									
	6. 電話応対時の話し方(ビジネス実務マナー検定対応)					1,2,4	面接									
	7. 会社組織の知識・機能・役割・責任(ビジネス実務マナー検定対応)					1	面接									
	8. ビジネスマナー総合演習					1,2,3	面接									
	9. 会議を円滑に行うためのファシリテーターの役割と参加者の役割					4,5	面接									
	10. チームで結果を出すためのリーダーシップとフォロワーシップ					4,5	面接									
	11. 自分の気持ちを理解し、感情をコントロールする方法					2,4	面接									
	12. 相手の気持ちを尊重し、自分の意見を伝える話し方					2,4	面接									
	13. ビジネスの場での自己紹介					2,3	面接									
	14. プレゼンテーション演習					2,3	面接									
15. プレゼンテーション実践					3,4	面接										
アクティブ・ラーニング	ディスカッション、グループワーク、プレゼンテーション															
成績評価基準	評価の方法：①授業態度(50%) ②レポート(30%) ③プレゼンテーション(20%) 評価の基準：①授業態度 *関心、意欲、態度の測定 ・授業中に積極的に発言をする・グループでの話し合いに積極的である・実践を積極的に行う ②レポート/課題 *思考・理解を測定 ・授業での話し合いや実践に基づき自分の考えを述べている ③プレゼンテーション *技能・表現を測定 ・習得した技術を実践に活かしている															
フィードバックの方法	寸評は実技直後、採点后(記述、レポート)は返却します。															
時間外の学習について	予習：教科書の該当範囲を読む。(各回45分) 復習：検定問題集を解く。(各回45分)															
教材にかかわる情報	テキスト：入社一年目 ビジネスマナーの教科書/プレジデント社/金森たかこ ビジネス実務マナー検定実問題集3級/公益財団法人実務技能検定協会 参考書：特になし 参考資料：必要に応じて資料を配布															
実務経験について	アナウンサー、人材育成コンサルタントの経験を活かして、相手に伝わる話し方、ビジネスを円滑に進めるコミュニケーションについて話をします。															
担当者からのメッセージ等	社会人に必要不可欠なコミュニケーションスキルを身につけましょう。E-mail:T0005@yamaguchi-jca.ac.jp(小林)															

科目名	簿記基礎理論 (2単位)	講義	芸術表現学科	1年 前期	担当者	山本 貴司 (単独)										
ナンバリングコード	JA-S170-000	授業科目の 取扱い	面接授業科目													
卒業要件	選択															
授業のテーマ	簿記、商業簿記、決算、貸借対照表、損益計算書、日本商工会議所簿記検定3級															
授業概要	簿記の歴史と基本的なしくみについて学ぶ。 ビジネス現場で日常的に発生する取引を、簿記のしくみを使って帳簿に記録・計算・整理する技法を身につける。 商取引において発生する取引を記録・計算・整理する技法を身につける。															
達成目標	1. 簿記が発達した歴史的経緯やそのしくみから、簿記の意義や役割を理解できる。 2. 簿記上の取引を記録する方法が理解でき、その技法が身につく。 3. 簿記上の取引を計算する方法が理解でき、その技法が身につく。 4. 各種の取引事例を記録・計算する方法が理解でき、その技法が身につく。															
学修成果との関係	①	・	②	○	③	・	④	・	⑤	◎	⑥	○	⑦	・	⑧	○
履修条件・注意事項	後期開講の「簿記演習」を継続して履修することが望ましい。															
授業計画												目標	方法			
	I 簿記の目的															
	1. 企業の目的と簿記の歴史、意義・役割について													1	面接	
	2. 単式簿記と複式簿記及びそのしくみについて													1	面接	
	3. 貸借対照表と資産・負債・資本													1,2	面接	
	4. 損益計算書と収益・費用													1,2	面接	
	II 簿記の流れ															
	5. 取引の処理													2	面接	
	6. 仕訳の処理①													2	面接	
	7. 仕訳の処理②													2,3	面接	
	8. 勘定及び転記の処理													2,3	面接	
	III 決算の予備手続き															
	9. 試算表の作成													2,3	面接	
	10. 精算表の作成													2,3	面接	
	IV 決算															
	11. 損益計算書・貸借対照表の作成													2,3	面接	
	12. 帳簿の締め切り													2,3	面接	
13. 簿記一巡の手続き													2,3	面接		
V 各種取引の記帳																
14. 各種取引の処理													4	面接		
15. 各種取引の帳簿への記録・計算について													2,3,4	面接		
◎定期試験																
アクティブ・ラーニング	ディスカッション、グループワーク															
成績評価基準	評価の方法：①定期試験(50%) ②小テスト(10%) ③課題(20%) ④授業態度・授業への参加度(20%) 評価の基準：①知識・理解：資格試験レベルの基礎的な問題に解答できる。 ②知識・理解：単元ごとの基礎的な問題に解答できる。 ③関心・意欲及び知識・理解を測定。 ④関心・意欲：積極的な質疑、課題等への意欲的な取組姿勢を測定。															
フィードバックの方法	小テストや課題への解答を示し、習熟度や気づきをコメントする。															
時間外の学習について	予習：簿記テキスト・問題集の予習。(各回90分程度) 復習：授業内容の復習、課題(各回90分程度)															
教材にかかわる情報	テキスト：最新段階式 日商簿記検定問題集3級 四訂版 /実教出版 参考書：日本商工会議所主催の簿記検定問題集、電卓(授業で指示) 参考資料：適宜配布する。															
実務経験について																
担当者からのメッセージ等	基礎からのスタートとなります、問題集等により発展的な自学が可能。積極的に日本商工会議所主催の「簿記」検定試験に挑戦してくれることを期待します。また後期開講の「簿記演習」を継続して学び日商簿記検定3級に挑戦しましょう。 E-mail : takashi55129@outlook.com (山本)															

科目名	簿記演習 (1単位)	演習	芸術表現学科	1年 後期	担当者	山本 貴司 (単独)										
ナンバリングコード	JA-S171-000	授業科目の 取扱い	面接授業科目													
卒業要件	選択															
授業のテーマ	簿記、伝票会計、決算整理、決算、財務諸表、日本商工会議所簿記検定3級															
授業概要	各種帳簿のしくみと役割及び記入方法について学ぶ。 伝票会計のしくみと記入方法について学ぶ。 決算手続きとその意味、財務諸表の作成について学ぶ。															
達成目標	1. 企業での各種帳簿の意義と役割及び記入方法が理解でき、その技法が身につく。 2. 伝票起票の処理について理解でき、その技法が身につく。 3. 企業における決算の意味及び決算手続きについて理解でき、その技法が身につく。 4. 財務諸表が作成でき、各種帳簿を締め切ることができる。															
学修成果との関係	①	・	②	○	③	・	④	・	⑤	◎	⑥	○	⑦	・	⑧	○
履修条件・注意事項	前期開講の「簿記基礎理論」に継続して履修することが望ましい。															
授業計画												目標	方法			
	I 帳簿組織															
	1. 取引、仕訳、元帳、帳簿組織の意義・役割について													1	面接	
	2. 現金出納帳、当座預金出納帳への記帳・演習①													1	面接	
	3. 現金出納帳、当座預金出納帳への記帳・演習②													1	面接	
	4. 仕入帳・売上帳への記帳・演習①													1	面接	
	5. 仕入帳・売上帳への記帳・演習②													1	面接	
	6. 商品有高帳(先入先出法)への記帳・演習													1	面接	
	II 伝票会計															
	7. 伝票会計(3伝票)のしくみと起票と処理・演習①													2	面接	
	8. 伝票会計(3伝票)のしくみと起票と処理・演習②													2	面接	
	III 取引の記帳と決算															
	9. 各種取引と決算整理													3	面接	
	10. 決算整理仕訳①													3	面接	
	11. 決算整理仕訳②													3	面接	
	IV 決算															
12. 精算表の作成・演習													3,4	面接		
13. 財務諸表の作成(貸借対照表)													3,4	面接		
14. 財務諸表の作成(損益計算書)													3,4	面接		
15. 各種帳簿・勘定の締め切り													1,2,3,4	面接		
◎定期試験																
アクティブ・ラーニング	ディスカッション、グループワーク															
成績評価基準	評価の方法:①定期試験(50%)②小テスト(10%)③課題(20%)④授業態度・授業への参加度(20%) 評価の基準:①資格試験レベルの基礎的な問題に解答できる。 ②单元ごとの基礎的な問題に解答できる。 ③関心・意欲及び知識・理解を測定。 ④積極的な質疑、課題等への意欲的な取組姿勢を測定。															
フィードバックの方法	毎時間、小テストや課題への解答を示し、習熟度や気づきをコメントする。															
時間外の学習について	予習:簿記テキスト・問題集の予習(60分程度) 復習:授業内容の復習、課題(90分程度)															
教材にかかわる情報	テキスト:最新段階式 日商簿記検定問題集3級 四訂版 /実教出版 参考書:日本商工会議所主催の簿記検定問題集、電卓(授業で指示) 参考資料:適宜配布する。															
実務経験について																
担当者からのメッセージ等	問題集等により早めの検定対策を行い、積極的に日本商工会議所主催の「簿記」検定試験に挑戦してくれることを期待します。 楽しく学び日商簿記検定3級にチャレンジしてみましょう。 E-mail: takashi55129@outlook.com (山本)															

科目名	マーケティング (2単位)	講義	芸術表現学科	2年 前期	担当者	山本 貴司 (単独)												
ナンバリングコード	JA-S266-000	授業科目の 取扱い	面接授業科目															
卒業要件	選択																	
授業のテーマ	小売業、マーケティング戦略、インバウンド、接客マナー、計数管理、ストアオペレーション、販売士検定3級																	
授業概要	ビジネス活動における人間行動の特性・特徴及び職業適性について心理学的アプローチを試みる。 マーケティングの意義・役割及びプロセスについて具体的事例に基づきながら学ぶ。 企業損益の発生及び基礎的な計算手法について学ぶ。																	
達成目標	1. 小売業の定義や流通段階における小売業の役割が理解できる。 2. マーケティングの意義・役割とそのプロセスが理解できる。 3. プロセスに基づいたマーケティング戦略が理解できる。 4. リテールマーケティング3級レベルの知識を習得する。																	
学修成果との関係	①	・	②	○	③	・	④	・	⑤	◎	⑥	○	⑦	・	⑧	○		
履修条件・注意事項																		
授業計画																	目標	方法
	1. 小売業の種類と特徴、インターネット社会と小売業																1,4	面接
	2. 小売業の基本知識、商店街の現状と特徴																1,4	面接
	3. 商品計画の基本知識、在庫管理の基本知識																1,4	面接
	4. 小売業のマーケティングの基本知識、4P理論の小売業への適用																2,4	面接
	5. 顧客満足経営の基本知識、顧客維持政策の基本知識																2,4	面接
	6. FSPの基本知識、商圏の基本知識																2,4	面接
	7. 立地条件の基本知識、出店の基本知識																3,4	面接
	8. リージョナルプロモーションの体系と概要																3,4	面接
	9. インバウンド、売場づくりの基本知識																3,4	面接
	10. 店舗照明の基本知識、ディスプレイ効果を高める色彩の活用																3,4	面接
	11. 接客マナー、小売業に関する主な法規																3,4	面接
	12. 環境問題と消費生活、店舗管理の基本																3,4	面接
	13. 計数管理、利益の構造																3,4	面接
	14. スタアオペレーション																3,4	面接
15. スタアオペレーション																3,4	面接	
	◎定期試験																	
アクティブ・ラーニング	ディスカッション グループワーク																	
成績評価基準	評価の方法：①定期試験(60%) ②課題・演習(20%) ③授業態度・授業への参加度(20%) 評価の基準：①知識・理解：資格試験レベルの基礎的な問題に解答できる。 ②関心・意欲及び知識・理解を測定、ディスカッションやグループワークへの参加度・意欲を測定。 ③関心・意欲：積極的な質疑、課題等への意欲的な取組姿勢を測定。																	
フィードバックの方法	質疑や課題に対して適宜助言・コメントをする。																	
時間外の学習について	予習：授業計画を把握し、テキストや配布資料を読み込んでおく。(各回90分程度) 復習：授業内容の整理と振り返り、課題への取り組み。(各回90分程度)																	
教材にかかわる情報	テキスト：ユーキャンの販売士検定3級 速習テキスト&問題集 第5版 参考書：特になし 参考資料：適宜配布する。																	
実務経験について																		
担当者からのメッセージ等	流通業界で唯一の公的資格である「リテールマーケティング販売士」検定試験3級合格を視野に入れた学習が可能です。 E-mail: takashi55129@outlook.com (山本)																	

科目名	ファイナンシャルプランニング (2単位)	演習	芸術表現学科	2年 後期	担当者	山本 貴司 (単独)										
ナンバリングコード	JA-S265-000	授業科目の 取扱い	面接授業科目													
卒業要件	選択															
授業のテーマ	ファイナンシャルプランナー、資産設計、社会保険、民間保険、公的年金、所得税、税金、金融資産運用、ファイナンシャルプランナー3級															
授業概要	ライフプランニングと資金計画、リスクマネジメント、金融資産運用、タックスプランニング、不動産、相続・事業継承についてファイナンシャル・プランナー3級レベルの知識を習得する。															
達成目標	1.ライフプランニングと資金計画に関する知識を習得する。															
	2.リスクマネジメント・金融資産運用に関する知識を習得する。															
	3.所得税の基本と不動産に関する知識を習得する。															
	4.ファイナンシャル・プランナー3級レベルの知識を習得する。															
学修成果との関係	①	・	②	○	③	・	④	・	⑤	◎	⑥	◎	⑦	・	⑧	○
履修条件・注意事項																
授業計画							目標	方法								
	1. FPと論理及び手法について						1,4	面接								
	2. ライフプランニングについて						1,4	面接								
	3. 社会保険について						1,4	面接								
	4. 公的年金について						1,4	面接								
	5. 保険の基本について						2,4	面接								
	6. 生命保険・損害保険について						2,4	面接								
	7. 金融・経済の基本						3,4	面接								
	8. 所得税の基本とその計算						1,4	面接								
	9. 税額の計算と税額の控除						1,4	面接								
	10. 所得税の申告と納付						1,4	面接								
	11. 不動産の基本						2,4	面接								
	12. 不動産の税金						2,4	面接								
	13. 相続の基本						3,4	面接								
	14. 財産の評価						3,4	面接								
	15. 資産設計						3,4	面接								
◎定期試験																
アクティブ・ラーニング	ディスカッション、グループワーク															
成績評価基準	評価の方法：①定期試験(60%)②課題・演習(20%)③授業態度・授業への参加度(20%) 評価の基準：①知識・理解：資格試験レベルの基礎的な問題に回答できる。 ②関心・意欲及び知識・理解を測定、ディスカッションやグループワークへの参加度・意欲を測定。 ③関心・意欲：積極的な質疑、課題等への意欲的な取組姿勢を測定。															
フィードバックの方法	課題内容について個別に評価を行い適宜助言することにより教員及び受講生で共有する。															
時間外の学習について	予習：授業計画を把握し、テキストや配布資料に目を通す。(各回90分程度) 復習：授業内容の整理と振り返り、課題への取り組み。(各回90分程度)															
教材にかかわる情報	テキスト：みんなが欲しかった!FPの教科書3級/TAC出版 参考書：10代から学ぶパーソナルファイナンス/日本FP協会 参考資料：適宜配布する。															
実務経験について																
担当者からのメッセージ等	人生における「お金に関する総合知識」を楽しく学び、身につけてファイナンシャル・プランニング技能検定3級にチャレンジしてみましょう。 E-mail: takashi55129@outlook.com (山本)															

科目名	ビジネス実践演習 (1単位)		演習	芸術表現学科	2年 後期	担当者	尾崎 敬子 (単独)									
ナンバリングコード	JA-S261-000		授業科目の 取扱い	面接授業科目												
卒業要件	選択															
授業テーマ	ビジネススキル、変化への適応、職場での人間関係、課題解決力															
授業概要	少子高齢化やグローバル化、IT化など急激な社会の変化の中で、働き方はどう変わるのかについて考察する。変化に適応しながら主体的に生き抜く力について様々な角度から学び、社会人としてのスタートを切る準備をする。															
達成目標	1.人生100年時代を見通しながら、社会の変化に適応するために必要な力の基礎を養う。 2.職場での人間関係を円滑にし、求められる人材になるための基本を習得する。 3.職場や社会で求められる基本的なルール、知識やスキル及び実践力を身につける。															
学修成果との関係	①	◎	②	○	③	・	④	○	⑤	・	⑥	・	⑦	○	⑧	○
履修条件・注意事項																
授業計画							目標	方法								
	1. 社会の変化を予測する						1	面接								
	2. 雇用環境の変化をつかむ						1	面接								
	3. これからの社会で求められる力						1,3	面接								
	4. 社内・外でのコミュニケーションの基本						2,3	面接								
	5. 職場でのジェネレーションギャップ						2,3	面接								
	6. ビジネスマインドとビジネス思考						1,3	面接								
	7. タイムマネジメント						1,2	面接								
	8. ヘルスマネジメント						1	面接								
	14. 効果的・効率的な仕事の進め方Ⅰ(資料作成)						2,3	面接								
	15. 効果的・効率的な仕事の進め方Ⅱ(会議・打合せ)						2,3	面接								
	11. こんな時にはどう対応? ~ロールプレイ						2,3	面接								
	12. 主体性をもって働く ~計画力と実行力						2,3	面接								
	13. 職場環境をよくする ~発信力と傾聴力						2,3	面接								
	14. 『一緒に働きたい人』になる ~チームワーク						2,3	面接								
15. 人生100年時代を生き抜くためのキャリア形成						1	面接									
アクティブ・ラーニング	グループワーク、ロールプレイ															
成績評価基準	評価の方法:①課題レポート(30%)②授業レポート(20%)③小テスト(30%)④授業態度・演習(20%)により、総合的に評価する。 評価の基準:①知識・理解及び技能・表現:課題に対して理解し、ポイントを押さえて適切な表現でまとめることができる。 ②関心・意欲及び知識・理解:授業内容についてフィードバックしながらまとめることができる。 ③知識・理解:授業内容に対する基礎的な問題に解答できる。 ④関心・意欲及び態度:授業テーマに関心を持ち、積極的に活動できる。															
フィードバックの方法	課題レポート、授業レポートは、解説をつけて返却します。質問にはその都度対話を重ね、回答していきます。															
時間外の学習について	予習:授業内容について事前に予習しておくこと(各回45分程度) 復習:課題レポート及び授業レポートを提出すること(各回45分程度)															
教材にかかわる情報	テキスト:『最新ビジネスマナーと今さら聞けない仕事の超基本』宮本ゆみ子著(朝日新聞出版)芸術表現入門で購入済 参考書:『入社1年目のビジネススキル大全』木部智之(三笠書房) 参考資料:必要に応じて適宜配付															
実務経験について																
担当者からのメッセージ等	演習を通して、社会の変化に柔軟に適応できるように、様々な知識やスキルを身につけます。働くことに対するモチベーションを高めて、自信を持って社会人としてのスタートを切りましょう。 Email:ozaki@yamaguchi-jca.ac.jp(尾崎)															

科目名	情報リテラシー I (2単位)	講義	芸術表現学科	1年 前期	担当者	長田 和美 (実務経験) 澄重 成記 (実務経験) (複数)										
ナンバリングコード	JA-S167-000	授業科目の 取扱い	面接授業科目													
卒業要件	必修															
授業のテーマ	Office365、Word、PowerPoint、インターネット、メール、情報リテラシー、AI															
授業概要	社会人に必要なパソコンスキルや情報技術に関する知識を修得し、質の高いビジネス文書やプレゼンテーション資料を作成する力を身につける。また、社会で起きている変化や、データ・AI 利活用の最新の動向について理解する。															
達成目標	1. Office365の使い方を修得する。 2. コンピュータの基本操作、インターネット・メールに関する基礎知識とマナーを修得する。 3. 【導入】社会におけるデータ・AI 利活用について理解する。 4. Microsoft Word によるビジネス文書の作成ができる。 5. Microsoft PowerPoint によるプレゼンテーション資料の作成ができる。															
学修成果との関係	①	・	②	○	③	・	④	・	⑤	◎	⑥	○	⑦	・	⑧	○
履修条件・注意事項																
授業計画												目標	方法			
	1. Office365 の使い方 (1)											1	面接			
	2. Office365 の使い方 (2)											1	面接			
	3. コンピュータの仕組み、Windows の基本操作											2	面接			
	4. インターネットとメール											2	面接			
	5. 【導入】社会におけるデータ・AI 利活用 (社会で起きている変化、データ・AI 利活用動向)											3	面接			
	6. 【導入】社会におけるデータ・AI 利活用 (Society5.0)											3	面接			
	7. MS Word によるビジネス文書作成の基礎 (1)											4	面接			
	8. MS Word によるビジネス文書作成の基礎 (2)											4	面接			
	9. MS Word によるビジネス文書作成の基礎 (3)											4	面接			
	10. MS Word によるビジネス文書作成の基礎 (4)											4	面接			
	11. MS PowerPoint によるプレゼンテーション資料作成の基礎 (1)											5	面接			
	12. MS PowerPoint によるプレゼンテーション資料作成の基礎 (2)											5	面接			
	13. MS PowerPoint によるプレゼンテーション資料作成の基礎 (3)											5	面接			
	14. MS PowerPoint によるプレゼンテーション資料作成の基礎 (4)											5	面接			
	15. プレゼンテーション (グループワーク)											5	面接			
◎定期試験 (筆記、パソコン実技)																
アクティブ・ラーニング	ペアワーク、プレゼンテーション、グループ討議															
成績評価基準	評価の方法：①授業内レポート、演習 (25%) ②小テスト (25%) ③定期試験 (50%) 評価の基準：①態度・意欲、知識の習得度、理解度を測定 ②知識の習得度、理解度を測定 ③知識の習得度、理解度を測定															
フィードバックの方法	レポートや小テストの返却時にコメントをフィードバックする。															
時間外の学習について	予習：テキストの該当箇所を読んでおく。(各回 90 分程度) 復習：授業内容に即した課題 (宿題) を課す。(各回 90 分程度)															
教材にかかわる情報	テキスト：「はじめて学ぶ 数理・データサイエンス・AI」、富士通ラーニングメディア (著) よくわかるマスター MOS Word 2016 対策テキスト&問題集 参考書：特になし 参考資料：適宜配布する															
実務経験について	企業での実務経験をもとに、社会人に求められる基本的な知識・技術を指導します。(長田、澄重)															
担当者からのメッセージ等	情報通信技術の基礎を学び、パソコンスキルを身につけましょう。 Email : knagata@yamaguchi-jca.ac.jp (長田 和美) Email : ssumishige@yamaguchi-jca.ac.jp (澄重 成記)															

科目名	情報リテラシーⅡ (1単位)	演習	芸術表現学科	1年 後期	担当者	長田 和美 (実務経験) (単独)										
ナンバリングコード	JA-S168-000	授業科目の 取 扱 い	面接授業科目													
卒業要件	選択															
授業のテーマ	データリテラシー、エクセル、Excel、データ分析、表、グラフ															
授業概要	社会人に必要なパソコンスキル (Microsoft Excel) やデータ分析に関する知識・スキルを身につける。 データリテラシー (データを読む・説明する・扱う力) を習得する。															
到達目標	1. 【基礎】データリテラシーとして、データを読み解く力、データを説明する力、データを扱うための力を養う。															
	2. MS Excel を活用して、伝えたい情報が伝わる表やグラフを作成することができる。															
	3. MS Excel を活用して、効率的にデータ整理や分析ができる。															
	4. 自分でテーマを決めて Web アンケートを作成し、データを分析することができる。															
学修成果との関係	①	・	②	○	③	・	④	○	⑤	◎	⑥	・	⑦	○	⑧	○
履修条件・注意事項																
授業計画											目標	方法				
	1. 「データリテラシー」を学ぶ意義										1	面接				
	2. 情報デザイン (1) グラフ										1, 2	面接				
	3. MS Excel によるグラフ作成 (1)										1, 2	面接				
	4. MS Excel によるグラフ作成 (2)										1, 2	面接				
	5. MS Excel によるグラフ作成 (3)										1, 2	面接				
	6. 情報デザイン (2) 表										1, 2	面接				
	7. MS Excel による表作成 (1)										1, 2	面接				
	8. MS Excel による表作成 (2)										1, 2	面接				
	9. MS Excel によるデータ集計 (1)										1, 3	面接				
	10. MS Excel によるデータ集計 (2)										1, 3	面接				
	11. MS Excel によるデータ集計 (3)										1, 3	面接				
	12. MS Excel によるデータ集計 (3)										1, 3	面接				
	13. アンケートの作成										1, 4	面接				
	14. アンケートのデータ分析(1)										1, 4	面接				
	15. アンケートのデータ分析(2)										1, 4	面接				
◎定期試験 (パソコン実技)																
アクティブ・ラーニング	ペアワーク、グループワーク、ディスカッション															
成績評価基準	評価の方法：①授業内レポート (20%) ②演習課題 (30%) ③アンケートの分析 (25%) ④定期試験 (25%) 評価の基準：①授業内レポートを通して、学習に対する態度や関心・意欲を測定 ②演習課題 (テキストの問題) を通して、データリテラシーに関する知識・技能の修得度を測定 ③自分で作成したアンケートの分析を通して、データリテラシーに関する技能、思考力を測定 ④定期試験を通して、データリテラシーに関する知識・技能・思考力・判断力を測定															
フィードバックの方法	レポートや小テストの返却時にコメントをフィードバックする。															
時間外の学習について	予習：ニュースや新聞を読んで社会ニーズを把握し、データリテラシーの重要性を理解する。(各回 15分程度) 復習：授業時に指示した課題に取り組む。(各回 30分程度)															
教材にかかわる情報	テキスト：Microsoft Office Specialist Microsoft Excel 2016 対策テキスト& 問題集、FOM 出版 はじめて学ぶ 数理・データサイエンス・AI、FOM 出版 参考書：特になし 参考資料：適宜配布する。															
実務経験について	企業経験を活かして、ビジネスで求められる文書作成やデータ分析のスキルを紹介します。															
担当者からのメッセージ等	エクセルはとても便利で、仕事の効率化を図ることができます。事務、経理、営業、デザイナーなど様々な職種で必要とされるスキルです。就職活動までに資格(MOS、Microsoft Office Specialist)を取得して、面接でしっかり自己PRをしていきましょう。連絡先： knagata@yamaguchi-jca.ac.jp (長田)															

科目名	情報リテラシーⅢ (1単位)	演習	芸術表現学科	2年 前期	担当者	南野 郁夫(実務経験) (単独)										
ナンバリングコード	JA-S262-000	授業科目の 取扱い	面接授業科目													
卒業要件	選択															
授業のテーマ	PowerPoint、プレゼンテーション、AI															
授業概要	社会人に必要なパソコンスキルや情報技術に関する知識と数理・データサイエンス・AI 分野における基本的なリテラシーを修得し、ビジネス文書やプレゼンテーション資料を作成する力を身につけることを目的とする。学習者は情報の信頼性を判断し、AIの基本的な概念を理解し、それを実際の課題に適用することも学ぶ。															
到達目標	1. 【導入】初級レベルの数理・データサイエンス・AIを理解している。 2. ChatGPTやPowerPointを活用したビジネス文書が作成できる。 3. 【心得】データ・AI利活用における留意事項を理解し、倫理的かつ効果的な利用ができる。 4. PowerPointを活用し、アニメーション・動画を含んだプレゼンテーションができる。															
学修成果との関係	①	・	②	○	③	・	④	・	⑤	◎	⑥	○	⑦	・	⑧	○
履修条件・注意事項																
授業計画								目標	方法							
	1. 【導入】社会におけるデータ・AI利活用の重要性と基本概念							1	面接							
	2. ビジネス文書作成 (ChatGPTなどの活用) (1)							2	面接							
	3. ビジネス文書作成 (ChatGPTなどの活用) (2)							2	面接							
	4. 【心得】データ・AI利活用における倫理と留意事項							3	面接							
	5. 分かり易いプレゼンテーションとは？							2,4	面接							
	6. PowerPoint レイアウト・デザインの基本							2	面接							
	7. PowerPoint 図の活用							2	面接							
	8. PowerPoint アニメーション (1)							2,4	面接							
	9. PowerPoint アニメーション (2)							2,4	面接							
	10. 【心得】データ・AI利活用における倫理と動画作成時の留意事項							3	面接							
	11. プレゼンテーション (PowerPointの活用、動画作成) (1)							4	面接							
	12. プレゼンテーション (PowerPointの活用、動画作成) (2)							4	面接							
	13. プレゼンテーション (PowerPointの活用、動画作成) (3)							4	面接							
	14. プレゼンテーション (チーム発表会)							4	面接							
	15. これまでのまとめ (データ・AI、ChatGPT、PowerPoint、心得)							1,2,3,4	面接							
	◎定期試験															
アクティブ・ラーニング	個別・ペアワーク、グループワークを通じてAI利活用等に関する実践的な課題に取り組む。															
成績評価基準	評価の方法：①授業内レポート (10%) ②チーム発表会 (30%) ③確認問題 (20%) ④定期試験 (40%) 評価の基準：①態度・意欲を測定 ②態度・AI利活用・プレゼンのスキル習得度、理解度を測定 ③基礎的な知識の習得度、理解度を測定 ④データ・AIに焦点を当て、知識の習得度、理解度を測定															
フィードバックの方法	小レポートや課題の返却時にコメントをフィードバックする。															
時間外の学習について	予習：テキストの該当箇所を読んでおく。(各回45分程度) 復習：授業内容に即した課題(宿題)を課す。(各回45分程度)															
教材にかかわる情報	テキスト：Microsoft Office Specialist Excel 2016 対策テキスト&問題集(よくわかるマスター) 2017/3/25、富士通ラーニングメディア(著) 参考書：特になし 参考資料：適宜配布する															
実務経験について	30年間の企業経験を活かし、社会人に必要とされる基本的な情報リテラシーを説明します。															
担当者からのメッセージ等	社会人に求められる「情報リテラシー」のスキルを身につけましょう。 Email: T0033_gakugei@y_gakugei.ac.jp (南野)															

科目名	地域課題解決演習 I (PBL) (2単位)		演習	芸術表現学科	2年 前期	担当者	藤村 慎一郎 (実務経験) 南野 郁夫 (実務経験) (複数)									
ナンバリングコード	JA-S268-000		授業科目の 取扱い	面接授業科目												
卒業要件	選択															
授業のテーマ	PBL、課題発見力、課題解決力、チームワーク、組織で働く力、合意形成力、コミュニケーション能力															
授業概要	地域企業や自治体が抱える課題に対してグループで解決策を提案し、解決に向けて実践する。															
達成目標	1. 連携先(企業・自治体)の意向を理解して、目標を設定できる。															
	2. ヒヤリングや調査を通して現状を正しく把握し、課題を定義できる。															
	3. 課題解決に向けたアイデアを発案できる。															
	4. 互いに協力して、計画的に作業を進めるとともに状況に応じて臨機応変に行動できる。															
	5. 他者に分かりやすく伝えることができ、互いの意見を理解して合意形成ができる。															
学修成果との関係	①	○	②	・	③	・	④	○	⑤	◎	⑥	◎	⑦	◎	⑧	○
履修条件・注意事項																
授業計画												目標	方法			
	1. ガイダンス											1,5	面接			
	2. テーマ説明											1,4,5	面接			
	3. 目標設定											1,4,5	面接			
	4. 現状把握(1) ヒヤリング											2,4,5	面接			
	5. 現状把握(2) 調査											2,4,5	面接			
	6. 現状把握(3) 情報共有											2,4,5	面接			
	7. 課題抽出(1)											2,4,5	面接			
	8. 課題抽出(2)											2,4,5	面接			
	9. 課題定義(1)											2,4,5	面接			
	10. 課題定義(2)											2,4,5	面接			
	11. アイデア検討(1)											3,4,5	面接			
	12. アイデア検討(2)											3,4,5	面接			
	13. 解決策の選定											3,4,5	面接			
	14. 中間報告会の準備											4,5	面接			
15. 中間報告会の振り返り											4,5	面接				
◎定期試験(中間報告会)																
アクティブ・ラーニング	ペアワーク、グループディスカッション、プレゼンテーション															
成績評価基準	評価の方法: ①レポート(40%) ②課題(30%) ③プレゼンテーション(30%) 評価の基準: ①意欲・関心、思考・判断を測定 ②表現・技能、思考・判断を測定 ③意欲・関心、知識・理解、技能・表現を測定															
フィードバックの方法	課題を返却															
時間外の学習について	予習: 次回の授業に向けて、必要な調査や制作を行う(各回90分) 復習: 授業後にチームと自分自身の活動を振り返り、次回に向けた改善策を検討する(各回90分)															
教材にかかわる情報	テキスト: 最新ビジネスマナーと今さら聞けない仕事の超基本、石川和男、朝日新聞出版 参考書: 特になし 参考資料: 特になし															
実務経験について	教職経験・企業経験を活かして、社会人感覚と実践力を育成する授業を行います。															
担当者からのメッセージ等	自分たちの生活している山口県(山口市)の喫緊の課題に対して芸術表現学科らしい解決策を提案しましょう。 担当教員の連絡先メールアドレス: 藤村: sfujimura@yamaguchi-jca.ac.jp, 南野: T0033_gakugei@y_gakugei.ac.jp															

科目名	地域課題解決演習Ⅱ (PBL) (2単位)		演習	芸術表現学科	2年 後期	担当者	藤村 慎一郎 (実務経験) 南野 郁夫 (実務経験) (複数)									
ナンバリングコード	JA-S269-000		授業科目の 取扱い	面接授業科目												
卒業要件	選択															
授業のテーマ	PBL、課題発見力、課題解決力、チームワーク、組織で働く力、合意形成力、コミュニケーション能力															
授業概要	地域企業や自治体が抱える課題に対してグループで解決策を提案し、解決に向けて実践する。															
達成目標	1. アイデアを具体化する方法を決定し、行動計画を立案することができる。 2. 作業を分担して、試作ができる。 3. 評価方法を検討し、評価結果をもとに改良できる。 4. 互いに協力して、計画的に作業を進めるとともに状況に応じて臨機応変に行動できる。 5. 他者に分かりやすく伝えることができ、互いの意見を理解して合意形成ができる。															
学修成果との関係	①	○	②	・	③	・	④	○	⑤	◎	⑥	◎	⑦	◎	⑧	○
履修条件・注意事項	地域課題解決演習Ⅰ (PBL) を履修すること															
授業計画												目標	方法			
	1. アイデアの具体化 (1)											1, 4, 5	面接			
	2. アイデアの具体化 (2)											1, 4, 5	面接			
	3. 作業計画の立案											1, 4, 5	面接			
	4. 試作 (1)											2, 4, 5	面接			
	5. 試作 (2)											2, 4, 5	面接			
	6. 試作 (3)											2, 4, 5	面接			
	7. 評価方法の検討											3, 4, 5	面接			
	8. 評価											3, 4, 5	面接			
	9. 改良 (1)											3, 4, 5	面接			
	10. 改良 (2)											3, 4, 5	面接			
	11. 改良 (3)											3, 4, 5	面接			
	12. 課題解決プロセスの整理											4, 5	面接			
	13. 最終報告会の準備 (1)											4, 5	面接			
	14. 最終報告会の準備 (2)											4, 5	面接			
	15. 最終報告会											4, 5	面接			
◎定期試験 (課題：各自の活動報告書)																
アクティブ・ラーニング	ペアワーク、グループディスカッション、プレゼンテーション															
成績評価基準	評価の方法：①レポート (40%) ②課題・活動報告書 (30%) ③プレゼンテーション (30%) 評価の基準：①意欲・関心、思考・判断を測定 ②表現・技能、思考・判断を測定 ③意欲・関心、知識・理解、技能・表現を測定															
フィードバックの方法	課題を返却															
時間外の学習について	予習：次回の授業に向けて、必要な調査や制作を行う (各回90分) 復習：授業後にチームと自分自身の活動を振り返り、次回に向けた改善策を検討する (各回90分)															
教材にかかわる情報	テキスト：最新ビジネスマナーと今さら聞けない仕事の超基本、石川和男、朝日新聞出版 参考書：特になし 参考資料：特になし															
実務経験について	教職経験・企業経験を活かして、社会人感覚と実践力を育成する授業を行います。															
担当者からのメッセージ等	分たちの生活している山口県 (山口市) の喫緊の課題に対して芸術表現学科らしい解決策を提案しましょう。 担当教員の連絡先メールアドレス：藤村：sfujimura@yamaguchi-jca.ac.jp, 南野：T0033_gakugei@y_gakugei.ac.jp															

科目名	音楽基礎理論 (2単位)	講義	芸術表現学科	1年 前期	担当者	小野 隆洋(実務経験) (単独)										
ナンバリングコード	JA-S151-000	授業科目の 取扱い	面接授業科目													
卒業要件	選択															
授業のテーマ	音楽基礎理論、楽典、音程、拍子、リズム、音階、調性															
授業概要	音楽の理解に必要な楽典について、基本となる「音程」「拍子」「音階」「調性」を中心に、演習や小テストを交えながら授業を進める。															
達成目標	1. 常に課題意識を持ち、分からないところは積極的に質問するなど、主体的に取り組むことができる。 2. 理論を単純に暗記するのではなく、なぜそうなるのかを理解できる。 3. 修得した知識を読譜や作品解釈に活用し、また応用することができる。															
学修成果との関係	①	・	②	○	③	・	④	・	⑤	◎	⑥	○	⑦	・	⑧	○
履修条件・注意事項																
授業計画												目標	方法			
	1. 楽音と音律											1,2	面接			
	2. 譜表と音名											1,2	面接			
	3. 音符と休符											1,2	面接			
	4. 拍子とリズム											1,2	面接			
	5. 音程① 度数、種類、派生音											1,2	面接			
	6. 音程② 複音程											1,2	面接			
	7. 音程③ 転回音程											1,2	面接			
	8. 音階と調① 長音階、短音階											1,2	面接			
	9. 音階と調② 調の判定											1,2	面接			
	10. 音階と調③ 移調と転調											1,2	面接			
	11. 移調と転調①											1,2	面接			
	12. 移調と転調②											1,2	面接			
	13. 和音											1,2	面接			
	14. 記号と標語											1,2,3	面接			
15. 音楽の構成 まとめ											1,2,3	面接				
アクティブ・ラーニング	ディスカッション、グループワーク															
成績評価基準	評価の方法：①授業態度・参加度(50%) ②小テスト・課題(50%) 評価の基準：①関心・意欲・態度を測定：ディスカッション等において、積極的に発問や発言ができています。 ②知識・理解を測定：授業で取り上げた理論や知識を扱った問題に解答できる。															
フィードバックの方法	課題等の返却時に解答例とともに、コメントや助言を行う。															
時間外の学習について	予習：事前にテキストを一通り読んでおく。(各回90分程度) 復習：単元ごとの宿題に取り組む。(各回90分程度)															
教材にかかわる情報	テキスト：「楽典 理論と実習」 石桁真礼生 ほか著 音楽之友社 参考書：特になし 参考資料：特になし															
実務経験について	演奏家経験：国内外の音楽事情、実践的な音楽演奏に対するアプローチについて講義します。															
担当者からのメッセージ等	理論をしっかり理解して音楽演奏に取り組むと、練習の効率も上がり、より音楽的な表現も可能になります。 担当者の連絡先・E-mail アドレス： tono@yamaguchi-jca.ac.jp (小野)															

科目名	映像音楽論 (2単位)	講義	芸術表現学科	2年 後期	担 当 者	小野 隆洋(実務経験) (単独)										
ナンバリングコード	JA-S250-000	授業科目の 取扱い	面接授業科目													
卒業要件	選択															
授業のテーマ	映像音楽、音楽鑑賞、作品解釈、楽曲理解、ミュージカル、オペラ、アニメ															
授業概要	映像を伴う音楽作品を取り上げ、音楽の特徴や種類について理解を深めるとともに、映像と音楽の関連性について考察する。															
達成目標	1. 映像を伴う音楽について、作品の意図を理解できる。 2. 映像を伴う音楽について、曲の特徴を理解できる。 3. 映像を伴う音楽について、音楽の種類を理解できる。 4. 映像と音楽の関連性を理解できる。 5. 映像に見合った音楽を選択できる。															
学修成果との関係	①	・	②	○	③	・	④	・	⑤	◎	⑥	○	⑦	・	⑧	○
履修条件・注意事項																
授業計画							目標	方法								
	1. 映像音楽論の全般的な知識						4	面接								
	2. ミュージカル作品の鑑賞①						1,2,3	面接								
	3. ミュージカル作品の鑑賞②						1,2,3	面接								
	4. オペラ作品の鑑賞①						1,2,3	面接								
	5. オペラ作品の鑑賞②						1,2,3	面接								
	6. アニメ作品の鑑賞①						1,2,3	面接								
	7. アニメ作品の鑑賞②						1,2,3	面接								
	8. 映像を伴う音楽の特徴と種類①						2,3	面接								
	9. 映像を伴う音楽の特徴と種類②						2,3	面接								
	10. 曲の特徴と音楽の様式①						2,3,4	面接								
	11. 曲の特徴と音楽の様式②						2,3,4	面接								
	12. 映像と音楽の関連性①						1,2,3,4	面接								
	13. 映像と音楽の関連性②						1,2,3,4	面接								
	14. 映像に見合った音楽の選曲①						1,2,3,4,5	面接								
15. 映像に見合った音楽の選曲②						1,2,3,4,5	面接									
アクティブ・ラーニング	グループディスカッション、プレゼンテーション															
成績評価基準	評価の方法：①授業態度・参加度(50%) ②レポート(50%) 評価の基準：①関心・意欲・態度を測定：ディスカッション等において、積極的に発問や発言ができています。 ②知識・理解を測定：授業で取り上げた理論や知識を扱った問題に解答できる。															
フィードバックの方法	各回の受講者の発表に対して、個別の助言を行う。															
時間外の学習について	予習：授業で扱われる時代の音楽を鑑賞しておくこと。(各回90分程度) 復習：授業で行った内容について復習しておくこと。(各回90分程度)															
教材にかかわる情報	テキスト：特になし 参考書：特になし 参考資料：各回に適宜プリントを配布する															
実務経験について	演奏家経験：国内外の音楽事情、実践的な音楽演奏に対するアプローチについて講義します。															
担当者からのメッセージ等	様々な映像音楽に触れて、映像と音楽の関連性について追及しましょう。 担当者の連絡先・E-mail アドレス： tono@yamaguchi-jca.ac.jp (小野)															

科目名	ピアノ I (1単位)	実技	芸術表現学科	1年 前期	担当者	脇淵 陽子 (単独)										
ナンバリングコード	JA-S141-000	授業科目の 取扱い	面接授業科目													
卒業要件	選択															
授業のテーマ	演奏、自己表現、基礎技術、想像力															
授業概要	ピアノ奏法の基礎的なテクニックの習得、身体的機能、運指の基本技術を確認し楽譜を読み解く力を身につけるとともに、一人ひとりの進度に合わせて練習課題に取り組み、音楽の成り立ちとしてバロック時代の作品を題材に作品へのイメージディスカッションを行う。授業形態は全員対象・個人指導を行う。															
達成目標	1. 基本的な姿勢と身体的機能の修得															
	2. 基礎的な音楽知識の理解															
	3. 練習計画の実践と演奏技術の向上															
	4. 楽曲理解と音楽表現法															
	5. 演奏実技の発表															
学修成果との関係	①	・	②	○	③	○	④	○	⑤	◎	⑥	○	⑦	○	⑧	○
履修条件・注意事項																
授業計画							目標	方法								
	1. 1年次の演奏曲目計画、楽譜等の準備						1	面接								
	2. ピアノ奏法の基礎的な運動 楽譜の読み込み						1	面接								
	3. ピアノ奏法の基礎的な運動 楽語への関心						1,2	面接								
	4. ピアノ奏法の基礎技術						1,2	面接								
	5. ピアノ奏法の基礎技術						2,3	面接								
	6. バロック時代作品を知る						2,3,4	面接								
	7. バロック時代作品を知る						2,3,4	面接								
	8. 作品に対するディスカッション イメージの共有						4,5	面接								
	9. 課題曲への取り組み①基礎的な内容を習得する						3,4	面接								
	10. 課題曲への取り組み②楽譜を正しく読む						3,4,5	面接								
	11. 課題曲への取り組み③楽譜の分析と背景						3,4,5	面接								
	12. 課題曲の演奏と演奏解釈①						4,5	面接								
	13. 課題曲の演奏と演奏解釈②						4,5	面接								
	14. 課題曲の演奏と演奏解釈③						5	面接								
	15. 課題曲発表						5	面接								
	以上のような基礎的な演奏技術の向上を目標に、個人の進度や学びたい演奏分野の作品等、相談しながら授業を進める。															
アクティブ・ラーニング	プレゼンテーション															
成績評価基準	評価の方法：①課題となる曲を発表（50%）②授業態度・授業への参加度（25%）③宿題（25%） 評価の基準：①技能・表現：学んだ技術を再現できる。 ②関心・意欲、態度：積極的に質問する。 ③関心・意欲：課題に意欲的に取り組む。															
フィードバックの方法	各回のレッスンの際に課題を設定して、個別に助言を行う。															
時間外の学習について	予習：課題を各自練習してレッスンに備える。 復習：レッスンで指摘された助言について練習する。（予復習合わせて各回90分以上）															
教材にかかわる情報	テキスト：ハノン教則本、各作曲家の練習曲、バロック作曲家の作品(個人の進度に応じる) 参考書、参考資料：特になし															
実務経験について																
担当者からのメッセージ等	音楽の及ぼす社会と自身の関係性について話をします。各自進度が異なりますが、ピアノ演奏に基礎技術の習得は欠かせません。作品への関心を高め自己表現の手段として積極的に取り組んでみましょう。 担当者の連絡先・E-mail：t0010@yamaguchi-jca.ac.jp（脇淵）															

科目名	ピアノⅡ (1単位)	実技	芸術表現学科	1年 後期	担当 者	脇淵 陽子 (単独)										
ナンバリングコード	JA-SI42-000	授業科目の 取扱い	面接授業科目													
卒業要件	選択															
授業のテーマ	演奏、自己表現、想像力															
授業概要	古典派やロマン派の作品を通して時代背景なども併せて音楽的感性を磨きつつ、「自己表現力」を習得する。メロディーを歌うことや曲を通して想像力を持ち、講師とのディスカッションで思考を深める。演奏能力の充実と向上のため授業形態は個人レッスンを主体としながら進める。学生一人ひとりの興味や進度にあわせて選曲し指導にあたる。															
達成目標	1. 基本的な姿勢と身体的機能の修得 2. 基礎的な音楽知識の理解 3. 練習計画の実践と演奏技術の向上 4. 楽曲理解と音楽表現法 5. 演奏実技の発表															
学修成果との関係	①	・	②	○	③	○	④	○	⑤	◎	⑥	○	⑦	○	⑧	○
履修条件・注意事項																
授業計画						目標	方法									
	1. 前期のふり返りと後期の計画					1	面接									
	2. 練習曲などを用いて基礎技術を高める①					1	面接									
	3. 練習曲などを用いて基礎技術を高める②					2,3	面接									
	4. 古典派について作品を知る①					2,3	面接									
	5. 古典派について作品を知る②					2,3	面接									
	6. 作品について背景を研究する①					3,4	面接									
	7. 作品について背景を研究する②					3,4	面接									
	8. 作品に対するディスカッションイメージの共有					3,4	面接									
	9. 課題曲への取り組み①基礎的な内容を習得する					4,5	面接									
	10. 課題曲への取り組み②楽譜を正しく読む					4,5	面接									
	11. 課題曲への取り組み③楽譜の分析と背景					4,5	面接									
	12. 課題曲への取り組み④演奏技法について豊かな音色を追求する					4,5	面接									
	13. 課題曲への取り組み⑤演奏技法について楽譜を深く読む					4,5	面接									
	14. 課題曲への取り組み⑥全体のバランスを整え響きを聴く					4,5	面接									
	15. 課題曲発表					1,2,3,4,5	面接									
以上のような視点を常にもちながら、個人の進度に応じた作品を選曲し、全体指導を行う。																
アクティブ・ラーニング	ディスカッション、プレゼンテーション															
成績評価基準	評価の方法：①課題となる曲を発表（50%）②授業態度・授業への参加度（25%）③宿題（25%） 評価の基準：①技能・表現：学んだ技術を再現できる。 ②関心・意欲、態度：積極的に質問する。 ③関心・意欲：課題に意欲的に取り組む。															
フィードバックの方法	各回のレッスンの際に課題を設定して、個別に助言を行う。															
時間外の学習について	予習：課題を各自練習してレッスンに備える。 復習：レッスンで指摘された助言について練習する。（予復習合わせて各回90分以上）															
教材にかかわる情報	テキスト：各作曲家の練習曲、(個人の進度により選曲) ソナタ全集他 参考書、参考資料：特になし															
実務経験について																
担当者からのメッセージ等	音楽の及ばず社会と自身の関係性について話をします。各自進度が異なりますが、ピアノ演奏に基礎技術の習得は欠かせません。作品への関心を高め自己表現の手段として積極的に取り組んでみましょう 担当者の連絡先・E-mail：t0010@yamaguchi-jca.ac.jp（脇淵）															

科目名	ピアノⅢ (1単位)	実技	芸術表現学科	2年 前期	担当者	脇淵 陽子 (単独)										
ナンバリングコード	JA-S241-000	授業科目の 取扱い	面接授業科目													
卒業要件	選択															
授業のテーマ	演奏、自己表現、基礎技術、想像力															
授業概要	さまざまな演奏法を引き続き学びながら「演奏法とその基礎的な表現力」を習得する。さらにロマン派時代のピアノ作品の美しいメロディを通して音楽的感性を磨きつつ、「自己表現力」を習得する。演奏能力の充実と向上のため授業形態は個人指導で進める。															
達成目標	1.幅広い音楽分野の作品研究 2.専門的な音楽知識の修得 3.練習方法の分析と演奏技術の向上 4.楽曲の様式と演奏解釈 5.演奏実技の発表															
学修成果との関係	①	・	②	○	③	○	④	○	⑤	◎	⑥	○	⑦	○	⑧	○
履修条件・注意事項																
授業計画						目標	方法									
	1. 1年次のふり返りとピアノ作品について、及び演奏曲目の計画					1,2	面接									
	2. ロマン派のピアノ小品について①					2	面接									
	3. ロマン派のピアノ小品について②					2	面接									
	4. ロマン派のピアノ作品の分析と演奏法①					2	面接									
	5. ロマン派のピアノ作品の分析と演奏法②					2,3	面接									
	6. 課題曲の選曲、楽譜の選定					1	面接									
	7. 課題曲の取り組み①基礎的な内容の習得					1,3	面接									
	8. 課題曲の取り組み②楽譜を正しく読む					2,3,4	面接									
	9. 課題曲の取り組み③楽曲の分析と背景					2,3,4	面接									
	10. 課題曲に対するイメージの共有					3,4	面接									
	11. 課題曲の演奏法① 豊かな音の研究					3,4	面接									
	12. 課題曲の演奏法② フレーズの歌い方					3,4	面接									
	13. 課題曲の演奏法③ 作品の全体構成について					3,4	面接									
	14. 課題曲の演奏法④ 表現方法について					4,5	面接									
	15. 課題曲の発表					5	面接									
	以上のような視点を常にもちながら、個人指導と全体指導を行う。															
アクティブ・ラーニング	プレゼンテーション															
成績評価基準	評価の方法：①課題となる曲を発表（50%）②授業態度・授業への参加度（25%）③宿題（25%） 評価の基準：①技能・表現：学んだ技術を再現できる。 ②関心・意欲、態度：積極的に質問する。 ③関心・意欲：課題に意欲的に取り組む。															
フィードバックの方法	各回のレッスンの際に課題を設定して、個別に助言を行う。															
時間外の学習について	予習：課題を各自練習してレッスンに備える。 復習：レッスンで指摘された助言について練習する。（予復習合わせて各回90分以上）															
教材にかかわる情報	テキスト：ハノン教則本、各作曲家の練習曲、ロマン派の作品、他(個人の進度 取り組みたい内容に応じる) 参考書、参考資料：特になし															
実務経験について																
担当者からのメッセージ等	音楽の及ぼす社会と自身の関係性について話をします。クラシックやポピュラー作品など、練習方法を考え技術の向上、表現方法を高める。多くのレパートリー曲に取り組む。 担当者の連絡先・E-mail：t0010@yamaguchi-jca.ac.jp（脇淵）															

科目名	ピアノⅣ (1単位)	実技	芸術表現学科	2年 後期	担当者	脇淵 陽子 (単独)										
ナンバリングコード	JA-S242-000	授業科目の 取扱い	面接授業科目													
卒業要件	選択															
授業のテーマ	演奏、自己表現、基礎技術、想像力															
授業概要	さまざまな演奏法を引き続き学びながらピアノ演奏を通じて「豊かな表現力」を習得する。さらにピアノ作品を通して音楽的感性を磨きつつ、「自己表現力」を習得する。ピアノ奏法の集大成として選曲した作品を研究すると共に曲からイメージする映像や絵画などの具現化についてディスカッションする。授業形態は個人指導を主に行う。															
達成目標	1. 幅広い音楽分野の作品研究															
	2. 専門的な音楽知識の修得															
	3. 練習方法の分析と演奏技術の向上															
	4. 楽曲の様式と演奏解釈															
	5. 演奏実技の発表															
学修成果との関係	①	・	②	○	③	○	④	○	⑤	◎	⑥	○	⑦	○	⑧	○
履修条件・注意事項																
授業計画						目標	方法									
	1. ロマン派以降のピアノ作品について知る①					1	面接									
	2. ロマン派以降のピアノ作品について知る②					1	面接									
	3. 現代におけるピアノ曲について知る①					1,2	面接									
	4. 現代におけるピアノ曲について知る②					1,2	面接									
	5. 課題曲の選曲					2,3	面接									
	6. 課題曲について楽譜の分析と時代背景					3,4	面接									
	7. 課題曲について演奏解釈①					3,4	面接									
	8. 課題曲について演奏解釈②					3,4	面接									
	9. 課題曲を中心に学ぶ① 楽譜を読み込む					3,4	面接									
	10. 課題曲を中心に学ぶ② 豊かな音色を追求する					3,4	面接									
	11. 課題曲を中心に学ぶ③ 表現方法について					3,4	面接									
	12. 課題曲を中心に学ぶ④ 作品の全体構成					3,4	面接									
	13. 課題曲の研究 作品へのイメージについてディスカッション①					4,5	面接									
	14. 課題曲の研究 作品へのイメージについてディスカッション②					1,2,3,4,5	面接									
	15. 課題曲の発表					5	面接									
ピアノ基礎技術や演奏法等、個人の能力に応じ最終的な仕上げを行う。ピアノ作品については、個人の能力や研究したい分野の作品を相談しながら進めていく。																
アクティブ・ラーニング	ディスカッション、プレゼンテーション															
成績評価基準	評価の方法：①課題となる曲を発表（50%）②授業態度・授業への参加度（25%）③宿題（25%） 評価の基準：①技能・表現：学んだ技術を再現できる。 ②関心・意欲、態度：積極的に質問する。 ③関心・意欲：課題に意欲的に取り組む。															
フィードバックの方法	各回のレッスンの際に課題を設定して、個別に助言を行う。															
時間外の学習について	予習：課題を各自練習してレッスンに備える。 復習：レッスンで指摘された助言について練習する。（予復習合わせて各回90分以上）															
教材にかかわる情報	テキスト：各自の進度 興味にあわせて選曲する 参考書、参考資料：特になし															
実務経験について																
担当者からのメッセージ等	音楽の及ぼす社会と自身の関係性について話をします。クラシックやポピュラー作品など練習方法を考え技術の向上、表現方法を高める。ピアノ奏法の集大成として取り組む。 担当者の連絡先・E-mail：t0010@yamaguchi-jca.ac.jp（脇淵）															

科目名	電子オルガン I (1単位)	実技	芸術表現学科	1年 前期	担当者	一瀬 理佳(実務経験) (単独)										
ナンバリングコード	JA-SI43-000	授業科目の 取扱い	面接授業科目													
卒業要件	選択															
授業のテーマ	音楽一般理論、演奏技術の習得、様々なジャンルの音楽、簡単演奏法、アンサンブル															
授業概要	電子オルガンの演奏に欠かすことのできない音楽一般理論と、基礎的なテクニックの習得からレパートリーの確立。クラシック楽曲のスコアアンサンブルによる各楽器群の奏法研究。電子オルガンの機能を使い、あらゆるジャンルの音楽を経験する。授業形態は集合個人指導とアンサンブル実習とし、学生一人ひとりの能力や個性にあわせて指導にあたる。															
達成目標	1.基本的な姿勢と身体的機能の修得 2.基礎的な音楽知識の理解 3.練習計画の実践と演奏技術の向上 4.楽曲理解と音楽表現法 5.演奏実技の発表															
学修成果との関係	①	・	②	○	③	・	④	・	⑤	◎	⑥	○	⑦	・	⑧	○
履修条件・注意事項																
授業計画	進度によって次のことをそれぞれ段階的に指導する。										目標	方法				
	1. 電子オルガンの基本操作と基本奏法の理解 クラシック、ポピュラーなど様々なジャンルからの選曲法										1,2,3	面接				
	2. 3段楽譜の読み方、電子オルガン演奏に必要な姿勢、鍵盤テクニックの体得										1,2	面接				
	3. コードの理解とコード伴奏による楽曲演奏										1,2	面接				
	4. あらゆるジャンルの音楽の経験①										2,4	面接				
	5. あらゆるジャンルの音楽の経験②										2,4	面接				
	6. アンサンブル実習による金管楽器の研究										2,4,5	面接				
	7. アンサンブル実習による木管楽器の研究										2,4,5	面接				
	8. アンサンブル実習による弦楽器の研究										2,4,5	面接				
	9. 大編成オーケストラ曲のアンサンブル実習										2,4,5	面接				
	10. レパートリー曲のメロディーフレーズの研究と表現										2,3,4	面接				
	11. レパートリー曲のハーモニーの研究と表現										2,3,4	面接				
	12. レパートリー曲のベースの研究と表現										2,3,4	面接				
	13. アンサンブル実習とレパートリーの確立①										3,4,5	面接				
	14. アンサンブル実習とレパートリーの確立②										3,4,5	面接				
	15. アンサンブル実習とレパートリーの確立③										3,4,5	面接				
◎定期試験																
アクティブ・ラーニング	プレゼンテーション															
成績評価基準	評価の方法：①定期試験(50%) ②授業態度・授業への参加度(25%) ③宿題(25%) 評価の基準：①技能・表現：学んだ技術を再現できる。 ②関心・意欲・態度：積極的に質問する。 ③関心・意欲：課題に意欲的に取り組む。															
フィードバックの方法	各回の授業の際に課題を設定して、個別に助言を行う。															
時間外の学習について	予習：課題を各自練習してレッスンに備える。(各回90分程度) 復習：レッスンで指摘された助言について練習する。(各回90分程度)															
教材にかかわる情報	テキスト：適時指示する 参考書：特になし 参考資料：特になし															
実務経験について	音楽講師経験：これまで様々な年齢層・様々な経験の方を指導してきました。一人一人のレベルに合わせて指導します。															
担当者からのメッセージ等	幅広いジャンルの音楽を表現できる電子オルガンに触れてみてください。 担当者の連絡・E-mail： t0011@yamaguchi-jca.ac.jp (一瀬)															

科目名	電子オルガンⅡ (1単位)		実技	芸術表現学科	1年 後期	担当 者	一瀬 理佳(実務経験) (単独)									
ナンバリングコード	JA-S144-000		授業科目の 取扱い	面接授業科目												
卒業要件	選択															
授業のテーマ	音楽一般理論、演奏技術の習得、変奏、編曲、アンサンブル															
授業概要	電子オルガンの演奏に欠かすことのできない音楽一般理論と、基礎的なテクニックの習得からレパートリーの確立。クラシック楽曲のスコアアンサンブルによる演奏表現の習得。編曲学習として、ジャンルに相応しい音色選択とメロディー変奏を学ぶ。授業形態は集合個人指導とアンサンブル実習とし、学生一人ひとりの能力や個性にあわせて指導にあたる。															
達成目標	1. 基本的な姿勢と身体的機能の修得 2. 基礎的な音楽知識の理解 3. 練習計画の実践と演奏技術の向上 4. 楽曲理解と音楽表現法 5. 演奏実技の発表															
学修成果との関係	①	・	②	○	③	・	④	・	⑤	◎	⑥	○	⑦	・	⑧	○
履修条件・注意事項																
授業計画	進度によって次のことをそれぞれ段階的に指導する。						目標	方法								
	1. 電子オルガンの基本操作と基本奏法の理解 クラシック、ポピュラーなど様々なジャンルからの選曲法						1,2,3	面接								
	2. 3段楽譜の読み方、電子オルガン演奏に必要な姿勢、鍵盤テクニックの体得						1,2	面接								
	3. コードの理解と様々なジャンルの伴奏形の習得						1,2,4	面接								
	4. メロディー変奏の基本知識と実習						2,4	面接								
	5. ジャンルに相応しいメロディー音色とアーティキュレーションの研究①						2,4	面接								
	6. ジャンルに相応しいメロディー音色とアーティキュレーションの研究②						2,4	面接								
	7. 各楽器に相応しい演奏表現とエクスプレッションペダル(右足)の奏法						2,4	面接								
	8. 小編成クラシック楽曲の奏法研究						2,4	面接								
	9. 小編成クラシック楽曲のアンサンブル実習						2,4,5	面接								
	10. レパートリー曲のメロディーフレーズの研究と表現						2,3,4	面接								
	11. レパートリー曲のハーモニーの研究と表現						2,3,4	面接								
	12. レパートリー曲のベースの研究と表現						2,3,4	面接								
	13. アンサンブル実習とレパートリーの確立①						3,4,5	面接								
	14. アンサンブル実習とレパートリーの確立②						3,4,5	面接								
	15. アンサンブル実習とレパートリーの確立③						3,4,5	面接								
◎定期試験																
アクティブ・ラーニング	ディスカッション、プレゼンテーション															
成績評価基準	評価の方法：①定期試験(50%) ②授業態度・授業への参加度(25%) ③宿題(25%) 評価の基準：①技能・表現：学んだ技術を再現できる。 ②関心・意欲、態度：積極的に質問する。 ③関心・意欲：課題に意欲的に取り組む。															
フィードバックの方法	各回の授業の際に課題を設定して、個別に助言を行う。															
時間外の学習について	予習：課題を各自練習してレッスンに備える。(各回90分程度) 復習：レッスンで指摘された助言について練習する。(各回90分程度)															
教材にかかわる情報	テキスト：適時指示する 参考書：特になし 参考資料：特になし															
実務経験について	演奏家経験：様々なジャンルのステージ経験をいかして、それぞれの音楽が求める表現を指導します。															
担当者からのメッセージ等	様々なジャンルの音楽に触れ、自分の好きな音楽の世界を追求していきましょう。 担当者の連絡・E-mail： t0011@yamaguchi-jca.ac.jp (一瀬)															

科目名	電子オルガンⅢ (1単位)		実技	芸術表現学科	2年 前期	担当 者	一瀬 理佳(実務経験) (単独)									
ナンバリングコード	JA-S243-000		授業科目の 取扱い	面接授業科目												
卒業要件	選択															
授業のテーマ	音楽一般理論、演奏技術の習得、和音の魅力、リハーモナイズ、ドラム譜、リズム作成、アンサンブル															
授業概要	電子オルガンの演奏に欠かすことのできない音楽一般理論と、基礎的なテクニックの習得からレパートリーの確立。ポピュラー楽曲のアンサンブル実習により、ポピュラーの奏法と音楽表現を勉強する。様々なハーモニーの進行とその魅力を学ぶ。授業形態は集合個人指導とアンサンブル実習とし、学生一人ひとりの能力や個性にあわせて指導にあたる。															
達成目標	1.幅広い音楽分野の作品研究															
	2.専門的な音楽知識の修得															
	3.練習方法の分析と演奏技術の向上															
	4.幅広いジャンルの楽曲理解と演奏表現法															
	5.演奏実技の発表															
学修成果との関係	①	・	②	○	③	・	④	・	⑤	◎	⑥	○	⑦	・	⑧	○
履修条件・注意事項																
授業計画	進度によって次のことをそれぞれ段階的に指導する。											目標	方法			
	1. 電子オルガンの基本操作と基本奏法の理解 クラシック、ポピュラーなど様々なジャンルからの選曲法											1,2,3	面接			
	2. 3段楽譜の読み方、電子オルガン演奏に必要な姿勢、鍵盤テクニックの体得											1,2,3	面接			
	3. コードの理解とコード伴奏による楽曲演奏											1,2,4	面接			
	4. ハーモニーの基本知識と様々な楽曲の和音分析											1,2,4	面接			
	5. ハーモニーの響きで描かれる様々な音楽の世界の研究											1,2,4	面接			
	6. リハーモナイズの基本知識と実習①											1,2,5	面接			
	7. リハーモナイズの基本知識と実習②											1,2,5	面接			
	8. リズムの打ち込み実習											2,4	面接			
	9. ポピュラー音楽に欠かせない楽器の奏法研究											1,2,4	面接			
	10. レパートリー曲のメロディーフレーズの研究と表現											1,2,3,4	面接			
	11. レパートリー曲のハーモニーの研究と表現											1,2,3,4	面接			
	12. レパートリー曲のベースの研究と表現											1,2,3,4	面接			
	13. アンサンブル実習とレパートリーの確立①											1,2,3,4,5	面接			
	14. アンサンブル実習とレパートリーの確立②											1,2,3,4,5	面接			
	15. アンサンブル実習とレパートリーの確立③											1,2,3,4,5	面接			
◎定期試験																
アクティブ・ラーニング	プレゼンテーション															
成績評価基準	評価の方法：①定期試験(50%)②授業態度・授業への参加度(25%)③宿題(25%) 評価の基準：①技能・表現：学んだ技術を再現できる。 ②関心・意欲、態度：積極的に質問する。 ③関心・意欲：課題に意欲的に取り組む。															
フィードバックの方法	各回の授業の際に課題を設定して、個別に助言を行う。															
時間外の学習について	予習：課題を各自練習してレッスンに備える。(各回90分程度) 復習：レッスンで指摘された助言について練習する。(各回90分程度)															
教材にかかわる情報	テキスト：適時指示する 参考書：特になし 参考資料：特になし															
実務経験について	演奏家経験：JazzのBig Bandに参加した経験をいかして、ポピュラー音楽のノリや奏法について指導します。															
担当者からのメッセージ等	身近なポピュラー音楽に対する知識を広げ、アンサンブル演奏やソロ演奏の楽しみを実感してみてください。 担当者の連絡・E-mail：t0011@yamoguchi-jca.ac.jp(一瀬)															

科目名	電子オルガンⅣ (1単位)		実技	芸術表現学科	2年 後期	担当者	一瀬 理佳(実務経験) (単独)									
ナンバリングコード	JA-S244-000		授業科目の 取扱い	面接授業科目												
卒業要件	選択															
授業のテーマ	音楽一般理論、演奏技術の習得、コード進行、楽曲分析、メロディー創作、オリジナル曲、アンサンブル															
授業概要	電子オルガンの演奏に欠かすことのできない音楽一般理論と、基礎的なテクニックの習得からレパートリーの確立。ポピュラー楽曲のアンサンブル実習により、ポピュラーのノリと奏法を勉強する。好きなジャンルでオリジナル曲の創作を経験する。授業形態は集合個人指導とアンサンブル実習とし、学生一人ひとりの能力や個性にあわせて指導にあたる。															
達成目標	1. 幅広い音楽分野の作品研究															
	2. 専門的な音楽知識の修得															
	3. 練習方法の分析と演奏技術の向上															
	4. 楽曲の様式と演奏解釈															
	5. 演奏実技の発表															
学修成果との関係	①	・	②	○	③	・	④	・	⑤	◎	⑥	○	⑦	・	⑧	○
履修条件・注意事項																
授業計画	進度によって次のことをそれぞれ段階的に指導する。											目標	方法			
	1. 電子オルガンの基本操作と基本奏法の理解 クラシック、ポピュラーなど様々なジャンルからの選曲法											1,2,3	面接			
	2. 3段楽譜の読み方、電子オルガン演奏に必要な姿勢、鍵盤テクニックの体得											1,2,3	面接			
	3. コードの理解とコード伴奏による楽曲演奏											1,2,4	面接			
	4. コード進行の理論と定型パターンを学ぶ											1,2,4	面接			
	5. 様々な曲の和音とメロディーの魅力分析											1,2,4	面接			
	6. メロディー創作の基本知識											1,2,4	面接			
	7. 自作曲のジャンルの決定と音色やリズムの選択											1,2,4	面接			
	8. 楽曲構成を学び、自作曲を仕上げる①											1,2,4,5	面接			
	9. 楽曲構成を学び、自作曲を仕上げる②											1,2,4,5	面接			
	10. レパートリー曲のメロディーフレーズの研究と表現											1,2,3,4	面接			
	11. レパートリー曲のハーモニーの研究と表現											1,2,3,4	面接			
	12. レパートリー曲のベースの研究と表現											1,2,3,4	面接			
	13. アンサンブル実習とレパートリーの確立①											1,2,3,4,5	面接			
	14. アンサンブル実習とレパートリーの確立②											1,2,3,4,5	面接			
	15. アンサンブル実習とレパートリーの確立③											1,2,3,4,5	面接			
◎定期試験																
アクティブ・ラーニング	ディスカッション、プレゼンテーション															
成績評価基準	評価の方法：①定期試験(50%) ②授業態度・授業への参加度(25%) ③宿題(25%) 評価の基準：①技能・表現：学んだ技術を再現できる。 ②関心・意欲、態度：積極的に質問する。 ③関心・意欲：課題に意欲的に取り組む。															
フィードバックの方法	各回の授業の際に課題を設定して、個別に助言を行う。															
時間外の学習について	予習：課題を各自練習してレッスンに備える。(各回90分程度) 復習：レッスンで指摘された助言について練習する。(各回90分程度)															
教材にかかわる情報	テキスト：適時指示する 参考書：特になし 参考資料：特になし															
実務経験について	指導者経験：編曲や創作も電子オルガンの楽しみの一つです。簡単なレベルからわかりやすく説明します。															
担当者からのメッセージ等	自分の好きなジャンルでオリジナルを創作し、演奏を楽しみましょう。 担当者の連絡・E-mail：t0011@yamaguchi-jca.ac.jp (一瀬)															

科目名	吹奏楽Ⅰ (1単位)	実技	芸術表現学科	1年 前期	担当 者	小野 隆洋(実務経験) (単独)										
ナンバリングコード	JA-SI45-000	授業科目の 取扱い	面接授業科目													
卒業要件	選択															
授業のテーマ	吹奏楽、管楽器、演奏法、チームワーク、協働性、音色、ロングトーン、メンテナンス															
授業概要	基本的な呼吸法、演奏時の姿勢などに留意し、チューニング、ロングトーン、音階練習などを行う。曲の練習の中で各パートの部分練習などを行い、曲の構成や楽器の編成などを理解できるように進めていく。															
達成目標	1.正しい楽器の持ち方を習得する。															
	2.効率のよい呼吸法を習得する。															
	3.無理のない音の出し方を習得する。															
	4.相対的な音程感覚から他者の音に対する自身の音程の高低を認識する能力を習得する。															
	5.各調性の音階を習得する。															
学修成果との関係	①	・	②	○	③	・	④	・	⑤	◎	⑥	○	⑦	・	⑧	○
履修条件・注意事項																
授業計画												目標	方法			
	1. 各楽器のメンテナンス方法と楽器の構え方、演奏姿勢											1	面接			
	2. 呼吸法、アンブッシュア、バジィング											2,3	面接			
	3. 各楽器のチューニング											3,4	面接			
	4. 全体のチューニング											3,4	面接			
	5. 発音の練習											2,3	面接			
	6. ロングトーン											2,3	面接			
	7. ユニゾンの練習											2,4	面接			
	8. 変ロ長調の音階練習											5	面接			
	9. 半音音階の練習											5	面接			
	10. ユニゾンによる半音音階の練習											4,5	面接			
	11. 短2度音程のフィンガリングの練習											3,5	面接			
	12. 長2度音程のフィンガリングの練習。											3,5	面接			
	13. 各調の音階練習①											3,5	面接			
	14. ユニゾンによる各調の音階練習											4,5	面接			
15. 総合練習											1,2,3,4,5	面接				
アクティブ・ラーニング	グループワーク、ディスカッション、プレゼンテーション															
成績評価基準	評価の方法：①授業への取り組み(50%) ②課題演習(50%)により総合的に評価する。 評価の基準：①関心・意欲：協働で行う活動に貢献できる。演奏活動に関心・意欲をもって積極的に協働できる。 ②知識・技能、思考・判断・表現力：学んだ知識・技能を活かして効果的に表現できる。															
フィードバックの方法	各授業で学生が行う演奏に対して、その都度フィードバックと解説を行う。															
時間外の学習について	予習：次回に扱う題材の譜読み、および担当楽器の練習(各回45分程度) 復習：合奏の中で指摘を受けた箇所についての確認、およびパート練習(各回45分程度)															
教材にかかわる情報	テキスト：特になし 参考書：JBC バンドスタディ 参考資料等：各授業で適宜、演奏する楽曲の楽譜を配布する。															
実務経験について	演奏家経験：国内外の音楽事情、実践的な演奏法に対するアプローチについて講義します。															
担当者からのメッセージ等	tono@yamaguchi-jca.ac.jp (小野)															

科目名	吹奏楽Ⅱ (1単位)		実技	芸術表現学科	1年 後期	担当 者	小野 隆洋(実務経験) (単独)									
ナンバリングコード	JA-SI46-000		授業科目の 取扱い	面接授業科目												
卒業要件	選択															
授業のテーマ	吹奏楽、管楽器、ハーモニー、和音、楽器の知識、チームワーク、協働性、コラール、音作り															
授業概要	ピッチ、イントネーションの訓練、バランス感覚の養成など、ここでは、一般的に行なわれている総合的な体系を記しているが、各項目は、様々な組み合わせによって並行して行なわれ、また、継続的に行なわれる。															
達成目標	1.ピッチによる音程の合わせ方を習得する。															
	2.和音の構成、楽器の編成について習得する。															
	3.音の調和するバランス感覚を習得する。															
	4.和音の進行、フレーズの構成について習得する。															
	5.楽曲の構成を分析する能力を習得する。															
学修成果との関係	①	・	②	○	③	・	④	・	⑤	◎	⑥	○	⑦	・	⑧	○
履修条件・注意事項																
授業計画												目標	方法			
	1.ピッチ、音程の訓練①											1	面接			
	2.ピッチ、音程の訓練②											1	面接			
	3.和音練習(バランスのとおり方ーピラミッド・バランス)											2,3	面接			
	4.和音練習(ダブル・ピラミッド・バランス)											2,3	面接			
	5.和音練習(クリスマス・ツリー・ピラミッド・バランス)											2,3	面接			
	6.様々なリズムを用いての和音練習											1,2	面接			
	7.メソッドを使つてのトレーニング①											1,2,3	面接			
	8.メソッドを使つてのトレーニング②											1,2,3	面接			
	9.メソッドを使つてのトレーニング③											1,2,2	面接			
	10.ダイナミクスの変化①											1,2	面接			
	11.ダイナミクスの変化②											2,3	面接			
	12.ダイナミクスの変化③											1,3	面接			
	13.コラールの練習①											4,5	面接			
	14.コラールの練習②											4,5	面接			
15.総合練習											1,2,3,4,5	面接				
アクティブ・ラーニング	ディスカッション															
成績評価基準	評価の方法：①授業への取り組み(50%) ②課題演習(50%)により総合的に評価する。 評価の基準：①関心・意欲：協働で行う活動に貢献できる。演奏活動に関心・意欲をもって積極的に協働できる。 ②知識・技能、思考・判断・表現力：学んだ知識・技能を活かして効果的に表現できる。															
フィードバックの方法	各授業で学生が行う演奏に対して、その都度フィードバックと解説を行う。															
時間外の学習について	予習：次回に行う全体合奏における各自のパート練習(各回45分程度) 復習：合奏の中で指摘を受けた箇所についての確認、およびパート練習(各回45分程度)															
教材にかかわる情報	テキスト：特になし 参考書：JBCバンドスタディ 参考資料等：各授業で適宜、演奏する楽曲の楽譜を配布する。															
実務経験について	演奏家経験：国内外の音楽事情、実践的な演奏法に対するアプローチについて講義します。															
担当者からのメッセージ等	tono@yamaguchi-jca.ac.jp (小野)															

科目名	吹奏楽Ⅲ (1単位)	実技	芸術表現学科	2年 前期	担当者	小野 隆洋(実務経験) (単独)										
ナンバリングコード	JA-S245-000	授業科目の 取扱い	面接授業科目													
卒業要件	選択															
授業のテーマ	吹奏楽、管楽器、楽曲構成、演奏技能、チームワーク、協働性、演奏法															
授業概要	リズムの正確さ、ダイナミクスの変化、テンポの変化など、楽曲を演奏する上で必要な事柄への対応を体得する。ここでは、一般的に行なわれている総合的な体系を記しているが、各項目は、様々な組み合わせによって並行して行なわれ、また、継続的に行なわれる。															
達成目標	1. 正確なリズム感覚を習得する。															
	2. アインザッツ(音の出だし)やダイナミクスの変化に対応できる能力を習得する。															
	3. 正確なテンポ感覚と変化に対応できる能力を習得する。															
	4. 拍子の捉え方、拍子感覚を習得する。															
	5. 楽譜の読解力を習得する。															
学修成果との関係	①	・	②	○	③	・	④	・	⑤	◎	⑥	○	⑦	・	⑧	○
履修条件・注意事項	「連携解説科目」(学芸大「器楽アンサンブル」)															
授業計画											目標	方法				
	1. リズムの訓練										1	面接				
	2. 音符の長さ										1	面接				
	3. アインザッツの均等化										2	面接				
	4. ダイナミクスの変化										2	面接				
	5. ダイナミクスの急激な変化										2	面接				
	6. テンポの変化										3	面接				
	7. テンポの急激な変化										3	面接				
	8. 練習曲の使用										1,3	面接				
	9. 奏法の統一										2,3	面接				
	10. 変則拍子の演奏①										4	面接				
	11. 変則拍子の演奏②										4	面接				
	12. 拍子の分け方①										1,4	面接				
	13. 拍子の分け方②										1,4	面接				
	14. 総合的な練習①										5	面接				
15. 総合的な練習②										5	面接					
アクティブ・ラーニング	ディスカッション															
成績評価基準	評価の方法: ①授業への取り組み(50%) ②課題演習(50%)により総合的に評価する。 評価の基準: ①関心・意欲: 協働で行う活動に貢献できる。演奏活動に関心・意欲をもって積極的に協働できる。 ②知識・技能、思考・判断・表現力: 学んだ知識・技能を活かして効果的に表現できる。															
フィードバックの方法	各授業で学生が行う演奏に対して、その都度フィードバックと解説を行う															
時間外の学習について	予習: 次回に行う全体合奏における各自のパート練習(各回45分程度) 復習: 合奏の中で指摘を受けた箇所についての確認、およびパート練習(各回45分程度)															
教材にかかわる情報	テキスト: 特になし 参考書: JBC バンドスタディ 参考資料等: 各授業で適宜、演奏する楽曲の楽譜を配布する															
実務経験について	演奏家経験: 国内外の音楽事情、実践的な演奏法に対するアプローチについて講義します。															
担当者からのメッセージ等	tono@yamaguchi-jca.ac.jp (小野)															

科目名	吹奏楽Ⅳ (1単位)	実技	芸術表現学科	2年 後期	担当者	小野 隆洋(実務経験) (単独)										
ナンバリングコード	JA-S246-000	授業科目の 取扱い	面接授業科目													
卒業要件	選択															
授業のテーマ	吹奏楽、管楽器、音楽作り、楽器練習、計画性、演奏技能、チームワーク、協働性、創造性															
授業概要	楽曲の構成の理解などのほかに、各楽器の編成・配置や、全体の練習計画などを学習する。ここでは、一般的に行なわれている総合的な体系を記しているが、各項目は、様々な組み合わせによって並行して行なわれ、また、継続的に行なわれる。															
達成目標	1.各楽器の音の特徴、合奏の楽器編成を理解できる。 2.楽曲を分析してフレーズの作り方を習得する。 3.リハーサルの進行のさせ方について理解できる。 4.効率の良い練習方法について習得する。 5.楽器の配置について理解できる。															
学修成果との関係	①	・	②	○	③	・	④	・	⑤	◎	⑥	○	⑦	・	⑧	○
履修条件・注意事項																
授業計画							目標	方法								
	1. 各パートのバランス						1	面接								
	2. ハーモニーの分析						1,2	面接								
	3. フレージング						2	面接								
	4. 曲の構造						2	面接								
	5. リハーサルの手順						3	面接								
	6. 年間練習計画						3,4	面接								
	7. 月間練習計画						3,4	面接								
	8. 習慣練習計画						1,4	面接								
	9. 一日の練習計画						1,4	面接								
	10. 楽器の配置						5	面接								
	11. 楽曲を用いての総合的な練習①						1,5	面接								
	12. 楽曲を用いての総合的な練習②						2,5	面接								
	13. 楽曲を用いての総合的な練習③						1,2,5	面接								
	14. 楽曲を用いての総合的な練習④						1,2,5	面接								
15. 総合演習						1,2,3,4,5	面接									
アクティブ・ラーニング	ディスカッション															
成績評価基準	評価の方法：①授業への取り組み(50%) ②課題演習(50%)により総合的に評価する。 評価の基準：①関心・意欲：協働で行う活動に貢献できる。演奏活動に関心・意欲をもって積極的に協働できる。 ②知識・技能、思考・判断・表現力：学んだ知識・技能を活かして効果的に表現できる。															
フィードバックの方法	各授業で学生が行う演奏に対して、その都度フィードバックと解説を行う															
時間外の学習について	予習：次回に行う全体合奏における各自のパート練習(各回45分程度) 復習：合奏の中で指摘を受けた箇所についての確認、およびパート練習(各回45分程度)															
教材にかかわる情報	テキスト：特になし 参考書：JBC バンドスタディ 参考資料等：各授業で適宜、演奏する楽曲の楽譜を配布する															
実務経験について	演奏家経験：国内外の音楽事情、実践的な演奏法に対するアプローチについて講義します。															
担当者からのメッセージ等	tono@yamaguchi-jca.ac.jp (小野)															

科目名	合唱 I (1単位)	実技	芸術表現学科	1年 前期	担当者	小野 朋子 (実務経験) 小野 隆洋 (実務経験) (複数)										
ナンバリングコード	JA-S147-000	授業科目の 取扱い	面接授業科目													
卒業要件	選択															
授業のテーマ	合唱、基本姿勢、声の出し方、伝える力、呼吸法、アンサンブル、チームワーク															
授業概要	基本的な呼吸法や、演奏時の姿勢などに留意し、リズムや音階練習などを行う。カデンツや易しい曲の練習の中で、各パートの部分練習などを行い、ハーモニーを理解できるように進めていく。															
達成目標	1. 正しい発声の姿勢を習得する。 2. 効率のよい呼吸法を習得する。 3. 無理のない声の出し方を習得する。 4. 他者の声に対する自身の音程の高低を認識できる。 5. 曲の内容を理解して表現できる。															
学修成果との関係	①	・	②	○	③	・	④	・	⑤	◎	⑥	○	⑦	・	⑧	○
履修条件・注意事項																
授業計画												目標	方法			
	1. 演奏姿勢、呼吸法の習得											1	面接			
	2. 呼吸法、発声法の習得											2,3	面接			
	3. 音階による発声											2,3	面接			
	4. ユニゾンの練習											3,4	面接			
	5. パート分け、アンサンブルテクニック											3,4	面接			
	6. 和音練習											3,4	面接			
	7. カデンツによるハーモニー練習											3,4	面接			
	8. 易しい曲を使った歌詞の朗読											2,5	面接			
	9. 易しい曲を使った歌詞のイメージ表現											5	面接			
	10. パート別練習・音程、リズム											4,5	面接			
	11. パート別練習・音色											3,5	面接			
	12. 声部合同による各声部の確認											4,5	面接			
	13. 声部合同による音楽作り・音程、リズム											4,5	面接			
	14. 声部合同による音楽作り・音色											4,5	面接			
15. 総合練習											1,2,3,4,5	面接				
アクティブ・ラーニング	グループワーク、ディスカッション															
成績評価基準	評価の方法：①授業への取り組み (50%) ②課題演習 (50%) により総合的に評価する。 評価の基準：①関心・意欲・態度を測定：協働で行う活動に貢献できる。 演奏活動に関心・意欲をもって積極的に協働できる。 ②知識・技能、思考・判断・表現力を測定：学んだ知識・技能を活かして効果的に表現できる。															
フィードバックの方法	各授業で学生が行う演奏に対して、その都度フィードバックと解説を行う。															
時間外の学習について	予習：次回に行う全体合唱における各自のパート練習 (各回45分程度) 復習：合唱の中で指摘を受けた箇所についての確認、およびパート練習 (各回45分程度)															
教材にかかわる情報	テキスト：特になし 参考書：特になし 参考資料等：各授業で適宜、演奏する楽曲の楽譜を配布する。															
実務経験について	演奏家経験を生かして、声の出し方、呼吸方法に関わる実践的な講義をします。															
担当者からのメッセージ等	担当者の連絡先・E-mail アドレス T0002@yamaguchi-jca.ac.jp (小野朋子)															

科目名	合唱Ⅱ (1単位)	実技	芸術表現学科	1年 後期	担当者	小野 朋子(実務経験) 小野 隆洋(実務経験) (複数)										
ナンバリングコード	JA-SI48-000	授業科目の 取扱い	面接授業科目													
卒業要件	選択															
授業のテーマ	合唱、声の重なり、ハーモニー、音楽作り、声の出し方、和音構成、フレーズ、歌詞、楽曲分析															
授業概要	声のピッチ、言葉のイントネーションの訓練。ここでは、一般的に行なわれている総合的な体系を記しているが、各項目は、様々な組み合わせによって並行して行なわれ、また、継続的に行なわれる。															
達成目標	1.音程の合わせ方を習得する。 2.和音の構成について習得する。 3.音の調和するバランス感覚を習得する。 4.歌詞の内容、フレーズの構成を理解できる。 5.楽曲の構成を分析する能力を習得する。															
学修成果との関係	①	・	②	○	③	・	④	・	⑤	◎	⑥	○	⑦	・	⑧	○
履修条件・注意事項																
授業計画						目標	方法									
	1.ピッチ、音程の訓練①					1	面接									
	2.ピッチ、音程の訓練②					1	面接									
	3.和音練習①					2,3	面接									
	4.和音練習②					2,3	面接									
	5.和音練習					2,3	面接									
	6.様々なリズムを用いた和音練習					1,2	面接									
	7.易しい曲を使っのトレーニング①					1,2,3	面接									
	8.易しい曲を使っのトレーニング②					1,2,3	面接									
	9.易しい曲を使っのトレーニング③					1,2,3	面接									
	10.歌詞の内容表現①					3	面接									
	11.歌詞の内容表現②					3,4	面接									
	12.ダイナミクスの変化③					1,3	面接									
	13.コーラルの練習①					4,5	面接									
	14.コーラルの練習②					4,5	面接									
15.総合練習					1,2,3,4,5	面接										
アクティブ・ラーニング	グループワーク、ディスカッション															
成績評価基準	評価の方法：①授業への取り組み(50%) ②課題演習(50%)により総合的に評価する。 評価の基準：①関心・意欲・態度を測定：協働で行う活動に貢献できる。 演奏活動に関心・意欲をもって積極的に協働できる。 ②知識・技能、思考・判断・表現力を測定：学んだ知識・技能を活かして効果的に表現できる。															
フィードバックの方法	各授業で学生が行う演奏に対して、その都度フィードバックと解説を行う。															
時間外の学習について	予習：次回に行う全体合唱における各自のパート練習(各回45分程度) 復習：合唱の中で指摘を受けた箇所についての確認、およびパート練習(各回45分程度)															
教材にかかわる情報	テキスト：特になし 参考書：特になし 参考資料等：各授業で適宜、演奏する楽曲の楽譜を配布する。															
実務経験について	演奏家経験を生かして、声の出し方、呼吸方法に関わる実践的な講義をします。															
担当者からのメッセージ等	担当者の連絡先・E-mail アドレス T0002@yamaguchi-jca.ac.jp(小野朋子)															

科目名	合唱Ⅲ (1単位)	実技	芸術表現学科	2年 前期	担当者	小野 朋子(実務経験) 小野 隆洋(実務経験) (複数)										
ナンバリングコード	JA-S247-000	授業科目の 取扱い	面接授業科目													
卒業要件	選択															
授業のテーマ	合唱、楽曲構成、発声技能、音楽演奏、協働性、声の出し方、アインザッツ、ダイナミクス、リズム															
授業概要	リズムの正確さ、ダイナミクスの変化、テンポの変化など、楽曲を演奏する上で必要な事柄への対応を体得する。また発声方法を再確認する。ここでは、一般的に行なわれている総合的な体系を記しているが、各項目は、様々な組み合わせによって並行して行なわれ、また、継続的に行なわれる。															
達成目標	1. 正確な発声・リズム感覚を習得する。 2. アインザッツ(音の出だし)やダイナミクスの変化に対応できる。 3. 正確なテンポ感覚と変化に対応できる。 4. 拍子の捉え方、拍子感覚を習得する。 5. 楽譜の読解力を習得する。															
学修成果との関係	①	・	②	○	③	・	④	・	⑤	◎	⑥	○	⑦	・	⑧	○
履修条件・注意事項																
授業計画											目標	方法				
	1. リズムの訓練										1	面接				
	2. 音符の長さ										1	面接				
	3. アインザッツの均等化										2	面接				
	4. ダイナミクスの変化										2	面接				
	5. 発声の確認										1,2	面接				
	6. レガート唱法										3	面接				
	7. テンポの変化										3	面接				
	8. 練習曲の使用										1,3	面接				
	9. 練習曲の読解										4,5	面接				
	10. 小人数練習①										2,3	面接				
	11. 小人数練習②										4,5	面接				
	12. 声部合同演奏①										1,4	面接				
	13. 声部合同演奏②										4,5	面接				
	14. 総合的な練習										5	面接				
15. 総合練習										1,2,3,4,5	面接					
アクティブ・ラーニング	グループワーク、ディスカッション															
成績評価基準	評価の方法：①授業への取り組み(50%) ②課題演習(50%)により総合的に評価する。 評価の基準：①関心・意欲・態度を測定：協働で行う活動に貢献できる。 演奏活動に関心・意欲をもって積極的に協働できる。 ②知識・技能、思考・判断・表現力を測定：学んだ知識・技能を活かして効果的に表現できる。															
フィードバックの方法	各授業で学生が行う演奏に対して、その都度フィードバックと解説を行う。															
時間外の学習について	予習：次回に行う全体合唱における各自のパート練習(各回45分程度) 復習：合唱の中で指摘を受けた箇所についての確認、およびパート練習(各回45分程度)															
教材にかかわる情報	テキスト：特になし 参考書：特になし 参考資料等：各授業で適宜、演奏する楽曲の楽譜を配布する。															
実務経験について	演奏家経験を生かして、声の出し方、呼吸方法に関わる実践的な講義をします。															
担当者からのメッセージ等	担当者の連絡先・E-mail アドレス T0002@yamaguchi-jca.ac.jp(小野朋子)															

科目名	合唱Ⅳ (1単位)	実技	芸術表現学科	2年 後期	担当者	小野 朋子(実務経験) 小野 隆洋(実務経験) (複数)												
ナンバリングコード	JA-S248-000	授業科目の 取扱い	面接授業科目															
卒業要件	選択																	
授業のテーマ	合唱、音楽作り、合唱練習、計画性、楽曲演奏、演奏技能、協働性、創造性、伝える力																	
授業概要	楽曲の構成の理解などのほかに、全体の練習計画などを学習する。ここでは、一般的に行なわれている総合的な体系を記しているが、各項目は、様々な組み合わせによって並行して行なわれ、また、継続的行なわれる。																	
達成目標	1.各声部の特徴や合唱の編成を理解できる。 2.楽曲を分析して、フレーズの作り方を習得する。 3.リハーサルの進行について理解できる。 4.効率の良い練習方法を習得する。 5.他者と協働し、楽曲の内容や言葉を他者に伝える力を習得する。																	
学修成果との関係	①	・	②	○	③	・	④	・	⑤	◎	⑥	○	⑦	・	⑧	○		
履修条件・注意事項																		
授業計画																	目標	方法
	1. 各パートのバランス																1	面接
	2. ハーモニーの合わせ方																1,2	面接
	3. フレーズ																2	面接
	4. 曲の構造																2	面接
	5. リハーサルの手順																3	面接
	6. 少人数アンサンブル演習①																3,4	面接
	7. 少人数アンサンブル演習②																3,4	面接
	8. 少人数アンサンブル演習③																1,4	面接
	9. 歌詞の朗読①																5	面接
	10. 歌詞の朗読②																5	面接
	11. 楽曲を用いての総合的な練習①																1,5	面接
	12. 楽曲を用いての総合的な練習②																2,5	面接
	13. 楽曲を用いての総合的な練習③																1,2,5	面接
	14. 楽曲を用いての総合的な練習④																1,2,5	面接
15. 総合演習																1,2,3,4,5	面接	
アクティブ・ラーニング	グループワーク、ディスカッション																	
成績評価基準	評価の方法：①授業への取り組み(50%) ②課題演習(50%)により総合的に評価する。 評価の基準：①関心・意欲・態度を測定：協働で行う活動に貢献できる。 演奏活動に関心・意欲をもって積極的に協働できる。 ②知識・技能、思考・判断・表現力を測定：学んだ知識・技能を活かして効果的に表現できる。																	
フィードバックの方法	各授業で学生が行う演奏に対して、その都度フィードバックと解説を行う。																	
時間外の学習について	予習：次回に行う全体合唱における各自のパート練習(各回45分程度) 復習：合唱の中で指摘を受けた箇所についての確認、およびパート練習(各回45分程度)																	
教材にかかわる情報	テキスト：特になし 参考書：特になし 参考資料等：各授業で適宜、演奏する楽曲の楽譜を配布する。																	
実務経験について	演奏家経験を生かして、声の出し方、呼吸方法に関わる実践的な講義をします。																	
担当者からのメッセージ等	担当者の連絡先・E-mail アドレス T0002@yamaguchi-jca.ac.jp(小野朋子)																	

科目名	サウンドデザイン (1単位)	演習	芸術表現学科	2年 前期	担当者	高木 愛子(実務経験) (単独)										
ナンバリングコード	JA-S249-000	授業科目の 取扱い	面接授業科目													
卒業要件	選択															
授業のテーマ	映像サウンド、映像音楽、DTM、デスクトップミュージック、GarageBand、作曲、音楽制作、創造的思考、専門技能															
授業概要	映像サウンドデザインを中心に学習。DTM(GarageBand)と作曲の基礎を習得し、映像制作に音楽と音を活かす。															
達成目標	1. サウンドデザインの種類とDTMの基礎を理解し何ができるのかを理解する 2. GarageBandの基本的な使用法の習得 3. 音楽の制作過程で作編曲の基礎を学ぶ 4. 和音やコードの基本を理解し制作に活かす 5. 映像との組み合わせ方など活用法を学ぶ															
学修成果との関係	①	・	②	○	③	・	④	・	⑤	◎	⑥	◎	⑦	○	⑧	○
履修条件・注意事項																
授業計画						目標	方法									
	1. サウンドデザインとDTMの基本を学習し、講師作品を通し何ができるのかを学ぶ					1,2	面接									
	2. GarageBandを立ち上げソフトの基本を学ぶ					1,2	面接									
	3. 音の入力をしながら作編曲の基礎を学ぶ①					1,2,3	面接									
	4. 音の入力をしながら作編曲の基礎を学ぶ②					1,2,3	面接									
	5. 内部音源ループを使用した制作法を学ぶ					1,2,3	面接									
	6. 和音やコードを理解し内部音源ループを応用する					1,2,3,4	面接									
	7. オーディオなど外部音源の入力					1,2,3	面接									
	8. 音響効果(音効)の仕事を知り体験してみる					1,2,3	面接									
	9. 入力した音を編集し整音する(エフェクト)					1,2,3,5	面接									
	10. 入力した音を編集し整音する(ミキシング)					1,2,3,5	面接									
	11. 整音した曲を出力し、活かし方を学ぶ					1,2,5	面接									
	12. 映像と音楽の組み合わせ方を学ぶ					1,2,3,5	面接									
	13. GarageBandを使用して課題の映像に自由に音楽・音をつける①					1,2,3,4,5	面接									
	14. GarageBandを使用して課題の映像に自由に音楽・音をつける②					1,2,3,4,5	面接									
15. GarageBandを使用して課題の映像に自由に音楽・音をつける③					1,2,3,4,5	面接										
アクティブ・ラーニング	プレゼンテーション															
成績評価基準	評価の方法：①制作作品(40%) ②制作レポート(20%) ③授業での姿勢(40%) 評価の基準：①知識・理解：授業内で得た知識を制作に活かしているか。 ②思考・判断：映像に対してどう感じ、曲を作ったのか伝わるレポートを書けているか。 ③関心・意欲：真面目な態度で取り組んでいるか。制作に対して積極的に取り組んでいるか。															
フィードバックの方法	制作曲について技術的・音楽的視点からコメントをすることにより、次回以降の作品制作に活かす。															
時間外の学習について	予習：課題について確認する。(各回30分) 復習：授業内で得た知識を復習して身につける。(各回60分)															
教材にかかわる情報	テキスト： 参考書：特になし 参考資料等：随時プリントを配布する。															
実務経験について	歌謡曲・映像音楽・吹奏楽・オーケストラ・合唱などジャンルレスの作編曲家です。															
担当者からのメッセージ等	ここでは特に「映像サウンドデザイン」について学びます。音楽制作ソフトの使用法と作曲の基礎を学び、映像に自作の音楽・音を加える技術の習得を目指します。得た知識と技術をぜひ今後の創作人生に活かしてください。 色々な作り方でアプローチするので楽譜が苦手でも大丈夫です。 Email:T0045@yamaguchi-jca.ac.jp(高木)															

科目名	特別演習 (1単位)	演習	芸術表現学科	1・2年 前後期	担当者	学科長 他 (複数担当)										
ナンバリングコード	JA-S282-000	授業科目の 取扱い	面接授業科目													
卒業要件	必修															
授業のテーマ	教養、芸術文化、デザイン、ビジネス、音楽、主体性、文章表現力															
授業概要	教養、芸術文化、デザイン、ビジネス、音楽に関する課題図書を講読、あるいは検定取得を含む様々な活動に参加し、レポートを提出する。															
達成目標	1. 教養、芸術文化、デザイン、ビジネス、音楽の各分野の理解を深める。 2. 自ら様々な活動に参加し、主体的に行動できる。 3. 課題図書の内容や活動体験の要点をまとめ考察を行い、適切に文章表現できる。															
学修成果との関係	①	・	②	○	③	・	④	○	⑤	◎	⑥	◎	⑦	◎	⑧	○
履修条件・注意事項																
授業計画	教養、芸術文化、デザイン、ビジネス、音楽に関する課題図書を講読、あるいは検定取得を含む様々な活動に参加し、レポートを提出する(15ポイント以上)。					方法										
	<課題図書>															
	・ 学科の指定する課題図書の講読					面接										
	<学内>															
	・ 大学祭への参加・出演・出品					面接										
	・ 大学の依頼による演奏や、作品展示					面接										
	・ 卒業修了研究発表会・制作展(1年次)、演奏会の鑑賞					面接										
	・ オープンキャンパスの学生スタッフなど学内行事へのボランティア参加					面接										
	・ 特別講義の聴講					面接										
	・ 学科が指定する行事への参加					面接										
	<学外>															
	・ コンクールやコンペ、各種競技大会等への出場、出品					面接										
	・ 音楽会、各種演奏会及び美術展の鑑賞					面接										
	・ 研修会、講演会、講習会、ワークショップ等への参加					面接										
	・ 地域ボランティア活動への参加					面接										
<検定>																
・ 学内外で実施される各種検定に取り組み、合格					面接											
※1. 活動毎のポイントは別に定める。 ※2. 同一の活動において単位の重複(単位が認められる他の履修科目授業の一環として行われる行事)は認めない。																
アクティブ・ラーニング	実習・フィールドワーク															
成績評価基準	評価の方法: ①レポート(100%) 評価の基準: ①知識・理解・思考・判断・表現力、関心・意欲・態度を測定 講読した図書の内容や体験した活動について考察し、適切に文書表現ができる。 積極的かつ主体的に活動に参加できる。															
フィードバックの方法	レポートについては、採点后返却する。															
時間外の学習について	予習: 作品や人物について事前に調べる。 (各回45分程度) 復習: 受講・講読・参加・視聴後レポートを作成すること。 (各回45分程度)															
教材にかかわる情報	テキスト: 特になし 参考書: 特になし 参考資料: 必要に応じて配布する															
実務経験について																
担当者からのメッセージ等	山口県立美術館と山口県立萩美術館には、学生証を提示すれば無料で入場できますので、ぜひ活用してください。 担当者の連絡先は授業内で周知します。															

科目名	卒業研究 (4単位)	演習	芸術表現学科	2年 前後期	担当者	藤村慎一郎、小野隆洋 長田和美、澄重成記 種田和宏、佐々木範子 片山涼子、上田敦之 (複数担当)										
ナンバリングコード	JA-S283-000	授業科目の 取扱い	面接授業科目													
卒業要件	必修															
授業のテーマ	卒業制作、卒業研究、卒業演奏、卒業制作展、研究発表、展示															
授業概要	各自が設定したテーマについて研究し、制作、演奏、発表を行う。 授業はゼミ形式で行い、教員や他の学生とのディスカッションを通して自身の考えを深め、研究・制作・演奏の質を高める。研究成果を作品、演奏、論文等の成果物にまとめ、最終成果を研究発表会や卒業制作展で発表する。															
達成目標	1.自ら研究テーマを設定して、計画的に研究や制作を進めることができる。 2.テーマに関連する資料収集や調査を行い、教員や学生とディスカッションができる。 3.専門性を活かして、創造性の高い作品や表現ができる。 4.研究成果を論文にまとめることができる。または、効果的な展示ができる。 5.来場者を魅了するプレゼンテーション、演奏ができる(研究発表会)。															
学修成果との関係	①	・	②	○	③	・	④	○	⑤	◎	⑥	◎	⑦	◎	⑧	○
履修条件・注意事項	履修条件については、各分野別の第1回目の授業で連絡する。															
授業計画	前期)														目標	方法
	1. 卒業研究の意義														1	面接
	2. 研究テーマの検討														1	面接
	3. 研究テーマの決定														1	面接
	4. 研究テーマに関連する資料収集、作業計画(1)														2	面接
	5. 研究テーマに関連する資料収集、作業計画(2)														2	面接
	6. 研究テーマに関連する資料収集、作業計画(3)														2	面接
	7. 課題やコンセプトの設定(1)														2,3	面接
	8. 課題やコンセプトの設定(2)														2,3	面接
	9. 課題やコンセプトの設定(3)														2,3	面接
	10. 調査方法や制作物の検討(1)														2,3	面接
	11. 調査方法や制作物の検討(2)														2,3	面接
	12. 調査方法や制作物の検討(3)														2,3	面接
	13. 調査方法や制作物の検討(4)														2,3	面接
	14. 中間報告の準備														4,	面接
	15. 中間報告														4	面接
	後期)															
	1. 卒業制作展・演奏会の目的														5	面接
	2. 調査、制作(1)														3	面接
	3. 調査、制作(2)														3	面接
	4. 調査、制作(3)														3	面接
	5. 調査、制作(4)														3	面接
	6. 調査、制作(5)														3	面接
	7. 論文や作品紹介(概要集)の要点整理														4	面接
	8. 論文や作品紹介(概要集)の構成														4	面接
	9. 論文や作品紹介(概要集)執筆														4	面接
	10. 論文や作品紹介(概要集)の修正														4	面接
11. 展示物の準備(1)														4,5	面接	
12. 展示物の準備(2)														4,5	面接	
13. 発表の準備(1)														4,5	面接	
14. 発表の準備(2)														4,5	面接	
15. 発表の準備(3)														4,5	面接	
◎定期試験(卒業研究発表会)																

アクティブ・ラーニング	プレゼンテーション、グループディスカッション
成績評価基準	評価の方法：①授業への参加意欲・態度（50%）②展示・発表・論文の完成度（50%）により、総合的に評価する。 評価の基準：①関心・意欲・態度、思考・判断力を測定：ディスカッション等において、自らよく考え、積極的に発問や発言ができています。 ②知識・理解度、技能・表現力を測定：授業で取り上げた理論を理解し、それらの知識を作品制作や論文執筆、音楽演奏に活かして、自らの技能をもって表現できる。
フィードバックの方法	1週間の取り組みに対して、授業内でフィードバックする。
時間外の学習について	予習：テーマに関する社会動向や作品に関心・意欲を持ち、調査・分析を行う。（各回90分） 復習：授業で得たアドバイスを基に研究や制作、演奏を行い、完成度を高める。（各回90分）
教材にかかわる情報	テキスト：特になし 参考書：特になし 参考資料：随時、プリント等で配布
実務経験について	職業経験・教職経験・企業経験を活かして、社会人感覚と実践力を育成する授業を行います。
担当者からのメッセージ等	デザイン（長田和美）：knagata@yamaguchi-jca.ac.jp 動画（澄重成記）：ssumishige@yamaguchi-jca.ac.jp ビジネス論文（藤村慎一郎）：sfujimura@yamaguchi-jca.ac.jp 音楽演奏（小野隆洋）：tono@yamaguchi-jca.ac.jp イラスト（種田和宏）：T0042@yamaguchi-jca.ac.jp 絵画（佐々木範子）：T0041@yamaguchi-jca.ac.jp 服飾（片山涼子）：T0017@yamaguchi-jca.ac.jp 陶芸（上田敦之）：連絡先は授業内で連絡します。